第七千九百三十九號　（第三種郵便物認可）　THE KEIJO NIPPO　（水曜日）　昭和五年一月一日

京城日報

本日 二十頁

發行兼編輯人 [illegible]　印刷人 [illegible]
發行所 京城府太平通一丁目 合資會社 京城日報社

昭和五年の新春を迎ふ

昭和新政五閲年、國運は隆々として大いに啓け、民命は生々永へに息むことを知らぬ。わが大日本帝國の現實の相は正に斯の如くある。時ありて細かい波は立つ。しかも天來の大韻はこれを[illegible]倒し去つて忽ち永久平和の象をそこに顯現する。動もすれば[illegible]の思想は擡頭する。されど久しくその芽を、いなその根をだにも地上に保つことが出來ない。國本は萬代に揺がず、國礎は磐石に磐石にいや固し。これは大日本帝國獨特の國家形體であつて、世界絶無の唯一特徴である。そも如何にかして然る。

皇紀は二千五百八十九年である。皇統は萬世一系である。しかして天日嗣の知召給ふ民草は皆同胞である。歷史の流れを遡れば、まことはまつろはぬものどもを所在に討ち平げ給ふたことはあつた。ただ大たいに於てそこには國民が棲息し同族が繁衍した。しかして君主至仁を施き給ふ、民生は赤誠を以てこれに報謝した。君民同治の大理想は斯くしてすでに建國の昔に於て成つた。忠君の二字はわが同胞民族の興作である、創作である、運命である。易る能はず、移す能はず、變る能はざるものである。渾個一字により[illegible]の昔を定め繁榮の今を齎らした。悠久の未來もまた斯あるを確信す。

忠君の二字は大日本帝國の國礎たる限り個々人々現存する[illegible]である。從つて賣物にはならない。買物にもならない。賣るは無價、買ふは無用である。これにより形而上下に由りする匪風を[illegible]し、外襲する紛雜を剖判する。しかして國民精神は昂揚し國民生活は安堵する。されば、われらの新年頌詞は一言にして盡きる。八千萬民よ、まづ忠君であれと。

新年を迎ふるに方り恭しく聖壽の無疆を[illegible]し併せて國運の隆昌を[illegible]す。

新政五年の新春
榮光輝き安らけく明く
畏くも寶算第三十年
彌榮えます竹の園生

[illegible]昭和五年の新春は[illegible]大内山の常盤木の緑[illegible]、瑞氣は九重の宮居に[illegible]めてゐる。◇

申すも畏きことながら、天皇陛下には寶算三十歳を迎へさせ給ひ、玉體愈々御健康にわたらせられ[illegible]

[illegible]

すこやかにわたらせられ、何くれとなく天皇陛下の御身廻りの御世話や、畏き御排[illegible]を以て[illegible]宮孝宮兩内親王殿下の御養育に御心を注がせられてゐる。◇

[illegible]皇太后陛下には明けて四十七歳の御年を迎へさせられた。[illegible]

[illegible]秩父宮殿下には御年二十九歳、高松宮殿下には二十六歳の新春を迎へさせられた。[illegible]

◇

[illegible]竹の園生の彌榮えますことは申川たき極みである。

宮中の御儀式

四方拜の御儀

神嘉殿の[illegible]に霜深くおちて[illegible]

歳旦祭の御儀

[illegible]賢所、皇靈殿、神殿御拜[illegible]

新聞御閲覽

[illegible]陛下の御覽遊ばされる新聞は[illegible]北海タイムス（札幌）、河北新報（仙臺）、新愛知及名古屋新聞（名古屋）、福岡日々新聞（福岡）、京城日報（京城）の六新聞を御取寄せ遊ばすやに漏れ承はるが、右につき野口侍從は

「陛下の御覽遊ばされる新聞紙は全國で十數種にわたらせられますが、たとへどんなことが掲載されてゐるとしても切り拔いて御手許に差しあげるやうなことは絶對になくそのまゝ御熟讀になります。一方、國際の事情を御靜觀[illegible]の上を御[illegible]遊ばされる御内意から代表的地方新聞を御覽になられるものと拜察したゞく次第であります」

と謹んで語つた

發行所寄贈本

晴の御膳

[illegible]

本紙の大躍進

十三段制採用

廿五周年記念と十三段制採用

乾坤一轉、茲に昭和五年の新春を迎へわれ人共に慶賀するうちにあつて、本社は特に本年が本社として最も記念すべき年に當り、而してこの榮光ある新春第一日において、躍進的新事業を公表するの喜びを併せ有することを至幸とする。實に本年は本社創立廿五周年に當り、而して躍進的に紙面讀賣十三段制を採用するを公表するの時機に達したのである。

十三段制の採用と代表的新聞

大阪の大毎、大朝、東京の東日、東朝、報知、時事、中外、國民、讀賣の各[illegible]十三段制を採用するに及び、[illegible]かくて北海タイムス、京都日出新聞[illegible]本社もかねてこの大勢に[illegible]讀者諸彦に[illegible]廿五周年記念事業として恰もなるものと自負するゆゑんである。[illegible]ところである。かくて地方代表紙としての地位を確保しうることは本紙の喜びとする[illegible]なくてはならぬ。

我社の十三段制と紙面の動員

[illegible]

かくて紙面の躍進的動員は本社の廿五周年記念として最も恰當なる新事業なるのみならず、これと共に編輯上にも大躍進を試むることは、讀者諸彦の愛顧に酬ひ得べしと聊か自負して憚らぬところなるを知るのである。

昭和五年一月一日　京城日報社

昭和五年を迎へて

朝鮮總督 子爵 齋藤實

芽出度昭和五年の新春を迎へ、八千萬同胞と共に聖代の新年を謳歌するをまことに幸福とする。

畏くも皇室に於かせられては愈御安泰にましまし、竹の園生の彌榮えますことは、臣子の齊しく慶祝に堪へざるところである。

今や我邦と締盟各國との交誼益敦きを加へつつあるのであるが、但隣邦支那は局面未だ眞に安定を見るに至らないのは洵に遺憾の次第である。速に和平の日の來たらむことを望んで已まない。

我邦は永く財界不況に苦み來つたのであるが、新春匆々實施せらるべき金銀輸出禁止の解除に依り多年の懸案解決せられ、財界は茲に常道に復し、漸次順調なる行程を歩むことと思料せらるゝ[illegible]。[illegible]には國民は非常の覺悟を以て一時緊縮方針の徹底を期し、上下協戮公私の經濟に節約を加へることが肝要である。緊縮の徹底は一時[illegible]免れることが出來ぬけれども、畢竟多年の[illegible]より生ずる[illegible]を矯正する所以であつて、國民は宜しくこれにより人心を一新し、相率ゐて邦家の隆昌に資するところあるべきである。

朝鮮統治に關する諸施設の如きも固より中央政府の緊縮方針に呼應して豫算を計上したのであるが、凡そ文化の振興經濟の發展に關する施設にして方今の急務とする所は些の弛緩を許さぬのであるから、財政の許す限り既定計畫の遂行は勿論、新規の施設も亦時運に適合する機宜を[illegible]し、努めて統治に於て遺憾なきを期してゐる。

予は昨秋再び任に斯土に就き、聊か微力をつくして統治に當り、民衆の暢達と民力の涵養とに努め、人心を一新して其の向ふ所を明かにしたいと期してゐる次第であるが、漸次之が實現を圖るべく[illegible]施措を誤らざるつもりである。一般に於て予の意の在るところを諒とせられ、更始一新各その職に勵精し、以て日に進み日に新なる帝國の國是の實現に努力せられんことを冀ふ次第である。

予はこの人々の心氣新なる年頭に於て特にこれを切望するものである。

茲に叡算を謹み聖壽の萬歳と國祚の無窮を祈り奉る。

昭和五年を迎へて

政務總監 伯爵 兒玉秀雄

新に迎へた昭和五年は、恰も本府始政後廿一年目に當るのである。朝鮮統治は[illegible]化の及ぶところ、既往廿年間官民協戮の功[illegible]からずして成績の見るべきものあるは、中外の齊しく認むる所であるけれども、文化の振興、産業の助長等最近の状勢に照らし最も切要なる施措は今後大にこれを講じなければならぬ。特に客歳開催せる朝鮮博覽會の成績に鑑み、否これを一轉機として更に適切有效なる各般の施設を爲し、以て斯土の經營に一歩を進めなければならぬのである。

偶々本年は帝國の國策たる財政經濟の建直しの爲金銀解禁を斷行するに伴ひ、中央政府の緊縮方針に順應して本府の豫算も亦緊縮節減を加ふることとなつたので、統治上切要なる施設にして幾分繰延を行ふことになつたものもあるが、努めてその運用に考慮を拂ひ、實際上支障なからんことを期してゐる。思ふに餘裕ある經費を以て充分なる施設を爲すことは必ずしも其の難きに非ず、少額の經費にても適當の工夫を凝らすに於いては、其の效果を大ならしむることを得べきが故に、節約必ずしも憂ふるに足らないのである。特に此の機會を捕へて朝鮮財政の基礎をして一層鞏固ならしむを得たのは寧ろ將來の爲幸であると云つてもよいと思ふ。荒今日の引締めは他日大に伸びんが爲の準備に外ならないのであるから、官民一般は須く勇氣を以て一時の困難に善處することが肝要である。

此の際上下相率ゐて人心の緊張を圖り、殊に能率增進の工夫を凝らして、一層事業の統制に留意し、その合理的なる發展を遂げしめんことを期することにしたい。果して斯くならば經濟界は自ら堅實なる發展をいるべく、民力の向上、國富の增進に貢獻する所大なるものあるべしと思ふ。

予は新舊の新年を迎へて官民相戒め風氣の一新を圖り、拮据經營朝鮮の繁榮の爲に、一時民力の充實の爲に、不斷の努力を拂はれんことを切望して已まない。斯くして此の麗しく彩られた朝鮮を更に明るく、住み好く、且[illegible]の地たらしめんことを期するは即ち予の念願である。

更に新年を迎へ聊か所懷を陳べ恭しく聖壽の無疆を祈り奉る。

御式服を召された照宮成子内親王殿下 (宮內省御貸下)

意義深き新年 新しき努力の起點

内閣總理大臣 濱口雄幸氏談

【東京電報】われ〳〵は、新春を迎へて上 聖壽の御萬歳を壽ぎ奉り、下國民の發展と幸福とを祈つてやまぬのである。こゝに新年を迎へると共に所懷の一端を述べて見たい。人間の一生は努力の連續である、寸時たりとも休止することを許されない。われ〳〵が努力を休止した時こそ、そこに退歩と沈落とがある。絶えざる努力によつて個人も社會も共に進歩發展を持すものである。故にその進歩を欲し、發展を期するものは士氣を新たにして常にあたらしき努力をなさなければならぬ。これ一日に歳あり一年に新春あるゆゑんであつてわれ〳〵は年新なると共に氣を新たにしてここに新しき努力の出發點となさなければならぬ。新春を迎へてわれ〳〵があたらしき努力をなすべき事柄は非常に多いがなかんづくその重なるものを掲げて見たい。まづ

『第一』にわれ〳〵は國民の觀念を明らかにして國家の基礎を『不動如山』にするにある。顧みれば昨年は、今上陛下御即位の大典を行はせられ、我國民意識を明らかにし、[illegible]この國典を擧行せられて國民はこぞつてこれを壽ぎ奉り、我國民はこれによつて我國體の精華と萬世一系の皇室を中心として [illegible] 一體となりて發展し來たつたのであるといふ觀念を鞏固として眼前に浮ばしめられたのである。顧みに逢こつた [illegible] この二大國典は我國民精神を [illegible] 高潮に達せしめたものであつて、國民はこれによつて一層建國の精神を明かにし皇室と國民の關係を [illegible] 以て外來の過激思想や不健全 [illegible]

われ〳〵はこゝに大正六年九月以來十三年間解禁の中に閉されてをつた金本位制度の完全な復活をみ、國に活氣に滿ちた新春を迎ふることを得たのである。元來かくの如き重大なる問題は比較的短時日の間に極めて好都合に解決をみたるは我國民の理解と [illegible] の支持と、熱誠なる國民の後援とに因るものであつて、われ〳〵はまことに感謝に堪へない次第である。しかしながら、金解禁は我財界の進歩に因はる第一の難關を突破したにすぎないのであつてこれを [illegible]

『第二』にわれ〳〵は財界の建直しを行ひ、國民生活の安定をはかり、以て國民共存共榮の域に更に新たなる努力をなさなければならぬ

我々は我が國民經濟の根本的建直しを行ひ、海外貿易の振興と國民生活の安定を企圖せんとして全力を擧げて財政の整理緊縮を斷行し國民の消費節約を實現するため組閣以來着々準備の歩を進めて來たが今や時機の熟したる處といはうか、國民の自覺に基づくと申さんか、國民精神の緊張と共に消費の節約は全國にわたつてわれ〳〵の豫期以上に徹底することを得、これが財界に良好な影響を與へ特に貿易の大勢は輸入減少し國際貸借は漸次好轉し物價は漸落の傾向を示すに至つた等、經濟上諸般の状況は金解禁の斷行に頗る有利に展開するに至つたのである

今や金解禁を行ふも經濟上何等憂ふべき事態の發生せざるべき確信を得たので、昨年十一月二十一日金の輸出取締りを撤廢する大藏省令を布し、愈よ本年一月十一日以後の金の輸出禁止を解くことと致した。これによつて我財界は多年の懸案を解決して始めて更生の第一歩につくことを得たのである

更に國際貸借の改善をはかり國際 [illegible] 々產業貿易の發展をはかり國際貸借を改善し、財界恢復に資することに國民的努力を傾注しなければならぬ 即ち政府は引續き緊縮の方針をもつて財政の基礎となし、これと同時に國力の培養につとめ、國民もまた新春を迎ふると共に更新の意氣をもつていよ〳〵勤儉力行の精神を發揮されんことを望むものである

『第三』に我々は世界平和のため新たなる努力を傾注したい。今や世界は平和の精神に溢れてゐる、國家相爭ひ、人類相鬩ぐの時代は過去の夢と消えて去つた。人類相愛の思想は世界いたるところに澎湃として擴溢してゐる さきに不戰條約は締結され、今年また英京ロンドンに海軍々縮會議が開かれんとしてゐる。これ即ち人類相愛思想の現れとして實に祝福すべき次第である。此海軍縮小の問題に關しては我國としては確固不動の方針を持つてゐる。即ち第一に日本の海軍は世界の何れの國に對しても決して脅威を與へないと共に、世界の何れの國からも決して脅威を受けないといふことが根本方針である。第二に國際平和の精神を貫徹すると共に、國民負擔の輕減をはからんがため、單に軍備を制限するに止まらず進んで相對的に軍備縮小の實を擧ぐるにある。この方針は世界列國の齊しく諒とするところであると信ずる

今回の海軍會議が列國の協調によつて幸ひに滿足なる解決をつくるに至らば、世界の平和、國民負擔の輕減のため眞に慶賀すべき事である。從つてわれ〳〵は我國民的の熱誠なる後援の下に萬難を排してこの會議の成功に努力しなければならぬと信ずる

新年の辭

一木宮相謹話

【東京電話】聖上、皇后兩陛下には御機嫌麗しく昭和五年の新春を迎へさせられ洵に御目出たい御儀である。[illegible] 御健全に御成長遊ばさるるをみそなはし一しほ御滿足に思召させらるる御儀と拜察し奉る次第である。陛下には常に御心を國政の上に注がせたまひ、萬機御多端に渉らせらるゝにも拘らず、萬機の御餘暇には常に御精勵あそばされ寸暇もなき御多忙に渉らせらるゝ御近狀は、[illegible] 宮中に奉仕するものとしてかたずら恐懼に堪へざるところである。皇太后陛下には晴れの新年を迎へさせられ、聊かの御さはりもあらせられずにあらせらるゝを拜し奉り、欣喜の情を禁ずる能はざる次第である。照宮成子内親王殿下の日に増し御健やかに渉らせらるゝを御覽ぜらるゝ御よろこび斜ならざる御事と拜察し奉るのである。

大作無窮天地為壽

為京城日報新年號

齋藤總督試筆 皋水

元旦を期して領事裁判權を撤廢

國民政府宣言發表

【南京卅日發電】國民政府は本日領事裁判權撤廢に關し王正廷氏の名を以て左の宣言を發した

支那は領事裁判權の束縛を受けて八十年、爾來外人に對して法權を行使する能はず、この制度の弊害は贅言の要なし、中國政府と人民はこの狀勢に甘んじ日を遷延する能はざるなり。領事裁判權は尋常の外交問題に比すべくもなくその中國人民に關する實に深刻なるものがあり、中國政府は統治に最も重要なる內政問題となし茲に民國十九年を最重要の時期となし元旦より領事裁判權を撤廢し中國の主權を回復することを聲明せざるを得ず故に行政院及び司法院に命じて辦法を設け施行に便ならしむ中國政府は各關係國が既に同情を表し確實に誠意あるに鑑み近く當該各國と中國間に條項の原則に對し意見合はざることなきを信ず、若しも政府が準備しつゝある辦法に對し意見あらば相當期間に斟酌せんことを欲す國民政府の位置につき二十八日の命令は實に一個の手段に過ぎず、常に發生し易き誤解の原因を除き中外人民の親善關係の將大せんことを欲するのみ

王正廷署名

日支外交は多端を豫想さる

蔣氏新政策を表せん

【東京電報】對外強硬策と左派壓殺を二大政綱とせる蔣介石氏は閻錫山氏をして討伐せしめ以て國民黨右派による國內統一を完成せんとし、一月には治外法權撤廢、二月には關稅自主を宣言して自主權回收につとむべく一九三〇年の對外交は多端を、はじめること、思はれる 殊に列強中アメリカは [illegible] 大統領就任以來治外法權に反對を聲明したのみならず、昨年頃既に對支協調の方針をとり、英國は日本と同じく關稅自主に對しても承認した關係上各國より一應 [illegible] を唱ふるに至つた 英國は [illegible] 態度をとり、更に以來英支條約改訂交渉に關するを聲明し、又秋には威海衞租界を返還し、最近は又明年より治外法權の漸進撤廢に入りたるものと承認を與へ [illegible] この間日本は [illegible] したが、さきに小幡公使拒否問題により既然硬化のまゝ越年することゝなつた 蔣氏は一月一日新政策を發するといふから日支外交も多端なる時局に面する模様である

我全權と英國外相 一月六日會見の筈

若槻全權トーキーを通じて英國民に呼びかく

【ロンドン三十日發電】今日もまた雨が降り續く午前十一時旅館において若槻、財部および、松平の三全權以下高級幹部の全部打合會議が開かれたが、十二時過ぎには若槻全權はパラマウント社の懇請を容れトーキーを通じて英國民に呼びかけ、ロンドン海軍會議の成功および世界の平和に對する日本政府および國民の熱望を高調した。若槻全權は日本語で演說し、齋藤情報部長がこれを英語に翻譯した。なほ若槻全權はイギリス首相マクドナルド氏との會見時日をまだ決定してゐないが、外務大臣ヘンダーソン氏とは一月六日會見するはず

治法撤廢の爲 臨時辯法を設ける

大勢は日本に不利

◇—どこまでも勝手な支那

【北平卅日發電】治外法權撤廢後の在支外人訴訟案件に關する臨時辯法は今明日中に南京政府より公布されるはずだが、仄聞するにこれは [illegible] に類似する簡單なもので、數ケ所の大都會に一ケ所を限り外支混合裁判所を設定しその他地方の在留外人は一律に支那法律に服從せしめんとするものである。右に對し一、二ヶ國は臨時辯法を漸進的撤廢となし承認に應ぜんとする傾向あるも日本は最後まで頑張るであらうが、大勢は日本に取り頗る不利となつて來た

列國の協調不可能

【東京電報】治外法權撤廢問題に關し列國は從來協調的態度を持して來たが、事態の問題を離れいよ〳〵實際問題に入るにおよび各國の利害關係相錯綜せる處から共同歩調の態度を取るを得ず各國個々の方針に從ふのやむなきに至り、日本はこれがため非常に苦境に陷つた。殊に小幡公使問題に絡らんで一層困難な立場に置かれ或は本問題に關する限り最後まで孤立を餘儀なくされ從つて列國の誤解を招くることとならうと憂慮されてゐる

撤廢の通告 米國に到達

併し治權は存在を期待す

【ワシントン卅日發電】國民政府の治外法權撤廢命令に關する通告は本日國務省に到達した、同問題については英米兩國の間に何等か共同動作に出でんことを研究中であつたが終に何等の決定も見るに至らなかつたものである。なほ國務省では國民政府外交部は右撤廢命令を發布するも事實上では從來の通り治外法權の存在することはこれを期待しるもので、國民政府自身も右撤廢命令は有効のものとは思考してゐないといつてゐると

臨時法院改造

兎も角進展 支那の讓歩で

【南京卅日發電】上海臨時法院改造に關する [illegible] 會議は卅日開かれ支那側讓歩し [illegible] 制度の存續を同意したので會議は [illegible] 外人又は [illegible] に關する事件には何等の [illegible] をなしうること [illegible] 意見の [illegible] は裁判後交涉を以てなすといふことに意見一致し各國は本國に請訓の上明年一月二日より繼續することゝなつた

小幡公使には不同意

蔣介石氏語る

【南京卅日發電】蔣介石氏は本日國民政府で記者團と會見し對外問題につき左の如く述べた 國民政府は [illegible] 稅則改訂に決定し目下諸般の準備を進めてゐるが、稅則改訂は中國の主權にして如何なる國もこれに反對する權利がない又小幡酉吉氏の駐支公使にアグレマンを與へることには余は全く不同意だ、さりとてこれも亦我が國の主權に關することで他國の干涉を受くる必要はない、日本が小幡公使任命につき第二次の諒解を求めて來た說もあるがそんなことはない とて小幡公使の赴任に反對の意を明瞭に表示した

年末歳首缺禮

子爵 齋藤實

同 春子

兩頭會見說

解散か非解散か之に依りトさる

【東京電報】年內に議會が解散されなかつたので、政界方面に休會中に濱口首相と、犬養政友會總裁との會見が行はれこれによつて議會の解散は避け得らるるのではないかと觀測する向きがある。卽ち少數黨支持の現政府は安定のため議會を解散すべしとの政府與黨の有力なる意見に對し政友會側では金解禁、軍縮會議等の國際問題に直面せる時、朝野兩黨が議會解散により國際的政爭をなすは考慮すべき問題であるとし [illegible] 今議會の解散を回避すれば政友會は政府の重要法案を支持せんとの趣旨で、犬養總裁は近く濱口首相に會見を求むる事とならんとの說が擴まつたものである、政府側は濱口首相は恐らく右會見申込に應ぜぬとみて居る。しかして犬養總裁も拒絶されれば面目問題となるので慎重な態度を執つて居るが、申込を受くれば妥協の可能性あり拒絶すれば解散のほかはないので注目されて居る

年末決濟は平穩に終始

大手筋の破綻もなし

年末決濟は財界不況の折柄とて資金の融通困難を極めて緩漫なる裡に終始した 卽ち銀券發行高は昨年に比し數日前から一千萬圓程度の開きがあつた筈が、三十日は一億三千三百五萬一千圓となり前年に比して一千三百七十一萬二千圓少かつた、しかして卅一日に至り新年の前日が百六十四萬圓の回收超過であつたことからいつて少くとも百萬圓程度の回收超過となるに相違ないと見られてゐたが、結局發行高は一億二千萬圓程度に止まるものと豫想されて千二百三十八萬八千圓の限外發行をみた。ただ卅日に至り一千二百萬圓が目立つたが、これは昭和二年一月六日以來見られなかつた現象である。なほ、京城手形交換所卅一日の交換高は一萬二千四百五十一枚五百九十九萬二千圓で前年同日の九千九百四十五枚金額七百六十二萬六千二百圓と比較すると、枚數において二千五百六枚を増し金額において百六十三萬四千圓を減じた。一般に年末決濟には大手筋の破綻もなくすこぶる穩かであつた

一體に平穩

東京交換所の調査

【東京電報】東京手形交換所調査二十八日現在 [illegible] に比し [illegible] 加す、然し一般に財界極めて平穩何等異狀なし

年始の本紙

▲元旦號……朝刊卅頁發行
▲二日發行（三日附）夕刊……十二頁
▲四日發行（五日附）夕刊……八頁
▲六日發行（七日附）夕刊……八頁
▲七日發行（八日附）の分より平常に復歸

元日の天氣（1）

大陸高氣壓は支那から朝鮮を經て本邦に擴つている全鮮一般に天氣回復して氣溫は稍々より三度內外下つた今日は天氣はよいが寒る

觀測 豫報 晴後曇
卅一日正午 一・二度
三十日最低零下 六・〇度

有利に進展してる

有賀氏の報告

鮮米移出問題に就て

朝鮮人中の有力なる實業家より組織された朝鮮米移入許可期成同盟會は、鮮米移入許可問題に關し東上陳情した米穀調査委員有賀光豐氏の歸鮮をまちて三十日午後二時朝鮮ホテルにて報告會を開いた。同席上における有賀氏の報告の要旨は左の如し 小委員會における重なる問題の一は鮮米統制問題にて朝鮮米が出來秋に一時に多量移入され內地の市場を壓迫するから、平均移入を圖るには先づ彼の力に依つてこれを制禦しなければならないといふ意見が最も有力であつた、然し朝鮮の官民は擧つて反對するのみならず中央政府も贊成しないので結局總督府をして經濟的施設に依り目的を達せしむるやうになつたがまだ具體案を見るに至らず、年末頃所に一先づ休會したが、大體において朝鮮米に對する諸問題が有利に進展しつゝあることは事實であると

民政大勝利

本田氏當選

【大阪電報】大阪府第四區の縣議補缺選擧の開票の結果、本田彌市郎氏（民政）一萬五千百六十五票の絶對多數にて當選した

棄權率八割三分

【大阪電報】大阪府第四區の縣議補缺選擧の投票は三十日施行されたが歲末のため出足頗る惡く有權者數十九萬七千二十九票に對し投票數三萬四千五百十九票に過ぎず實に八割三分の驚くべき棄權率を示した

日銀特融

五億九千八百萬

【東京電報】三十日現在における日銀特別融通額は五億九千八百四十萬圓にして、融資當時の六億八千七百九十三萬圓に對し八千九百五十三萬圓の減少で融通銀行は最初の八十八行から三十行減の五十八行となつた

東京コール [illegible]

日銀帳尻（卅日）[illegible]

賀正 大橋新太郎 東京市麴町區上六番町四十三 電話九段〇四二二番・〇四二三番

賀正 衆議院議員 辯護士 守屋榮夫 東京府下瀧野川町西ヶ原七十四 電話小石川一〇五一番

賀正 海外興業株式會社社長 井上雅二 東京市外目白町上 電話牛込二八六五番

賀正 朝鮮皮革株式會社々長 賀田直治 東京市日本橋區本石町一丁目一番地 電話日本橋六八七番

賀正 藤山雷太

賀正 警視總監 丸山鶴吉 東京市丸之內有樂町官舍

賀正 美濃部俊吉 東京市芝區芝公園五號地九番 電話芝三〇〇八番

賀正 光永星郎

賀正 中野金次郎

賀正 朝鮮京南鐵道株式會社東京支店 副社長 秋本豐之進 支店長 光谷宗助 東京市京橋區 [illegible] 町十三番地 電話京橋〇一七〇番

あらゆる榮譽を抛ち 一山梨として法廷へ
阿部陸軍次官を通じて 自己の決意を傳ふ

【東京電話】山梨半造大將は朝鮮疑獄事件に關し遂に不拘留のまゝ起訴され、新春早々いよく被告に附せらることゝなつた、大將は起訴前においては事件に關する陳述を極力拒否したに拘らず、起訴せらるや、にはかにその態度を改め、過日陸軍の阿部陸軍次官を通じ、宇垣陸相に對し一切の榮譽を辭退して謹愼し必ずや一山梨として法廷に立つとの決意をほのめかすと共に各關係者に對して自己の辭意を披瀝したとのことである即ち、それによると

朝鮮總督在職中の行爲については、少しもやましい處はない。然しいやしくも刑事問題に關し疑惑に包まれたことは全く自分の不徳不明の致す處、現在の榮職を擲へる自分として既は御上に對し恐懼にたえない、今や起訴處分を受けて自分の主張を開陳をなす機會を得たので、この場合一切の榮譽を辭退し謹愼する

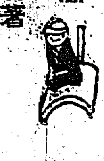
といふのであつて、宇垣陸相も山梨大將の心情を諒とし、首相にこれを傳達し、山梨大將よりの正式申し出でを待つてゐるとのことである（寫眞は山梨大將）

縊死巡査に 深まる疑問
あらゆる諸點が一致 興味を呼ぶ成行き

【東京電話】廿八日午後十時頃千駄ヶ谷[illegible]の和洋女學校生徒加見八重子（二〇）が何者かに絞殺された事件とその[illegible]折も折警視廳本部千駄ヶ谷署で同署勤務巡査石川要（二三）が縊死を遂げた二つの事件は密接な關係あるものとして興味を持たれてゐる、被害者の死體は三十日午前七時より午後十時までの間[illegible]日本刀の下に[illegible]石川巡査は[illegible]結束食後三時間以内の兇行でしかも兇行を加へられたことは局部に[illegible]となつた、絞殺・女のショールで行つたもので相當抵抗した形跡が殘つてゐる、一方疑問の自殺を遂げた石川巡査に疑問のかけられてゐる點は石川の[illegible]ゐること、兇行當日石川は當直であるに拘らず自宅で寢てゐる點、又夕飯を食べた後午後[illegible]時から友人と遊びに行き七時に歸宅し三十分の後湯に行くとてマントを着て

外出 した湯には行かず それから約三時間後午後十時[illegible]頃手拭をさげ[illegible]歸宅した、その三時間の間は丁度兇行の時間に一致しその[illegible]が一致する點、更に疑はしい[illegible]

温突の窓
憂き目に遭つた名著



【ヴァチカン電報】世界三億のカトリック教徒の『禁讀』と『不讀』とに關する權威的聖典として最近ヴァチカン法王廳から出版せられた『禁止圖書目録』の改訂新版によれば禁止圖書目録すべて五千余種ギボンの『ローマ帝國衰亡史』ハラムの『英國憲法史』等をはじめとして哲學者、ダヴィッド・ヒュームの全著作[illegible]の人間學として知られる[illegible]

ルの『懺悔錄』、ロビンソン・クルーソーでお馴染のデフォーの『愛蘭物語』トリストラム・シャンデーの著者スターンの『感傷の旅』が英語によつて書かれた近代的傑作として禁止圖目に選げられ、又最近の所では『アタシオン』『フランセーズ』一派の作家、『キリスト傳』の著者ルナン[illegible]部分も容赦なき『禁止』の烙印を押された

◇文明批評家テーヌ[illegible]ルテール等がことごとく一括『禁止圖目』の範圍に入れられてゐる。カルヴィンやスウエデンボルグ等の宗教改革的論者が[illegible]として不思議なのは[illegible]ルーテルの[illegible]が禁止圖目に入つてゐないこと[illegible]なカトリック『パンセー』の[illegible]ひを受けてゐることだ。◇

[illegible]のボ[illegible]にも同じくローマ法王の前には何らの權威も[illegible]のプレデリック大王、英國のジ[illegible]

エームス一世等の著述、並びに[illegible]ぶりを[illegible]してゐるイタリー王ヴイクトル・エマヌエル三世の『一神論者同盟』も同じく禁止[illegible]に擧げられてゐる。◇[illegible]ゐるにはバルザックやデューマ父子等の[illegible]がある。ヴイクトル・ユーゴーの『レ・ミゼラブル』及び『ノートル・ダム』アナトール・フランスの『タイス』『天使の叛逆』等が禁止[illegible]目の扱ひを受けてゐるのは寧ろ本へ[illegible]であらう。

死傷者卅余
内即死は二名 三井炭礦の爆發

【福岡電報】[illegible]三坑で三十日午後一時[illegible]瓦斯爆發して坑夫五一名中二名即死し三〇余名重輕傷を負ふた

賀狀の山は 自動車で捌く
チゲ百余も繰出し 元旦からの多忙さ

元旦は例年[illegible]のでゐる[illegible]が[illegible]のやうに一時に配達される[illegible]ら元旦にかけ[illegible]く[illegible]して到着[illegible]に[illegible]

到着 した[illegible]は百萬を越え[illegible]數百名の局員が[illegible]になつても大晦日中[illegible]理し盡くすには到底不可能である、かくして全局員必死の努力により一日の午前九時までには百萬の到着便を完全に整理し配達に向ふことになつてゐるが、何分[illegible]する[illegible]の百數十倍にも達することゝて元旦の配達はじめには京城局の配達三十名を五十八區に配置し、各區を配達人一人で分擔するが、この配達人には一人宛至二人のチゲをつけて山の[illegible]を運ぶことになつてゐるそれから[illegible]

學生事件の策動者 逮捕さる
車載點

學生[illegible]件の中心策動人物として行衛捜査中にあつた[illegible]は[illegible]方面で[illegible]され、[illegible]は[illegible]になり[illegible]に[illegible]

火の粉で 燒え上る

二十九日午後八時半頃、府内鐵兵町[illegible]ガード附近の土手に列車の火の粉が落ちて、芝草が燃へだしたのを通行人が發見して直ちに消し止めたが一時は可なりの騒ぎであつた

紋付姿で挨拶廻り

【ロンドン廿八日發電】[illegible]は[illegible]以來の和服姿をやめず[illegible]けふは紋付姿で雨降るなかを松平大使夫人をはじめ邦人夫人連を訪問挨拶を述べた

ロンドンで 正月氣分
應接間に飾られた大鏡餅

【ロンドン卅日發】クリスマスを盛んに祝ひつくしたロンドン人は正月には[illegible]で新年を祝ふものは少數のスコツトランド人位なものである、グロヴナホテルに旅の夢を結ぶ[illegible]には大晦日も元日もなくただ軍縮對策に沒頭するのみである、從つて随員一行も年の瀬を迎すことすら意識せぬ程で[illegible]風景を極めてゐた[illegible]伏見宮の心配で若槻全權の應接間に大鏡餅が飾られマントルピースの上に橙、こんぶなのせられ伊勢海老ならぬロブスターがかしこまつて漸く日本人の正月らしくなつて來た

平和賞を 國聯へ
ウイルソン記念財團

【ニューヨーク廿八日發】前大統領ウイルソン記念財團は故ウイルソン[illegible]八日氏の[illegible]記念日に際し一九二九年度[illegible]平和賞金を國際聯盟に與ふべき旨を發表した。[illegible]國際聯盟は[illegible]十ヶ年にわたり世界平和に貢獻したる[illegible]により[illegible]與へられるもので[illegible]はジュネーヴに[illegible]ウイルソン記念[illegible]として[illegible]いれるはずである

威勢よく[illegible]

[illegible]一の大[illegible]に[illegible]數百名[illegible]一層の[illegible]一步にかゝること、なつてゐる

官憲と 衝突す
サモア島土人の暴動

【ニュージーランド[illegible]】[illegible]の島民が[illegible]をかゝげ[illegible]

[illegible]セ氏の外[illegible]の土人およびニュージランド[illegible]アブラハム氏等八名である[illegible]に一九二〇年サモア島がニュージーランドの委任統治に指定された際民意によらざる政府の[illegible]税に對し同島の土人が不平を唱へ[illegible]は右不和の[illegible]である

フォードの 大擴張計畫

【デトロイト廿九日發】自動車王ヘンリー・フォード王の嗣子で現にフォード自動車會社の社長たるエドセル・フォード氏の發表によれば同會社は明年度中に國內各[illegible]の[illegible]擴張[illegible]として三千萬ドルの[illegible]を計上してゐる外、海外におけ[illegible]についても大擴張を斷行する[illegible]である[illegible]

新年のうた
柳原燁子

白みゆくあけぼのゝ色のかしこさよ年さきたるなり東の方より

いひのぼり昔子のもありて元朝のすがたしたる天に鳴るがな

くりやべに若水くめる水の音さやかに聞え年あけにけり

この年もさはりあらすな子らのため神棚の前にみあかしかゝぐ

特き製さ幾めぐりしてすこやかにうれしきかな年は來にけり

エムデン號 に暴動

【ベルリン電報】世界一周航海の途についたドイツ巡洋艦エムデン號はヴイルヘルムスハーフエン港に[illegible]した[illegible]組員が十二月初めから給與不良の[illegible]をもつて[illegible]を要求したため[illegible]を起こし、赤旗を掲げ[illegible]時[illegible]國[illegible]捕されたと傳へられてゐる

春ひらく
—（A）—

エロスの讚歌
花束だ、秋波の巨濤だ 見事聴かれた初音

一九三〇年の幕は、愛なしき黄鳥のホーホケキヨと共に切つて落されるの。初鳴きの行事としての讚囀は古く[illegible]い[illegible]、賓にそゝのかされて唄ひ出す鶯こそモダニズムの尖端を行くものだ。

◇

朝鮮西日のつけ子で下げはホーホケキヨ、聖管はホホヒーケカコとあげられる、このめでたき鳥が唄ふ青春の讚美歌である。たとへばにんげんの世の、それは愛人にさゝぐるローズの花束だ、ペーヴメントの行きずりにポップの君になげられるキス、キス、秋波の巨濤だまことに昭和五年の春は鶯のエロチシズムの讚歌と共に鍵を[illegible]切つて落される。

◇

このお役目の鳥は[illegible]の[illegible]

[illegible]場で四五圓から十四五圓で賣いたものだつたが、それらの多くはトートーホケキヨとか、ホーベチヤコと晩鳴ずる鶯であつた、本物のホーホケ、ヨと晩かすのには何といつてもへけず、つまり子飼の方が[illegible]ない。

◇

そこで牧野鳥店、ご主人から[illegible]は旭町の[illegible]田さんの[illegible]いのか居ました[illegible]、現在京城で一番よいのはイエ決して威張るわけじやありませんが私のところの百五十圓のつけ子ですよ、これは[illegible]の初鳴めから、とてもよく鳴きましたから、見事に初音を唄ひました。ホーホケキヨ、とね。昨年の元旦DKの初鳴の[illegible]が失敗したのは鶯たつたからです。つけ子だつたら苦もなく唄つてのけます。ナニどうせいくらよく鳴いてもこんな高いものですから、とりく私のうちで初音を聞かしてくれました[illegible]はトートーホケキヨで我慢をおしなさいと、お客さんにもおすゝめした次第です

博文館 東京小石川 振替東京二四〇

スケーティング
フィギュアー・スピード・アイスホッケー
河久保子朗著

圖形につき 圖はスケートの理解を助ける上に絶對不可缺のものである 本書は三百餘個の挿圖を掲く

初心者の爲めに 時に別項を設けてスケート及靴の購入より滑歩、滑出に至る迄を親切に手引す。足に合はぬ靴やスケートは上達を阻害する。

著者は二十有餘年間スケーティングの建設と發展に力を盡し、其の技術は斯界の尖端に立つものである。今其の研究を集めて描型・氷滑・描型四十一・自由圖型の部をなす 日本に於ける此種著述の最高なるものである。競速氷滑及アイスホッケーは國際進出の爲めには平常より國際規約につとれる練習を行はしめん爲め說けるもの

國際描型氷滑競技規約及記錄
國際競速氷滑競技規約及記錄
國際アイスホッケー競技規約
を譯出せるは實に本書を以つて最初とする

最新刊 四六判四百頁函入 定價二圓廿錢 送料十二錢

バス流行時代の寵兒!!
米國ハドソン會社製ドーバー號
發賣早々其威力を知らる
能率本位として經濟本位
として他車に其比を見ず
小型バス（荷物室付）乗人貳拾
總代理店
日本自動車株式會社
京城出張所
京城黄金町四丁目（電車交叉點角）
電話本局長三四二九・一〇三一・三〇四〇

謹賀新年
昭和五年一月元旦
朝鮮咸鏡線上龍田驛前
昭和炭礦龍田鑛業所
所員一同

東京蒲田 日本自動車學校
東洋唯一の理想的教授を見よハガキにて申込次第規則案内書直送す
フォード、スター、シボレ、ビック其他各車多數[illegible]
文部大臣指定・新校舍落成・募集人員約百名

生徒募集
財團法人 東京醫學專門學校
試驗科目 代數・幾何・物理・化學・國語・漢文・英語 試驗期日三月廿八日出願期限[illegible]
詳細ハ昭和四年十二月十七日官報ニ掲載 東京市外東大久保（市電東大久保下車）
學則・志願者心得ハ郵券[illegible]付請求セラルベシ

貿易科 商學科 法學科
橫濱專門學校
受驗地 仙臺、橫濱、名古屋、京都、大阪、廣島、福岡
詳細は十二月十日官報又は校則にて承知せらるべし 右一覽ヲ募集ス（校則要郵券二錢）橫濱市西戸部[illegible]

缺禮 武者錬三

旅行中に付年頭の禮を缺ぐ 森秀雄

今般都合ニ依リ從來ノ小寺組ヲ繼承引續營業罷在候間何卒倍舊ノ御引立奉悃願候
三木合資會社
電話光化門長（五九七）（二〇六〇）

第拾期決算公告
京城窯業株式會社
[illegible]

運命の浪 [202]

遠藤柳雨作　多田畝三畫

清き世界へ（三）

醜悪の化身ともいふべき、彼れ阿久澤の心にも、さすがに一寸躊躇が来た。然しそれはホンノ刹那的の驚きであつて、彼の悪魔的目的は、再び恐ろしい力で睨を上げて来た。

一はゝはゝゝ、我輩はどこまでも馬鹿だ悪魔だ、俺一人の行いぢやアない。社會の組織が悪魔でかたまつて居るのぢやアないか、俺の昨今の行動の如きは、一般世間の悪魔組織からいへば、ホンノ九牛の一毛だぜ」

と、自分の悪魔を弁護してから「悪魔だの悪魔だのといふ不都合を詛ゆるからいかんのだ。みな生活から来る必要な行動なんだ。我が自分の利にするために、總體を泗つて蜘蛛の子を捉へ、やりたいのだ、形式は違つて居るが、總局の目的に變りはない。俺の生活を維持するには、まゝめな順序立つたことでは追つゝかんのだ、立派つて大手をひろげてやらなければや俺は細民や窮民を苦しめて、生活しやうといふのぢやアない、あるところから大づかみにつかまえて……」

要にいひすゝまうとするのを、謙吾は膝をすゝめると共にいつた「然しそのある所からつかんで来たものも、ご自分の生活にのみ使つて、つたのでは、たとへ理屈のある行爲でも駄目です、ある所から大づかみにつかつて来て、その日の生活に泣く細民を救つておやりになつてこそ、同じ罪悪でも罪悪において、聞な意味を生じるが、お父さんの遣り方はさうでもないのです、私は貴方の立場に居るならもうといつた遣り方で行く、然し一

貴方は法律の不備なのを奇貨として、法網を潜つての悪事だから一層駄目です。遠慮なく申し上げれば陰險姑息なのだ、それだけ罪状的に罪が深いのだ。あなたが今日までの悪魔的行爲について、明かに静かにお考へになれば直ぐ分ることです。いまはその運命に窮して居るが、本當を申し上げると、目にみえる警察官や、刑法なんぞは問題ぢやアないのです、良心の爽かな喰ひ込んで居る、良心の目が恐ろしいのだ。その目は鋭い。寝てもさめても、常住不斷に人間の心を責めます。お父さん、貴方にはその懺悔はありませんか」

「馬鹿？、そんなものは、俺の心の力で蹴ちらしてしまふ、嵐の前の塵芥のやうなものだ」

阿久澤は冷然としていつた。

さすがの謙吾もかへす言葉なかつた。

「我輩は常に社會の荒浪を押しのけてわたるのに、臆病すぎる俺は今まで、踏んで来た道を、犯罪の生活とは縁遠に斷つて居ない程度で、極めて合理的にあるいて来たのだ、勝てば官軍ぢやアないか、斷間に戦争があると共に、斷へ間的に不斷の闘争は仕方がない。少し俺のやり方はラヂカルであつたけなんだ。これが俺の生活の的態だ」

「然し法律が……」

「法律や規則が、平時の約束にすぎない、俺はそれを超越していきるのだ」

謙吾は深い深い溜息をついた。

「お父さん、あなたは気が狂ひはしませんか」

「俺か、俺は真面目だ」

突如、廊下の外に、刑事の姿が現れた」

麻雀 旭町一 麻雀莊

市内均一圓 ビュイック其他新車揃 新自動車が絶對安全 タクシーの御用命は 京城タクシー 電話本局一〇四〇・二七四四

海邊の巖

白田亞浪

年は来ぬ潮しづめ立つ大き巖
元日や風きざの巖めぐりて
初日や高し浪返す巖つらなり
巖かげやお飾り舟に浪遠く
二日となりし幾かげの諸焚火
萬歳に預の巖々若背く
初闘舞ふよ巖かげ深かまさり
◇
騎り初めの馬ひきむけぬ原の霧
初荷馬顔寄せる門の風ぎ
乗り馬春ひかかる客に眼つぶりぬ

JODK（京城放送局） 正月三日間のプログラム

一日（水曜日）（四方拜）

午後〇、三〇 時報、氣象概況、各地天氣實況
同〇、四〇 齊唱 一、君が代 二、年の始 第一高等女學校生徒有志 ピアノ伴奏 大塚勇之助
年頭の御挨拶 京城放送局理事長 保阪久松
同一、〇〇 謠曲（一調） 肖刈 鉢の段 寶生流謠 黒本正太郎 小鼓 幸信吉
筑前琵琶（三重合奏） 吉安旭翠作歌 二世旭翁作曲 勅題「海邊巖」 出演 旭薑會 甲絃 江藤旭菖 正絃 吉川旭閑 正絃 金旭一 乙絃 江藤旭勇
同二、〇〇 ニュース
同二、一五 歌曲 男唱 河重一 女唱 李蘭香 支琴 趙東淳 楊琴 金東淳 短簫 趙東奭 長鼓 金一宇
同六、〇〇（子供の時間） 劇と管絃樂
同六、三〇 記念講演（東京） 旅順開城の回顧 陸軍大將 井上幾太郎
同七、〇〇 ニュース
同七、二五 講談（東京） 愛宕山春の曲駒 錦城齋典山
同七、五五 浪花節（東京） 阪岡助五郎 春日亭清吉
同八、三〇 長唄（東京） 芳村孝次郎改め 唄 松永和楓 芳村孝太郎改め 唄 松永和幸 三味線 杵屋佐吉 三味線 杵屋六次郎 笛 杵屋竹次 ［一番叟］
同八、五五 義太夫（大阪） 小鼓 望月吉三郎 大鼓 梅屋金太郎 太鼓 福原百之助 お夏清十郎 淨瑠璃 豊竹駒太夫 三味線 鶴澤淺造 翌日プログラム發表、氣象概況 ニュース、時報

二日（木曜日）

午後〇、三〇 時報、氣象概況、各地天氣實況
同〇、四〇 俗曲 イ、博多節 ロ、米山甚句 ハ、串本節 ニ、奴さん ホ、安来節 ヘ、八木節 ト、關の五本松 チ、其他 唄 季小研 三味線 山崎翠子 小鼓 ……
浪花節 紀文 盛中猫児月
同二、〇〇 ニュース
同二、一五 南洲短歌と伽倻琴並唱
同六、〇〇 お話（子供の時間）（東京） 一、短歌 二、春香歌 金錦玉
一月の歴史（テキスト廿二ページ）コドモのテキスト紹介
同六、三〇 連續野談 留師塔傳說（一） 尹白南
同七、一〇 ニュース（鮮語）
同七、二五 箏曲（大阪） 江戸千代子外二名
同七、五五 錦心流琵琶合奏（京城） 船辨慶 松井清水 齋藤高水 高木道水
同八、三〇 新内（名古屋） 道中膝栗毛 赤坂並木の段 富士松春太夫
同九、〇〇 大衆物語（大阪） 栗島狭衣
翌日プログラム發表、氣象概況 ニュース、時報

三日（金曜日、元始祭）

午後〇、三〇 時報、氣象概況、各地天氣實況
同〇、四〇 尺八獨奏 改訂「春之曲」 都山流竹派 佐藤令山 箏 平中照子
長唄 勅題「海邊巖」 濱口長光作歌、杵屋榮乃司作曲 唄 杵屋美乃司 三味線 杵屋佐多枝 上調子 杵屋佐代枝
同一、〇〇 ニュース
同一、一五 南鮮短歌 一、短歌 二、雜歌 金草香
同六、〇〇 お正月の遊び（子供の時間）（東京） かるたの話し、取り方（テキス卜十七ページ） 東京かるた會常務理事 渡邊秀夫
同六、三〇 連續野談 留師塔傳說（二） 尹白南
同七、一〇 ニュース（鮮語）
同七、二五 歌留多の夕（東京及大阪） 一、百人一首朗讀（一回） 東京かるた會 岸本宋雄
二、マンドリン獨奏、イ ジプシーの唄、ノーイ作、ロ ロココ風ガヴオット、マッテオニー作 吉井俊二 ギター伴奏 小林行治
三、百人一首朗讀（二回） 東京かるた會 岡田光一
四、マンドリン獨奏、イ ナポリの唄、ロ メニユエット 舞曲 吉井俊二 ギター伴奏 小林行治
五、百人一首朗讀（三回） 大阪かるた會 一花英一
翌日プログラム發表、氣象概況
ニュース、時報

アララギ

新年特別號 定價八十錢 郵税二錢

山縣有朋の歌……齋藤茂吉
萬葉雜話……井上通泰
萬葉集短歌輪講……左千夫歌集合評
代々木話……岡麓
子規と泰園……土屋文明
短歌 土田耕平・結城哀草果・中村憲吉・竹尾忠吉・高田浪吉

入會申込所 アララギ發行所
發賣所 岩波書店

新春興行案内

東亞倶樂部

四日より新春第二回超特別興行
東亞キネマ京都スタヂオ超特作 監督 西本武二氏作品
大衆代喜劇 浮世傘 團徳麿氏一人二役 小坂照子主演
エフ・ビー・オー六大超特作中の一 マーシャル・ニーラン氏監督
タキシー十三號
チェスター・コンクリン氏主演 マーサー・スリーパー、リー・モーラン、ヒュート・レーヴオア、セル・ウエールス助演
東亞キネマ京都超特作 原作 大佛次郎 監督 山本松男氏作品
大時代劇 鞍馬天狗
時代劇界の二大巨星 嵐寛壽郎 主演

中央館

一月一日ヨリ毎夜五時開演
劇界珍樂萬歳の總師
橘家菊春
橘家太郎一行
其他三十餘名出演
三十一日封切 パラマウント社特作
艦隊入港
世界のモガの女王クララ・ボウ嬢主演

大正館

三十一日賀新春特別大興行
松竹キネマ蒲田撮影所作品
今年竹 十卷
マキノ正博共同監督
荒木又右衛門
白野辨十郎 十卷

平山政十	井上宜文	龍山精米所	總督府諸官廳御用達 合資會社 野津集文堂 京城櫻井町一丁目 電話本局一七二四番 振替京城一五一六〇番	京城黄金町四丁目 東亞倶樂部 電話本局二六三七番	京城本町二丁目 東京ショール 金太郎洋品店	京城漢江通十三 時計商 天眞堂 電話龍山五六一番	京城本町三丁目（若草町通） 伊豆天壽堂 看板店 電話本局一三八八番	京城府本町二丁目 中村商會 同喫茶部 電話本局三六五番	京城府南山町三丁目 京城ホテル 電話 旅館部 本局四一二三 別館 九二〇	陸軍御用 中島靴店 京城府岡崎町二五 電話龍山一九五番	京城府旭町二丁目 東京旅館 電話本局長二五九番 / 本ビル食堂 電話本局三〇四番

水原郡西新面事務所 職員一同	水原城内 富司亭 電話一四番	水原本町 洋品雑貨 小間物 日用品 加茂百貨店 電話百八番	水原城内 一二三樓 電話一〇一番	水原仲町 平田本店 電話二七番 振替京城四七三三番	水原南門内 パーソン號自轉車販賣 ロンブ號自轉車 ヤナダ商會 電話二〇四番	水原驛前 巴商會洋服店 電話一四三番 振替京城三八九〇番	水原 湯淺伊平 電話四八番	水原面協議會員 近藤泰吉 電話一七一番	水原 洪思勛	水原郵便局長 吉田信秀	水原警察署長 永田吉右衛門	水原面長 梅原靜雄	京畿道公立水原農林學校長 嶺峻 / 水原郡廳

湖南線江景西町 江景印刷所	扶餘面長 金相培	扶餘郡 恩山精米所	扶餘郡恩山面長 兪鎭禹	扶餘恩山 貨物自動車營業所	恩山郵便所 三宅近治郎	扶餘鴻山郵便所 猿渡唯助	扶餘郡鴻山面 東亞土木企業株式會社出張所 吉屋種廣	扶餘鴻山 東拓出張員事務所 秉山太市	論山本町 鶴屋旅館 電話本店二九番 支店二六番	論山土木管區事務所 職員一同	論山郡陽村郵便所 下村平治郎	論山郡陽村面仁川 慣巣耕作組合 金元立雄	保寧郡大川 保寧旅館 電話一六番	忠南保寧大川 在郷軍人分會	保寧大川普通學校 坂元康男	保寧警察署 秋吉澄夫	舒川警察署	湖南線江景西町 合資料理 高島屋	湖南線江景西町 萬屋旅館 電話四九番

朝鮮江景 米穀貿易 林精米所 電話長三七番	扶餘郡林川面 富永大吉	湖南線江景大和町 櫻井機械店 電話一三九番	南朝鮮電氣株式會社 江景出張所 河野正吉	舒川各官公署 各組合團體	職員一同	論山土曜會	扶餘公立學校長一同

全南松汀里 米穀商組合	全南光州 旅館組合 泉屋旅館 播磨屋旅館 萬屋旅館 東雲旅館	全南光州 春の家 電話一二一番	全羅南道和順郡廳 郡守 南廷學 外職員一同	全羅南道廳 食堂員

京城日報 其二

元朝 謹呈
齋藤總督

小波 [illegible]
半世音生又一年
[illegible]

多端な新春
金解禁＝議會解散 五國軍縮會議も開かる

經濟國難の打開― 財界立直しの第一歩
十二年間に亘る金輸禁止 この春を以て解かる

足かけ十四年になる金解禁もいよいよ來る十一日（土曜日）から斷行されて、金貨の輸出は全く自由となり。實際の金本位制に復歸することゝなるが、かへりみれば、昨年中の解禁準備は實に物々しきもので、息づまるほどの緊張を示した。昨年一月の豫想では解禁は昨年四五月頃の半信半疑と見込まれ、一時は株式の暴落となり、財界動搖の端緒も開かれんとしたので、日本經濟聯盟の大御所井上準之助、團琢磨、郷誠之助の三氏は相携へて時の藏相三土氏を訪ふ、財界を安定せしむるため金解禁斷行の意なきことを聲明させた

皮肉にも その後七月濱口內閣成るにおよび、この井上準之助氏が藏相に就任し、近き將來金の輸出解禁を斷行すべしと聲明し、財政の緊縮と消費の節約を高調した。

この聲明の反響は國の內外に及び、消費の節約は意想外の効果を現はし、先づ貿易商は輸入を手控へ、商店は先物の仕入を見合せ、物價も下り、入超は減じ百万圓都合に進んだ。その後調子に乘つた政府は官吏の俸給一割減といふやうな突飛な案を出して、世論の大反對に會つて實行を中止し、豫算は所期の目的を突破し十六億八百萬圓となつたが更に角公債募集一切見合せ明治四十一年以來初めて借入金なしで豫算を組むことが出來た

豫算閣議 が一時に決定したのもレコードやぶりであるが、非常に藏相の喜び方は無類で早速ニューヨークの津島財務官に電報して、クレヂットの交渉を始めさせた

これより先、紐育株式市場は十月二十九日の大ガラを動機として恐慌狀態に入り大混雜の模樣であつたが、紐育聯邦銀行はこの恐慌に惱み、久しき高利政策を棄てゝ十一月十四日にその公定歩合を四分半に下げた。かく紐育聯邦銀行は十四日利下げを斷行した上に、モルガン商會を中心とするシンヂケート銀行團はこの日我國のクレヂット設定に同意を表した。

是に於て 藏相は愈よ斷を斷行する決心をかためその實施期日を本年一月十一日と定め、その前日大藏省令に署名すると共に、海外に解禁を斷行する旨を命じた。然して聲明は十九日完了や廿日その入電があつたので二十一日朝に聲明を發し正式決定を發表した。しかしすでに政府は在外正貨を買上げ、又在金の買持を買上げ三十一日までに日銀と政府所有の在外正貨は三億四百萬圓となつたことの外に一億圓のクレヂットのある上に英米兩中央銀行は補助的援助を日本銀行に與へることになつたなほ

來十一日 以後は政府は在外正貨を所持することを中止し一切を擧げてこれを日本銀行に讓り渡し、日本銀行は國內的に國外的に金融調節をはかる外に國外的に通貨の調節をはかること、なつてゐる。又國內民間有力銀行の正貨流出を援助すべく準備預金を申合すをなした。卽ちこれが完全に行はれんか、正貨の海外流出は必配の必要なく、したがつて內地金利の騰貴もあるまいと見られて居るが、この點は果して豫期の如くなるや否や、而して解禁聲明當時の人氣は一般に落つき心配であつた。大勢は平價に復して來れば輸出は減じ輸入は增加するから貿易の

バランス は昨年の如くにはゆくまい。どうしてもこれを緩和する爲に關稅を改正し別に國際貸借を改善するの施設を講ずる必要がある。

隨て國民は本年も昨年同樣或はより以上に緊張した氣分で消費の節約を計らねばならぬとは政府及び支持者の主張であるが、この儘で節約のみ續けて居ては產業は萎縮して振はず、失業者も續出するであらうとの懸念から追般の論爭は解禁實施後一層熾烈となるであらう。

不景氣に 見舞はれるは少くとも相當覺悟な一般の見込みでは本年から二年であらうとして居る。不景氣になつて消費が減れば自然物價も下り輸出が增加し輸入が減じ貿易のバランスはこゝに一轉期に向ふのであるがこの時機が本年來るか二三年の歲月を要するか財界の前途をうらなふものゝ最も迷ふ所であるが恐らく本年は一年を通じて不景氣の風に吹かされるであらう。但し昨年までの如く前途どうなるかといふのでないから幾分心を落付けて居ることも出來やうが、時日の經過と共に

物價下落 の打擊に備へ諸般の破綻を豫防するものがあらうからこの點には充分警戒を要する年である。

重に角解禁といへば金解禁のことと早速何人も合點するが如く近くは過去二三年間、遡つては大正十二年の地震前の如き爲替が五十弗を突破した當時から何回も解禁の機會は到來したのであるが其の都度思はざる突發事故の爲にその機會を逸したことは何といつても遺憾であつたが最早過去の語り草に過ぎない、又見樣によつては過去の突發事故は今解禁に對する一切の故障を除かせるチャンスでもあつたのであるから、今回の解禁には何等の支障も起らないと見ることが出來る

無駄排除 節約緊縮、經濟國難はかくて打破することが出來るとは、今後國民全般の叫びかくべきモットーで、財界立直しを通じて繰り返し提唱されてゐる新年の言葉はこれである。しかして金解禁はこの經濟國難を打開し財界を立てなほす第一歩であり、更に國際水準に立脚した我財界人はこれによつて時代に適應せる新經濟を營み、物價を國際平價に導き、如何なる國際競爭にも立向ひうるであらう。經濟低落といふが如き國家的不利な歲月を忍んで働く

本年こそ は一切のハンディキャップを拂拭して闘ひうる年となつたのである。十四年の久しきにわたつて、國民の頭上に加へられた大正六年大藏省令第二十八號は撤廢されるのである。

議會が解散したら
總選擧の結果 果してどうなる？【上】

今期議會が休會あけ再開後は解散となるべきことは殆ど疑ひないといつてもよからう。たゞその解散の斷行と時期がわからぬといふに過ぎない情勢である。果して然らば解散後の總選擧如何といふことも當然考へらるべきことであらねばならぬ。然して總選擧の結果を推測するのにいはゆる經濟政策打破―金解禁後の經濟政策を遂斷とすべきは勿論であるが、最近政府に關する疑獄事件、その他種々の醜聞も考慮に入れざるべからざる結果は、容易に推斷を下し難いことゝなり、ここに深甚な興味を喚起することゝなるが、今知名士の豫測を摘錄すれば左の通りである

◇民政黨の勝利◇
東株取引所理事長 岡崎國臣氏談

休會明けの議會は現內閣の經濟政策に對し解散後は當然解散を見るであらうが、解散があつたからとて金解禁には何等の影響はない。殊に財界には政黨盛衰あるはずはないと知つて總選擧費用數千萬圓が動くから、これによつて經濟界では多少好影響をもたらすに相違ないと觀ずる。しかして總選擧の結果が政友、民政いづれが勝利を博するかこれはにはかに逆睹し難いが、大體民政黨が少數の差をもつて第一黨を占むるものと思はれる。疑獄事件さへなかつたら或は絶對多數をかち得たかも知れぬが、何分この間隙でいさゝか人氣を減じた傾きがあるから到底絶對多數の見込みはない。しかし政府黨ではありその政策は一般輿論の支援を受けて居るから敢て干涉せずとも第一黨たる事は疑ひない。かくて政局は安定し、財界もまた緊張の裡につくものと思はれる。

第三黨の進出
貴族院研究會 青木信光子談

休會明けの議會がどうなるかといふと、野黨が多數で政府黨が少數なのであるから、解散となるのが當然なのであるが、しかし解散といふ事は重大問題であり、朝野黨の間に種々策戰もあるべきであらうから、われ／＼の如き政黨の圏外に在るものにははつきりした事は判らない。たゞ現政府の政綱から見て野黨として積極的に不信任案を出して解散して行くのが有利であるのか、解散自重を受けた方がよいのか、總選擧の結果についてはどつちに有利かといふと、從來の慣例から見て政府黨に有利であらうと思ふ。殊に目下種々いはれて居る綱紀問題をまで出して熱心にやつて居るにしても政府は內閣成立後半年あまりで金解禁の如きも可成り良い聲明が行はれ、その成績も一部の悲觀論者のいふが如く惡くないのみならず、可成り具合よく行つて居る際であるから、自然政府に有利な選擧が行はれるであらうと思ふ。しかし現在の狀態から見て絶對多數をうることは出來ないであらうから、政局は決して安定といふ譯にはゆくまい。どうか疑問で、最近勢力を得て來た無產黨は、今回の政民兩黨の衝突の仕合によつて、國民の間に既成政黨に對する信用がなくなつて來て居るのを機會に進出するであらうし、又中立議員も出て來るであらうから政權をうるのは、無產黨なり第三黨の支持を受けなければならなくなるであらう

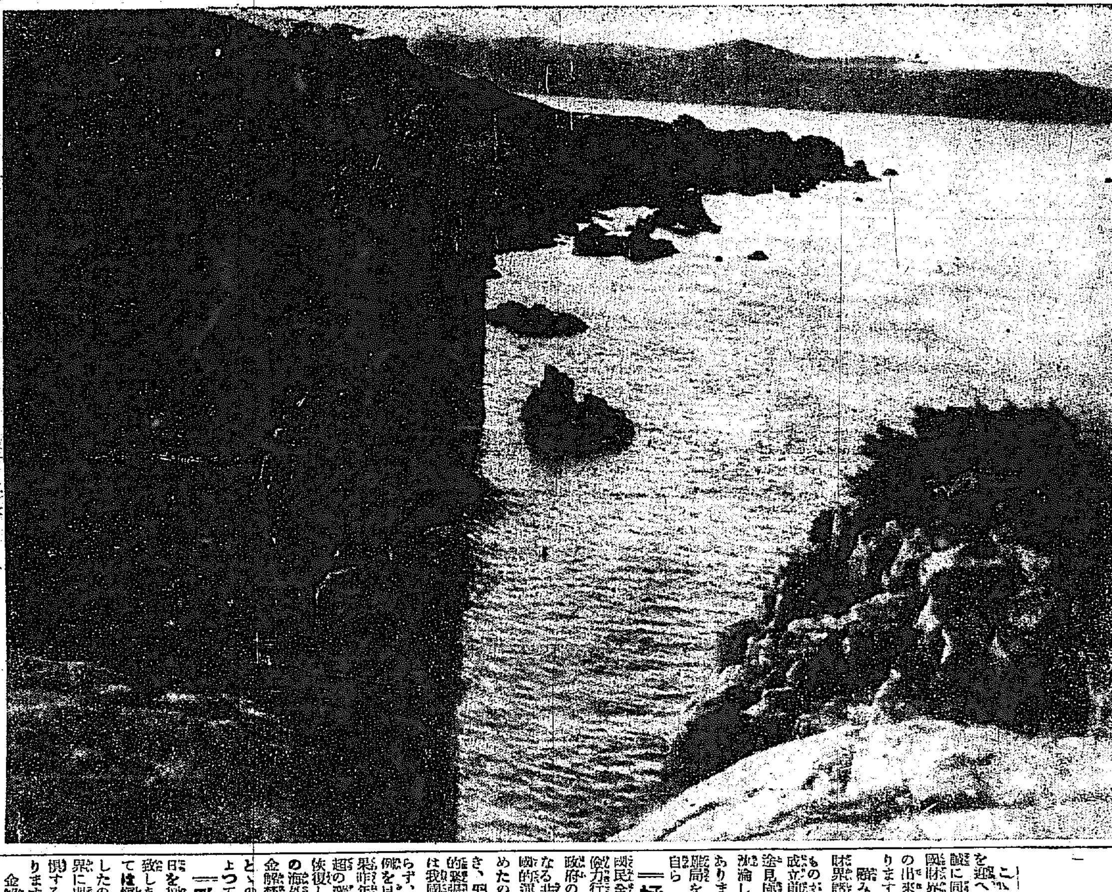
民政黨勝つ
男爵 郷誠之助氏談

議會の解散は當然である。民政黨がこの總選擧で絶對多數を獲得すると私は確信してゐる。由來政黨の主張としては政黨の擴張することは經濟界に百害あつて一利なしといふのである。その政黨が主義主張を天下に公表した以上は少くとも二、三年を以て充分その政黨の主張した所を行はしめねば駄目である。今日の如く內閣の短命では經濟界は一定の方向に進むことが出來ず、それが爲めに經濟界の蒙る打擊は決して少なくものではない。日本の產業の不振なのは實にこの政變する故に起因する處が甚大であると思ふ。例へば彈劾案にしても、政綱を不可とし、國民を根本趣旨とする政府の方針が發表されたかと思ふと甚しく內閣の瓦解となつて、今度は滿鐵、鐵道は不可なりと攻められる等全く實力に對する確固たる政策なく、その他すべて何の事業でも安心してやる事は出來なくなると思ふ。この意味から私は民政黨內閣でもよいから二年や三年は落つかせてその政策をやらしたいと思ふ。國民としても從らに內閣の倒れる事を面白がらず眞面目にその政策を實行せしむるだけの考へがなくてはいけない。議會解散となれば現內閣は必死の戰ひをやるだらうが民政黨が勝つ樣に思はれる。選擧干涉とか何とか騷いでもそれは御互ひ樣のことだ。總選擧の結果の判明するまで解禁による市場を警戒する向きもあるがそんな心配はあるまい。要するに解禁を斷行した民政黨にその後始末をなさせるのが當然であつて、國民もまたさうさせるのが當然であらうと思ふ。

政局は不安定
貴族院交友俱樂部 南弘氏談

昨年末は疑獄事件に終始し、議會には閣僚中にも、疑獄につまれ辭職するものを出し內閣は改造するに至つたため、政府は不安に陷つたといふ事は否めないであらう。しかしこの政狀で解散となればどつちが勝つかといふに自分には判斷が出來ない。國民もいづれの政黨に投票すべきかはわからない。有權者にいへばどつちにも入れたくないといふ人が多く出てくるであらう。政民兩黨共國民の信賴があるかどうか疑問で寧ろ第三黨の出現を要望するものだといふ感じがある。ため無產黨に選擧が有利になるであらう。然し無產黨には第一黨になる程の事はない。また選擧が出來ても多數をつかむ事はまだ困難であらう。要するにこの好ましくないものを望めるものはないが、事に角選擧をつても繼續するものがなく、政局は安定出來ない事は明白である。

勅題「海邊巖」
□□ 本社懸賞寫眞一等入選
京城府長谷川町八七鐵道官舍 阪田ゆたか



永久に忘られぬ新年
金解禁の結果絶對に財界に危惧を與へないと確信す
井上藏相語る

これにいよ／＼金輸出解禁の年を迎へるに至つたことは邦家の爲誠に同慶に堪へません。本年は我國財界の歷史上永久に忘れることの出來ない深い意義のある年であります。顧みれば過去十數年間における財界經濟機構の改善は眞に驚歎するものがあります。昨年七月現內閣成立前における我國の財界は、前途見通めの着かない不景氣の底に沈淪して、全く行き詰りの狀態でありました。現內閣はこの經濟的難局を打開するの根本策なるを認め自ら

＝**極力**＝ 財政を緊縮し、國民經濟に對しては消費節約、勤儉力行をすゝめたのであります。政府のこの方針は國民全般の異常なる共鳴を得、公私經濟緊縮の國的運動は豫期以上の好成績を收めたのであります。戰時は暫くおき、平時においてかくの如く全國的緊張を見たことは私の知る所では我國において前例がないのみならず、諸外國においても多くその例を見ない所と考へます。その結果昨年の貿易は大正八年以來の入超の激減を見、爲替相場は堅實に恢復し、在外正貨に充實し、本邦の海外における信用も昂上して、金解禁に對する諸般の準備が全くとゝのふに至つたのであります。

＝**政府**＝ は本年一月十一日を期して解禁を斷行することに致しました。金解禁の準備については慎重の態度をもつて完璧を期したのでありますから金解禁の財界に與へる影響については何等危惧する必要はないと確信致して居ります。

金解禁に直面して私はここに緊張時代における國民の覺悟について所信を申述べたいと思ひます。解禁を斷行しうるに至つたのは全く公私經濟緊縮の賜であります。然るに若し將來再び政府の財政及び國民の消費が不當に膨脹するが如きことがありますれば、國際貸借の逆調を來し、金の流出となり通貨の收縮を見る結果に陷らぬとも限らぬのであります。ゆゑに

＝**將來**＝ においても今日までの緊張せる氣分を持續し、政府の財政を緊縮し、國民の消費節約を持續することが肝要であります。又金解禁によりわが財界の堅實なる基礎が確立されますが、今後はこの確立されたる基礎の上に產業、貿易の進展を圖りわが國運の伸張を計らねばならぬと考へます。よつて政府は今後產業の合理化、國際貸借の改善、國產の獎勵等諸般の施設を行ふ筈でありますから、國民全般においても政府と協力して、新しき希望をもつて消費の合理化、能率の增進、產業の整理、資本浪費の防止等に努力し以つて將來我國力の充實に努力せられたいのであります。

大いに注意を要する
三井物產常務 安川雄之助

政府もいよいよ金の解禁を斷行することになつたが、今後の株式市場は大いに注意する必要があると思ふ。政府が昨年十一月を選んで解禁の聲明をしたことはまことに絶好の機會をとらへたものである。貿易の上からいふと金解禁までは輸出が增加し輸入が減少するが、金の解禁が終ればこれが反對になつて輸入が增加し輸出が減少することになる。

×　×　×

日本の正貨は十億に上るが、一ヶ年に三億圓の對外正貨拂があれば三年にして十億の正貨はなくなつてしまふ。よつて政府と國民とは正貨の減少しない樣に十分努力し施設する必要がある。とした處で輸入をさせない譯には行かず、輸出を獎勵するためといつても現在の物價をさうたやすく引下げることは出來ない。理論からいへば物價を下げ生產費を引下げれば輸出も增加するが、その目的を達するまでには三年の歲月を要する。假に貿易上のバランスは三年後に平均するとしても、三年間に日本の正貨がなくなつてしまへば困るから豫めこれに備へることが必要である

×　×　×

私が關稅審議會で特別の商品には關稅を引上げて成るべくその輸入を阻止する樣にせよと主張するゆゑんは、これによつて貿易のバランスを平均させ樣とするのであつて必ずしも內地產業の保護のみを目的とするのではない。

×　×　×

本年の株式界がどういふ傾向を辿るかは漸く減落の步を要する商品の下落にやがて株價に影響するが、私は解禁の結果財界がどういふ具合に轉換するか、いろ／＼の方面から研究して見てもあまり悲觀の材料が見當たらぬ樣である。

謹賀新年

鳥致院 白井製絲工場 電話五七番
白井素助米穀部 電話一四番

鳥致院本町通り 鳥致院松凾石油組合 電話十六番

㊀ 運送店 電話五八番
㊁ 運送店 電話一三番

燕岐郡農會
燕岐畜產組合
燕岐森林組合
鳥致院麯子組合

鳥致院穀物組合 電話九番

鳥致院吉野町 中井醬油合資會社 電話百〇八番

鳥致院 合資會社 山一製絲場 高谷貞助 電話一三一五番

京釜線鳥致院 益田材木店 電話一〇〇番

鳥致院 朝鮮興農園本店 電話二七番

鳥致院市場 守永材木店 電話一三六番

鳥致院吉野町 朝鮮物產株式會社 電話一二八番

鳥致院吉野町 京城日報支局長 中井龜太郎 電話一〇八番

重松旅館
明治旅館
丸屋旅館

鳥致院吉野町 朝永土地株式會社 電話一一五番

鳥致院吉野町 小野文具店 電話百三十番

鳥致院本町 朝鮮輸送自動車株式會社 電話二七番

鳥致院 忠南燕岐種苗合資 電話五四番

鳥致院本町 井手商店 電話三一番

南北棉業株式會社 鳥致院繰棉工場 電話一二九番

鳥致院 水曜會員一同

軍縮會議

板挾みの日本 立場困難責任重大

實に壽府會議の總決算にして華府會議の延長

眞に重大なる會議

壽府會議の總決算と華府會議の延長

日、英、米、佛、伊、世界五大強國の參加によつて成立したロンドン海軍會議は、昭和五年劈頭、全世界の耳目を集中して一月廿一日霧の都ロンドンに第一會の幕を切つて落される。

我若槻、財部兩全權以下代表はすでに渡英、目的地に到着、ハイド・パークに近きグローヴナー・ハウス・ホテルに本據を構へ、新春を迎ふ暇もなく、松平全權をはじめ英、米、佛、伊駐在の各海軍武官と合し連日會合を重ねて會議の對策をねつてゐる。

今回の會議が一九二七年盛夏ゼネヴァに招集され失敗の記録を殘して終つた日、英、米三國會議の延長であり、總決算であることはいふまでもないが、同時にそれが歐洲大戰終熄して間もなき一九二一年ワシントンに開催された華府軍縮會議の延長である事は、ゼネヴァ會議より遙に增す重大意義を有するものと見なければならぬ。

華府會議より壽府會議まで

華府會議は攻勢的軍備の本宗であり巨艦の建艦競爭を要する主力艦並に大型航空母艦制限の協定を參加五ヶ國間に締結することを得たが、巡洋艦、驅逐艦、潜水艦を含む補助艦の制限には遂におよぶを得なかつたのである。これを補足しワシントン條約に含まれてゐない補助艦の制限を協定したいといふのがゼネヴァ會議の提唱であつた。事實華府會議後の世界主要海軍國は期せずして補助艦の充實擴張に專念し、補助艦の建艦競爭は漸く激甚を加へ來つた。

然るにゼネヴァ會議は佛、伊兩國の反對に遭ひ、日英米三國のみによつて開始さることゝなつたが、右會議は海上の覇權を掌握せんとする英米兩國が補助艦勢力の均等を爭ひ、殊に六吋砲搭載の一萬トン級巡洋艦に對して互に斷然相容れざる立場をとり、遂に不調に終ると共に會議後の兩國は益々互に反目を續け、一時は險惡なる空氣すら漂つたのであつた。

英米がなぜかく巡洋艦問題について爭ひ、しかしてその抗爭が如何なるいきさつを經て和解され今回の會議開催となつたか、これが經過をたづねることは自ら今回の會議を理解するゆゑんであらうと思ふ。

英國爭霸戰の跡

ゼネヴァ會議決裂の原因をなつて八吋砲と六吋砲の違ひ二吋の爭ひであると世にいつてゐるが、蓋しそれは英米兩國の補助艦に對する根本觀念の相違を知る鍵をみることが出來やう。

英國は世界に散在する殖民地各地間の連絡を持しこれを保護するには多數の巡洋艦を必要とすると主張し、而して八吋砲大型巡洋艦は多額の經費を要するから小型巡洋艦を成るべく多く保有したいと主張したのであるが、一方米國は英國の如く世界到る處に連結する多數の根據地をもつてゐないとの理由に基き、航續力の多い大型巡洋艦即ち一萬噸級巡洋艦を出來得る限り多く保有したいと要求したのである。然るに英は大型巡洋艦の數を出來得る限り制限し、將來は巡洋艦を六千五百噸以下になさんことを提議すると共に、八吋砲は一萬噸巡洋艦のみとし他の巡洋艦には六吋砲を搭付くべきであると主張したが、これに對し米國側では八吋砲を六吋に制限すれば、戰時狀態に入るや英國は五十萬噸以上に上る優勢なる商船隊に六吋砲を備へこれを假裝巡洋艦となし得るから英國の海軍力は事實上益々有力となる點を指摘し、米は一萬噸巡洋艦を十八隻乃至二十三隻保有する必要があると力說して讓らなかつた。更に英米兩國には巡洋艦總噸數に對しても甚しき開きがあつた、米國は華府條約に依る主力艦十・十・六の比率を補助艦にも適用しあくまで英米均等を主張し、英米兩國巡洋艦保有量を二十五萬乃至三十萬とすべしと提議したのであつたが、若國は會議の終りに至つて始めて四十五萬トンまで讓歩したが、當初の要求は六十萬トンといふにあつて、米國の如き自給自足の國と異り英國は通商路及び食糧供給路を保護する必要がある、一週間海外の交通が遮斷せんか英國は死するの外ないと說いて米國より以上の巡洋艦勢力を要して止まなかつた。

英國がかく米國に對して巡洋艦の優勢を主張したる裏面には、世界の海權を飽まで英國で保有しなければならぬといふ民族的傳統に憧れる傲然たる精神によるものであるが、一方新興米國は同じく海上の霸權を求めて、主力艦における均等と同樣補助艦における英米均等を獲得せんとするにあつた。この主張が正面衝突を演じ勢ひに相讓らざる處にゼネヴァ會議不調の因があつたのである。

日米比率の暗鬪

この間日本の立場はどうであつたか、結局日本は英米兩國爭覇戰のために衝議の圏外におかれた觀があつたが米國の提案は華府條約の比率十・十・六を補助艦に對しても適用せんとしたるにあつたことは上述の如くで、一萬トン巡洋艦を中心に水上補助艦の比率問題については、日米間に相當の暗鬪が演ぜられ、日本は對米七割を要求しその後緩和的なる提案を出すに至つたが、本國政府はこれを承認せず、あくまで七割を要求すべしとの訓令を發したのであつた。然るに米國は徹頭徹尾日本の七割要求を拒けたのである。日米兩國の間に挾雜一に英米兩國間の爭ひがあまりに激烈を極め、日米の比率抗爭はその陰にかくれ、表面に現れ出でなかつたまでの話で、此間題は今回ロンドン會議に依然持ち越さるゝに至つた。

不戰條約の出現と新局面の展開

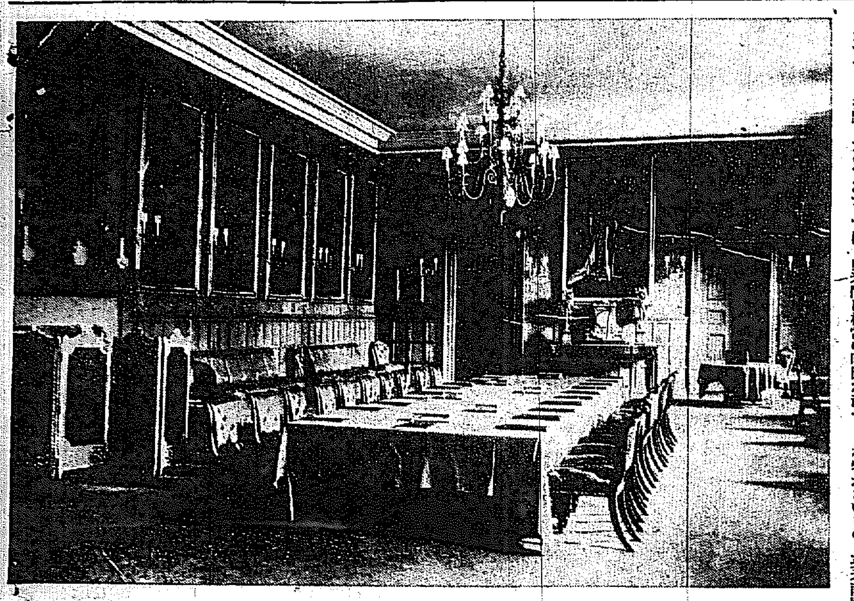
ゼネヴァ會議四十五日間の努力も空しく終つて以來三年の月日が流れた。英國に對する國際せか米國が尨大なる海軍充實案の通過をはかつてゐる折、英、佛兩國間には巧に兩國の要求を取入れた英、佛海軍協定なるものが成立した。世界は始めてこの協定の成立を知らないでゐたが、英佛兩國とも遂に秘しをへずして英國は改めて之が協定を基礎案として軍縮の討議を行ひたいと日、米、伊の三國に通告し來つたが、それは先づ第一米國の主張とは全然相容れないもので英米兩國の反目は一層惡化するの徴を見たのであつた。

然るに一方世界にはこの間米國の提唱によつて國際不戰條約なるものが出現し、日、英、米、佛、伊をはじめ世界の六十餘ヶ國が參加した。一言にしていへば、國策遂行上の手段としての戰爭を否認し、國際的紛爭は平和的手段による解決を求めざるべからざる事を申合せたものである。戰爭を否認するためには軍備を必要とするにあらねばならぬ事は自明の理である。しかして英米兩國間には不戰條約に立脚して英米兩國親善の恢復をはからなければならぬとの聲が識者の間に油然として擡頭し來たつたのである。

一九二九年に入り米國に於てはフーヴァー氏が大統領に就任した。英國に於ては英米親善軍備縮小を政綱に揭げて總選擧に鬪つた勞働黨が勝利を占めて、マクドナルド氏を首相とする勞働黨內閣が六月成立をみた。これに前後しゼネヴァ會議の米國全權であつたギブソン氏が國際聯盟第六回軍備準備委員會にて從來の米國の主張を幾分緩和した聲明をなし、その反響する所英國にとつて殊に大きかつたのであつた。

フーヴァー政府の下に新に駐英大使に任ぜられたドーズ氏が六月十四日ロンドン到着と共に、スコットランドのフォーレスにマクドナルド首相を訪れて交渉の緒を開いて以來、海軍々縮に關する英米下交渉は月をかさねること三ケ月、九月に至つて漸く形態をとゝのへ兩國の間に妥協が成立した。更にマクドナルド首相は英國歷代首相の前例をやぶつて渡米、十月五日ヴァージニア州ブルー・リッヂの山間に印象的なるフーヴァー大統領との會談を行ひ、こゝに英米下交渉のフィニッシング・タッチをなしたのである。

しかして右英米協定は日、佛、伊の三國に示さるゝと共に、十月七日を以てロンドン海軍會議の招請狀が英外相ヘンダーソン氏より發せられ、日本は松平大使の名において欣然これに參加する旨を答へ、さきのゼネヴァ會議參加に贊意を與へなかつた佛、伊兩國もそれぞれ參加の回答をなしたのである。



五回海軍會議々場たるべきセント・ジエームス宮殿內會議室

ロンドン會議の基礎案となる英米協定

即ちロンドン海軍會議はこの英米協定を基礎案として討議を行はんとするものだ、英米協定の內容をなすのは大體左の如くであると傳へられる。

一、不戰條約を軍縮會議の出發點となす

二、英米兩國間には主力艦、航空母艦、巡洋艦、驅逐艦、潜水艦の各艦種に亘り均勢の原則を適用し、右均勢は一九三六年十二月三十一日を以て完成す

三、英米巡洋艦勢力を左の如くなすに同意す

英　大型巡洋艦十五隻十四萬六千八百噸、小型巡洋艦卅五隻十九萬二千二百噸
合計　三十三萬九千噸

米　大型巡洋艦二十一隻二十一萬噸、小型巡洋艦十五隻十萬五千五百噸
合計　三十一萬五千五百噸

四、驅逐艦の英米割當噸數を各々十二萬五千乃至十五萬噸となす

五、潜水艦廢止に同意す。但し他國との關係上これを存置する場合には制限をなすに同意す

六、華府會議協定の主力艦比率の維持に努め、代艦建造年度を一九三一年より三六年に延長し繼理の制限に努む

これによつて見る如くかつて英米補助艦競爭の中心となつた巡洋艦問題については、英が米の八インチ一萬噸級における優越を認め、一方米が英の總噸數における優越を認める事において妥協が成立したのである。更に米の一萬噸級二十一隻は、英の要求を容れて十八隻となすに大體同意し、これが三隻分の噸數を或程度まで小型巡洋艦に振當てんとするものゝ如くである。これに對佛國の新聞紙は英米兩國が驅逐艦を英米聯合で維持するに同意したものであると唱へたが、海軍專門家の意見はかへつて英國が米に驅逐艦を讓つた態で巡洋艦に關する限り米國がより優勢的地位に立つたものであると見てゐる。

新年の辭

ロンドンにて　若槻禮次郎

【ロンドン電報】軍備制限によつて世界の海軍競爭を止めるとにしたいといふ希望はその何れの國たるを問はず異議なき所だと信ずる。日本も亦之に對して最も熱心なる希望を有するものである。但し日本は他の國と同じく軍縮實現を翹望してゐるがこれには何の國からも脅威を受けぬを條件として居り、國家の安全を犧牲に供するを欲せざるは素よりである。今や確信を以てロンドン會議に臨み、世界平和と帝國の將來に貢獻したいと思ふ。

昭和第五の初頭、年の改まるに臨んでこの考を更に新にして、帝國の爲め世界平和のために微力を盡すとは予の衷心より欣快とする所である。

年頭所感

ロンドンにて　財部彪

【ロンドン電報】近く開催せらるべき五國海軍會議に帝國全權の一員として出張し、光輝ある昭和第五年を當地に於て迎ふることは不肖の欣快とするところである。惟ふに國際親善を促進し、各國民負擔の輕減と福祉の增進を圖るため海軍々備縮小の國際會議は往年の華府及び壽府會議を經て今回に及び、而かも各國とも如上の輿論愈よ眞劍味を加へつゝあるは現下の大勢である。

來るべき會議に對する帝國の態度は既に屢々中外に闡明せる通りであつて一に無脅威縮小の方針に則り合理的協定の成立を希望してやまざる次第であつて、我が公正なる主張は各國民の等しく首肯する所なりと信ずる。去歲十一月末日不肖等出發の際東京驛及沿道において示されたる多數國民の盛なる熱誠は不肖の常に腦裡を去る能はざる印象であつて、願くば國民一致の後援を得て獻身努力、以てこの平和的大事業の完成を期せんとするものである。

ロンドン海軍會議と日本の立場

それは兎も角として、右基礎案が日本に影響する所は如何。上述したる如く日本の八吋砲一萬噸巡洋艦對米七割要求はすでにゼネヴァ會議で日米兩國の間に暗鬪の記録を殘したところで、ロンドン會議の難關の一つに數へられてゐるが、日本海軍においては補助艦の對米七割を要求し、わけて八吋砲一萬噸級に對しては七割要求を固執するもので、右七割は我國防用兵上の最小限度の勢力であるといつてゐる。しかしてこの問題は對英米兩國豫備交渉において頻りと諒解に努めた處であるが、依然未解決のまゝである。

主力艦のみならず補助艦においても對日六割を以て恰も米國海軍不動の方針の如く考へてゐる米國にとつては、日本の要求に容易に應ずるの色がないが、英國としても日本がもし米の一萬トン級十八隻に對する七割を獲得するとせば十二萬六千トンとなり英國の十四萬八千トンに比較し脅威的となるとの理由をもつて日本の對米七割要求を容認せざるものゝ如くである。

然るに日本としてははたとへ驅逐巡洋艦に驅逐艦の比率が六割以下に低下する犧牲を拂つても、一萬トン級七割要求はあくまで貫徹したいといふにあるものゝ如くであると傳へられるが如く現在主力艦の代艦建造を三萬五千トンを二萬五千トンあたりまで引さげる事とし、かつ一九三一年を以て終る主力艦のいはゆる海軍休日を更に五ケ年間延長する事にしたならば、これによつて浮び上る金額は日本にとつては三億五千萬圓の巨額に達する。しかして若しこれが協定が成立しなかつたならば、年々海軍費は非常な尨大なものとなり、國民の負擔はそれだけ重さを加へるのである。しかして日本としては主力艦の艦型制限、代艦期間の延長に對しては双手を擧げて贊成するものとして疑はない。

世界平和と軍縮

要するに吾人は戰ふ事に臨むか、戰はざる事を前提として會議に臨するか、まづこの點より腹をきめてかゝらなければならぬ。戰はざることをきめてかゝる處にはじめて軍縮の成果が擧げられるのである。不戰條約を出發點とするこの會議が軍縮に劃期的成功を收めんことは世界平和の基礎を築きあげる上に最も偉大なる貢獻をなすもので、日本としては終始公正なる態度を以て臨むべきは勿論、進んで軍縮に率先し世界列強をリードする立場に立つべきである。吾人は今回の會議が眞に英米兩國間の反目鬪爭を除去し、兩國間の競爭心理を緩和するに役立ち、他列強は唯にこれが效果をあくまで利用されるといふが如き屈辱的結果に終るを絕えず警戒せざるもので、日本は英米に對してやゝもすれば軍縮を名として軍備擴張に走らんとする傾向を警告すると共に、世界平和確保のために大いに發言すべきである（一記者）

謹賀新年

京城府明治町二丁目　フレイガイド　電話本局三七七四番

京城女子技藝學校

京城府南大門通五ノ五六　明時堂　電話本局四三〇五番・四三〇四番

京城府旭町一ノ七一　はり半　電話本局三九一一番

京城府義州通二ノ二四　東洋畜產興業會社　電話本局五一七番・六六七番

京城府本町二丁目　釘本樂器部　電話本局二六三番

京城府太平通二丁目　大海堂印刷株式會社　電本二一〇・三七六番

京城府黃金町二丁目　古河電氣工業株式會社　京城出張所

京城府本町三丁目二四　近藤ラヂオ電氣商會　電話本局二六九九番

京城府永樂町二丁目二五　共濟無盡株式會社　電話本局一六〇〇番

京城府西四軒町一九二　南山莊　電話本局一五一三番・三五八五番

京城府太平通二丁目一番地　東洋オフセット印刷株式會社　電話本局一六二四番・長二二四〇番

京城府本町一丁目　洋家具室內裝飾品　株式會社　橫山商店　電本一六七・二七二八番

日本赤十字社朝鮮本部病院

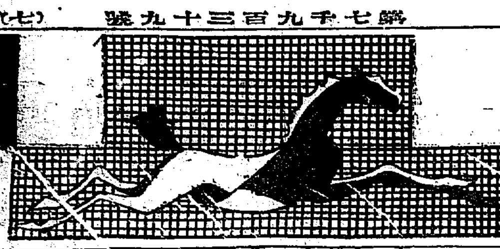
京城府南大門通三丁目　高瀨合名會社　京城支店　電話本局三二八番・三九番

京城府貞洞一　京城放送局　電話光化門二二五〇・二〇五一番

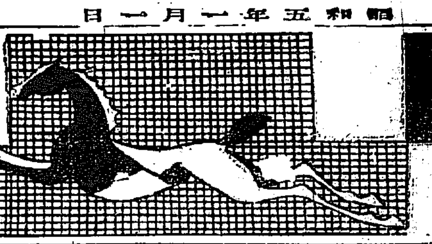
京城府本町三丁目　阿部藥房　電話本局四八七番・四二六六番　振替京城二七九一番

京城府南大門通二丁目二〇　堀井謄寫堂京城出張所　堀井新治郎

京城驛前　國際運輸株式會社　京城支店　電本六七二・二一七〇・一五九七・二三七八



謹賀新年



仁川府本町 文具商 中川勝美堂 電話三四一番

仁川本町 仁川汽船會社 電話五一番

仁川本町 運送業 一心組 電話七一四

仁川宮町 酒類食料雜貨品 增田屋商店 電話一〇九番

仁川外里 原源吉

仁川神社 磯野勝見 三宅一男

仁川寺町 芝モト 電話四一八番

仁川龍里 沈宜淑

仁川府山手町 御料理 銀水 電話一二三番

仁川府仲町一丁目 壬生醫院 電話六一六番

仁川府湖町三十 精米業 劉君星 電話八二七 四一六番

仁川府本町一丁目 貿易商 松永源次郎 電話一〇二七

高麗人蔘特効藥劑本舗 仁川寺町三七 久木田神農堂 振替電話七〇四番

仁川府敷島町 隱塚種苗園 電話一七三番

仁川府本町 宰住館 伴康衞 電話二四九

仁川支那町 田邊石炭店 電話八一九

專賣局仁川出張所

仁川本町 回漕業 慶田組本店 電話四二一・九八四番

仁川府海岸町二丁目 三井物産株式會社仁川支店派出員 細谷芳三郎

仁川 税關長 堂本貞一

阿波國共同汽船會社 第二十六共同丸 乘組員一同 仁川、芝罘、大連、命令航路船

仁川府仲町三丁目 和洋雜貨卸 南方新一商店 電話一六六番

仁川 朝鮮造船鐵工所 電話二三八番

仁川商業會議所會頭 吉田秀次郎

仁川月尾島 遊園會社 電話一三一・七六〇番

朝鮮海事會仁川支部 船舶給水部

仁川府新町 北松函石油組合 電話七一五番

仁川府海岸町 回漕業 野口商會 電話二四番

仁川府本町二丁目 海産物商 平山松太郎 電話一五三番

仁川府支那町 森信汽船株式會社 電話一六三番

仁川府松坂町二丁目 石鹸製造業 愛敬社 電話三一四 四五八番

仁川支那町 仁川水産株式會社 電話一八六番

仁川府貿易商組合

仁川新町 佐藤内科醫院 電話六六三番

仁川府仲町二丁目 吉岡久 電話二二八番

仁川港町 米穀貿易商 波佐間浩造 電話三〇八 九番

仁川府濱町 クケヤ鐵工所 電話六五八

仁川金谷里 朝鮮燐寸株式會社

仁川府山手町 太田忍 電話三三八番

仁川府山手町 能治歯科醫院 電話三五〇番

仁川府本町三 外米商 土居喜七商店 電話六七三番

仁川宮町 ゴム白工作所 電話九八二番

仁川府本町四丁目 仁川無盡株式會社 電話七六八番

仁川府 仁川呉服商組合

仁川府海岸町 回漕業 木村組 電話三一番

仁川府花房町 貸家業 玉成鴻 電話四九番

仁川 京畿道穀物檢查所長 上山雄之助

仁川教育會

仁川山手町 中元源五郎 電話五六八

仁川府廳 生田鐵造 龜田市平 兵動義雄

アルリー 電話本局二七番 九〇四番

精米機、碾臼、酒油壓搾機、麵子粉碎、製粉機用機 仁川驛前（電話八七六番） 製作元 合資會社 金剛鐵工所 代表者 崔炳熙

同順公司鹽業部

仁川本町四丁目 朝鮮信託株式會社 電話一三二番

仁川敷島遊廓組合

仁川金物商組合店（イロハ順）
船具商 池末商店
船具商 石川倉吉商店
金物商 德本商店
金物商 大井廣助商店
船具商 加來商店
金物商 丹後屋商店
金物商 村谷勘一商店
船具商 村谷本商店
金物商 内田英市商店
金物商 牛島嘉太郎商店
金物商 美濃谷榮次郎商店
金物商 壽秋商店

仁川米豆取引所
社長 荒井初太郎
專務取締役 秋山滿夫
審查課長 平岡宇太郎

京城電氣株式會社 仁川支店 仁川宮町 電話三四・二二四番

辰馬汽船株式會社代理店 支店所在地 京城、鎮南浦、釜山
仁川府本町四丁目二番地 電話長五二九、九六四、六八二番
仁川郵便局私書函第十四號 振替口座京城六一二番 電略（ア）
㊀ 朝日組本店 組長 川手今吉
大正海上火災保險株式會社代理店
共同火災保險株式會社海上代理店
船舶税關鐵道一般貨物取扱
仁川船渠税關構内出張所（電話五一六番）

仁川船航會

株式會社 仁川米豆取引所 仁川海岸町 電話 一一四・一八七・七五三番

仁川精米業組合員（イロハ順）
仁川府濱町 馬場精米所
仁川府濱町 朝鮮精米株式會社仁川支店
仁川府花町 株式會社 奥田精米所
仁川府宮町 合資會社 加藤精米所
仁川府花房町 合資會社 園田精米所
仁川府花房町 辻川精米所
仁川府濱町 直野精米所
仁川府萬石町 有馬精米部

朝鮮銀行仁川支店
朝鮮殖産銀行仁川支店
朝鮮商業銀行仁川支店
安田銀行仁川支店
株式會社十八銀行仁川支店

株式會社仁川米豆取引所取引員組合
今村覺次郎
桑野健治
雄浩
新田義民
金仁梧
金永始
菰淵紋七
内海清藏
竹多柳三郎
小林幹三
書記長 三井一三

庚午新年紙上名刺交換會

釜山 迫間房太郎

韓相龍 株式會社漢城銀行

[illegible] 朝鮮殖産銀行

山本犀藏 朝鮮總督府遞信局

[illegible] 釜山

有賀光豐 朝鮮殖産銀行

森新太郎 京城電氣株式會社

濱田虎熊 京城府協議會員

[illegible]耕平 山口銀行京城支店

立石良雄 釜山

赤木萬二郎

[illegible] 釜山

[illegible] 朝鮮商業銀行

[illegible]

田村作郎 京城商業會議所評議員

田中半四郎

[illegible]

今井[illegible]一 株式會社可部商會

福崎濱之助 松竹座大正館

松本清次郎 京城府協議會員

渡邊[illegible]

河内山樂三 朝鮮火災海上保險株式會社

[illegible]三郎 京城商業會議所評議員

八坂[illegible] キリンビール會社京城支店

[illegible] 朝鮮鐵道株式會社

[illegible] 京城商業會議所評議員

[illegible] 帝國地方行政學會朝鮮本部

[illegible] 釜山

[illegible]

武者錬三 京城電氣株式會社

岩佐重一

[illegible] 不二興業株式會社

[illegible] 釜山

[illegible] 不二興業株式會社

[illegible]一 朝鮮土地改良株式會社

[illegible] 京城郵便局

大池忠助 釜山

[illegible]一 朝鮮殖産銀行

小田省吾

天日[illegible] 京城株式現物取引市場

本田建義

戒能義重

[illegible]

矢鍋永三郎 朝鮮殖産銀行

[illegible] 京城商業會議所評議員

[illegible] 釜山

中村[illegible] 京城府協議會員

[illegible] 株式會社丁子屋洋服店

[illegible] 釜山

[illegible]

[illegible] 第一銀行京城支店

堀内滿輔

[illegible] 京城電氣株式會社

[illegible]

[illegible] 釜山

京城日報

伸びゆく朝鮮　其三

新年所感
拓務大臣　松田源治

年頭には常に斯の新なるを感ずるが、昭和五年の新春に際りて特に一始一新の明るい氣分に充つるを覺える。これは現內閣が昨年七月九日天下に聲明せる十大政綱を幾多の困難と戰ひつゝ着々實現しつゝある過程において迎へたる新年なるがゆゑである。況んや自分としては現在の我國民生活にとつて政治上、經濟上、社會上極めて重大關係ある拓務行政の衝に當つて居るので更に一層その感を深うするのである。

朝鮮の統治

拓務省の擔當する仕事はその範圍廣汎にわたりしかも甚だ複雜多岐である。殊に大局上の見地より慎重なる考慮と周到なる用意とを以て臨まざるを得ざる外地の統治についての重責を負ふて居る。例へば朝鮮に對する統治の根本方針は日韓併合當時における　明治天皇の御詔勅に　大正天皇の官制改革の際に下し賜はつた御詔勅に明かである如く一視同仁[illegible]あることなく民各その所を得、その生に聊し、齊しく休明の澤を享けしむるにあるので、この根本方針は時代によつて何等の變更あるべきものではない。たゞその運用に當つては時勢の變化と民運の趨向とによつてそのよろしきを制するを要すと考へる。朝鮮に對しては飽まで聖旨を體して產業經濟の發展に力を致し、民意の暢達に意を用ひ、民衆をしてその堵に安ぜしむると同時に國家の將來の爲め健全なる發展を致さしめ、日韓併合の大精神を貫徹せしむることを期して居る。

又樺太その他の我植民地は政治的、社會的、經濟的に各沿革を異にしてゐると共に、自然的人爲的に各特殊性を有してゐるから、これ等の地域に對する統治は當該地域に適應した施設を必要とする。即ちこれ等の地域においては、教育、衞生、交通、通信、產業、金融その他の各般行政施設は各地域の地理的人文的特殊の事情に應じて適當に處理せられてゐるが、時勢の進運文化の發達に伴ひそれ〴〵緊急を要すると共に、倍々內地との統制連繫を密くしてその發達を助長したいと考へる

滿鐵と東拓

なほ又拓務省としては滿鐵、東拓の業務を監督することになつて居るが、この二つの會社は共に特殊の國家的意義を帶びて居るから特に一言する。滿鐵は由來古い且複雜した歷史を持つて居るが。而もその使命とする所は全く平和的經濟的のものであつて滿洲における產業交通の發展に貢獻するのみならず世界の交通幹線として日支兩國の產業經濟文化に寄與する所甚大なるものがある。自分はこれが監督官廳として誠意社業の改善發達を圖り同社本來の使命を盡さしめんことを期してゐる。

次ぎに東拓は朝鮮および外國において拓殖事業の經營、拓殖資金の供給をなすを目的として設立せられ幾多の變遷を經てゐるが、我國の拓殖事業に寄與したる所が少くないのである。今や同社は鋭意社業の改善に努め社務の刷新をはかつて居るから、今後益々拓殖事業の發展に貢獻することゝ信ずる

海外拓殖事業

我國の財界および事業界は連年不況に沈淪し憂ふべき幾多の事象を生じて居る。即ち國內產業の不振、人口の增加、從て失業者職業難等の現象を生じ、多數國民の生活は非常なる不安と脅威とに襲はれた。その結果、我國民中には海外發展の意氣を起こし、新運命開拓の爲め海外に渡航する者が漸次增加する傾向を示してゐる。政府もこれ等移民の海外渡航については大正十年以來大いに獎勵保護に努めて居る結果、海外渡航者は大正十二年には八千人に過ぎなかつたが、昭和三年においては二萬人を突破するに至つた。

年々百萬の人口を增加する我國に於て僅か二萬の海外移住者は人口の數的調節に於てはその影響言ふに足りないことではあるが、これ等海外渡航者の增加は我國民の精神的作興に資すること大なるのみならず、その經濟的效果は政府が今や最も力を注ぎつゝある政策の一たる我國際貸借の改善並に失業問題の解決に裨益する處甚大なることも明かである。更に我國の現狀より見て朝野を擧げて力を盡くすべきは海外拓殖事業である。現在我國の產業界は殆ど原料を海外に仰いで居る

從つて內地產業の保護獎勵が必要である樣に海外の原料產地における邦人の拓殖事業も極力これを指導獎勵するの必要がある。天然資源に乏しい我國の產業は海外における資源を開拓利用することによつてその基礎を確立し、輸出貿易を增進し、不均衡なる國際貸借も改善せらるゝことゝなるのである。海外拓殖事業の發展には海外移住者といふ原動力も必要であるし、又有力なる經濟機關の設置進出も必要であるが、更に政府の適切なる指導助長の措置も必要である、政府はこれに對し漸次適當なる施設をなしたいと考へてゐる。さりながら海外に於ける移殖若くは拓殖事業といふが如き問題は國際關係に渉るから自然微妙な考慮を要する。自分は能く各國の事情を檢討し最も妥當適確なる方法を以て指導獎勵に努めつゝある。

實行にある

昨昭和四年の秋自分は多端なる政務の間において以上の如き重大なる諸問題を實地について研究したい希望からその一端としてまづ朝鮮および滿洲の視察を行つた。要するに政治の要諦は議論にあらずして實行にある。この新しき昭和五年において自分は拓務行政の全般にわたり理論にのみ墮せず、又實際問題に對する考慮を怠ることなく、步一步我國民生活の幸福增進に貢獻することに努力し、拓務行政の爲に國民と共に公明正大なる永遠の企圖を樹立する決心である。

朝鮮の開發
―年頭所感―
內務局長　今村武志

こゝに昭和五年の新春を迎ふるに當たり所感と希望との一端を述ぶるを得るは欣幸とする所である。朝鮮の文化の今日の發達は民衆の力と鋭意諸般の施設を進め、これが開發に努めたる賜であることはいふまでもなき所であるが、一面において地方團體の施設に負ふ所多きは爭ふべからざる事實である。

地方行政

の沿革を顧みるに、併合當時においては地方團體としては僅に明治四十二年（明治四十二年）發布したる地方費法あるのみ、爾來地方制度の制定に着手し、まづ大正元年府制、學校費令を設け、次いで大正三年府制および學校組合令を發布し、大正六年に至り面制を施行し、かくて大正九年地方制度に大改正を加へ、府制、面制、學校費令、學校組合令等の改正を行ひ、各團體に諮問機關を設けた。當時創設したる制度は誠に地方制度の一大進步であつて、大正八年總督の聲明せる將來の理想たる地方自治の前提である。即ち現在の制度は將來の理想に對する階梯の制度であるから、その運用の訓練を積むに從ひ、漸次改正せらるべき運命を有する。

私は地方の發達と共に制度の進步を見るの日の一日も速に來らんことを期待するものである。然れども地方行政の進步は法令制度の形式にあらずして、その制度を活用し自治的行政の實績を擧ぐるに在り。而して制度の活用にはこれに對する智識の進步特に公共心の向上と經濟實力の充實とを必要とするが故に、私は更に地方行政進步の爲に官民共に將來一層この點に留意する所あらんことを望むものである

地方產業

の發展は土木事業の發達にまつ所が多いのであるが、併合當時は道路、港灣、河川、上水、下水、その他の都市施設等いづれも殆ど原始的狀態にあつたので、爾來財政の許す限りこの方面に力が注がれ、併合以來土木事業に投ぜられた經費の總額は國費のみにても一億三千萬圓に上り、これに地方團體の支出せしもの約八千萬圓を加ふれば、實に二億一千萬圓の巨額に達し、その結果として今日各種土木事業は大いにその面目を改めてゐる。今各事業別にその概要を述ぶれば

道路　は道路網の延長、一二等道路に於て三千二百三十五里の內改修濟二千四百九十八里約七割七分に達し、三等道路亦改修延長及その步合略ぼ同程度に及び、今や主なる都邑市場にして自動車を通ぜざる地なきに至つて居るが、近時自動車の普及に伴ひ又路面改良の必要を生じこれにも相當力を用ひつゝある。

港灣　設備としては、港灣の數はその主要なるもののみにても數十を算し、何れも改良施設を要するも、就中貿易上最樞要なるものより漸次工事を行ひ來つた。その設備は未だ充分ではないが、從前に比すれば著しく改良せられて居るのである。

水道　上水道は市街地に於ては生活上、衞生上最重要の施設なるを以て、併合以來これが普及に力めた結果、併合當時これを敷設せるもの僅に四箇所に過ぎざりしもの、今日にては三十數箇所を算し、主なる都邑は概ね普及を見るに至つた、都市としてはこれと共に下水、市區改正、その他の都市施設亦必要であるが、これも漸次施行せられつゝあるのである

治水　朝鮮の大事業の一であるが治水事業に就てもそれ〴〵調査を遂げ、具體的計畫を樹て、主要河川中荒廢甚しき部分より漸次工事を行ふ方針の下に既に實行着手し。現に漢江外大河川の改修中である。本事業はその進捗と共に國土を保全し耕地人家の水災を除くは勿論產業の發達上にも多大の益を與ふべきを信ずる

土木事業はかくの如く發達して居るが、なほ今後の施設にまつべきもの少しとせず、更に一段の努力を要する次第なるも、要は資金の問題である。今後最急要とするものゝみの經費を概算するも道路に於て一、二等道路の一應の完成にも八千二百萬圓、河川に於て現在施行中の殘部分及び殘餘の主要なる十數河川の改修に一億五千六百萬圓、港灣に於て比較的主要の港灣の擴張修築に七千百萬圓を要し　この三事業のみにても計三億九百萬圓といふ巨額を必要とするのであるから、速急にこれが遂行は期し難いが、財政上の事情の許す限り漸次實行を圖りたいと思ふ

社會施設

また最も緊要であるが、その從來の施設として職業紹介、人事相談、孤兒養育、盲啞教育、不良兒感化、免囚保護、備荒、行旅病者救護、罹災救助、託兒、職業、勞働宿泊、公設浴場、公設市場、公營住宅、授產その他社會教化等の事業を起こし、公共團體、慈善團體、宗教團體等においてこれを經營し、何れも相當の實績を擧げつゝあることは世の熟知せる所であるから、こゝにこれを贅せず、たゞ最近の施設にかゝはる一、二の事項につきその概要を擧ぐれば

（一）細小農の保護指導　一昨年來各道をして併合の際下賜せられたる臨時恩賜金を運用し、小農に對し少額の生業資金を貸付し且つこれを指導し、一面小作慣習の改善と相俟つて農家の最多數を占むる細小農を保護せしむることゝした。爾來各道は之が實施に努め、既に相當の成績を擧げつゝあるのであるが、全般に渉り充分なる效果を收めんことは容易の業でない、殊に資金の運用には弊害と困難とを伴ふ虞もあるので、今後その指導と監督とに最善の方法を講じ、以て豫期の實功を擧げんことを期したいと思ふ。

（二）公設質屋の設置　小農保護の施設と相對し市街地に公設質屋を設け、國庫より補助金を支出し且つ低利資金を融通し以て下層者に低利金融を得せしむることゝした。本事業は本年度創始に屬し、先づ京城、平壤、釜山、大邱、木浦、の五箇所に設けたのであるが、將來漸次各地に普及し且つこれが發達を圖りたいと思ふ。

最後に南鮮地方における旱害について一言せんに昨夏慶尚南北道および全羅南道地方における旱魃の被害は實に激甚で、殊に慶尚北道は二、三年引續いての災厄である。農民の困憊その極に達してゐるので從つて總督府としても相當の方策を講じ、財政の許す限りこれが救濟に當つて居る。しかしながら救濟より以てこれを以て充分と思ふことは出來ないので、足らざる所は國民共助の大精神に訴ふる外はないと思ふ。

自覺を促す

なほこの機會に地方農民の自覺を促したいことは、一は經濟の觀念である。朝鮮の如く未だ土地改良全からず、灌漑は一に天水による狀態にありては常に天災の襲來をおもんばかり、これに適應するの根本策でなくてはならぬ。本年の半島は特にこの點について考慮を拂つた次第であるが、これは一時的のものとしてゞなく永久に持續したいと思ふ。又一は民風の作興である。朝鮮には今日でもなほ改良を要する幾多の慣行がある。しかもこれ等は單に冠婚葬祭の節約のみにとゞまらず、或は衞生の上に、至大な關係をもつものと思ふ。これ等については漸次必要なる施設を完實し、時代の推移にそはんことを期したいと思ふ。

世界交通の焦點たる位置を占めん我朝鮮
交通は實に凡ゆる進步の先驅
鐵道局長　大村卓一

乾坤一擲こゝに昭和五年の新春を迎へ、卅世紀も最早卅年の歲月を費やしたが、世は正に飛躍とか發展とかいふけれども、我國は愈々國際に進むき、世界の舞臺は[illegible]なき進步を續けてゐる。しかしその進步の先端を行くものは何といつても交通機關の發達である。海に船舶、陸に鐵道、自動車、空に飛行機、飛行船その他ラヂオ「テレビジョン」の普及の程度を考へてみると、汎世的にも交通の發展の進步發達は實に現代における驚異の一であつて、世界の總ての機能はこれに引づられて運みつゝあるかの如くみえる。

◇…**近時**　鐵道および交通機關の長足なる發達により世界は著しく縮小せられ歐洲より大西洋を橫斷して米國に至り、飛行機、大陸橫斷鐵道および長距離自動車等に依つて太平洋に出で、先年開通したるパナマ運河の航路と相待ちて大西洋沿岸と太平洋沿岸との交通を便ならしめたるため、米國經濟界の中心は東部より漸次西部に移りつゝある結果、東洋との交通著しく促進せられ、一方歐洲よりシベリア鐵道を通じ朝鮮を經由して日本に來る。即ち我國はいよ〳〵完全に世界の大道路線に入つたのである。從つて朝鮮は東西兩洋を連ずる世界交通の要衝となる位置を占めんとするに至つたのである。

◇…**焦點**　と目すべき主要交通機關の普及を先驅として今や正に開發の途上に進みつゝある矢先き、本年は緊縮豫算に順應して國有鐵道の延長は一時停頓の狀勢を示し、年內に開通竣工せらるゝ鐵道は二十數哩が新に開業せらるゝに過ぎないであらうが、然し私設鐵道にありては全南光州麗水間の百マイルをはじめ、[illegible]は[illegible]に達し、金剛山電鐵は金剛山口に延び、[illegible]より一部營業を開始するに至るべく、これ等を併せて百數十マイルの線路が新に延長せらるゝことゝなるので、これにつけても[illegible]となるであらう。自動車による道路輸送も益々として各道に普及し、又昨年鐵道より開始せられた京城と半島および滿洲を結ぶ航空路その他の交通機關の發達も益々その

◇…**利便**　を增進せんとしてその日の午後に京城に滯することになるであらう。かくの如く總ての交通機關が各その特長を發揮し、互に相連繫して行きつゝあることを顧ふるときに自ら心強きを覺えないのである。況んや本年はその初頭において金の「エンバゴー」は解除せられ我國は世界の經濟界に一層の重きをなし眞の金本位國となり、これから積極的に產業立國の大方針を具體化せんとする最も希望に輝く新らしき年である。

昨年からの經濟界不況は一般とその程度を增し、並に一般の生產制限を實施して內地產業は一年萬圓を突破して內地產業に至り、到來するかも知れないと思はれるその他の鐵鋼および地金、林產、水產、工業等各般產業の發達は

◇…**勿論**　昨年からの經濟界不況を見たる南浦製鐵所もこれが解決を見るに至るはあながち妄想でもなかるべく、咸南十八萬キロの電力は各種の合理化產業を生んで設置せらるゝこととなり、又北鮮一帶の處女地も何日までも火田民の荒すがまゝに放置せらるゝことなく開發の一途に進むであらう。交通は產業を生み、產業は又交通を生む。然して交通は更に交通を生んで汎ゆる進步の先驅をなす。先驅せざれば後退停止らざるを得ない。停頓は退步を意味する。加ふるにその間種々爭鬪なる氣分を釀成して往々面白からざる世上の事象を發生するに至る虞なしとせぬ。ゆえにわれ〳〵はこの財界更始一新の年において徒らに消極萎縮に陷ることなく、寧ろ緊縮を

◇…**緊張**　と心得、この現象を利用してあらゆる產業の經營に對し、管理技術の各方面にわたり積極的な能率增進をとげ、いはゆる產業合理化を促進し我半島の地方的、國內的經濟を國際的經濟にまで押進めねばならぬ。吾々の從事する交通事業も亦產業の一分野である以上深く此點をこゝに潛め、內鮮二萬の從業員は挺身一番互に力を協せて公共に對する職務上の改善は勿論兜の緒を締めて絕えず希望に輝きつゝ交通業者としての使命を完ふする一大覺悟を要する。大方の諸君我等の微衷を諒とせられ御援助を吝まれざらんことを切望する次第である。

（上）李王垠殿下　（左）勅使姿の齋藤總督　（右）參賀姿の兒玉總監

如何なる教育を施すべきか
學務局長　武部欽一

國民教育は將來における國家の存立條件なるがゆゑにその根本目的は國家に有用なる活人物を育成するにあるはいふまでもない。されば吾人のとるべき教育の大眼目は、正しく國家の意志と合致すべきものであらねばならぬ。しかして又その

國家意志

の如何なるものなるやは、一家の私見や獨自の臆斷であつてはならぬ。必ずや國家の意志表示たる教育法規の明示する所によらなければならぬ。然しながら法令は如何にこれを明示するも、それは普遍的概念的のものに過ぎないのであつて、いきたる人の教育てふ活事實に應じ、これを實際に行ふことによつてのみ、初めて活事業として現るゝのである。されば教育の任にあたるものは、まづ國家の意志を諒解し、時代の推移と民衆とを洞察し、しかしてそこに具體的方策を企畫し、活現のもとに

教育てふ

活事業をして國家意志に從ふべく努めなければならぬものである。こゝに教育者の責務の重大さがあり、その使命に崇さがある譯である。

翻へつてわが半島の精神的狀態に鑑み、經濟的現狀を顧慮するに學務當局者としても國家意志の根本策をたつるの緊要なるものあるを痛感するものである。初等教育機關の普及、各種の教育機關の增設、制度の改善もとより不可ではない。けれども現下の重要問題は如何なる教育を施すべきかにあると信ずるものである。余は赴任日淺きも、第一印象より推斷して

半島教育

の充實擴張には、國民教育の缺陷を措いて他に適當なる根本策はないと認むるものである。

然しながら職業教育なるものは、決して新奇なる思潮でもなければ又彗星的に出現した思想でもない。職業教育の思想は、古くロック、コメニュース、ペスタロツイー、ザルツマン、フイヒテ等の主張の中にもこれを認めるのであつて、最近職業教育の主張を以て世に知られたケルシエンシュタイナーの如きも、自ら明かにペスタロツイーの流れを汲んだものと述べてゐるけれども職業教育の實際をとゝのへたものはケルシエンシュタイナーその人であつて、彼一たびその主張を述べるや、ドイツ教育界は總て

之に靡き

シヤーレルマン、ガンスベルグ、ザイニヒ等多くの共鳴者を出し、遂には歐米の教育界に大波紋を描かしむるにいたつたのである。蓋しケルシエンシュタイナーをはじめとしシュプランガーやシュテルン等は陶冶は智識技能を單に收得することではない、收得したる智識や技能を人格の中に融合せしめ、有機的組織のものにすることであるといふことである。即ち智識技能が附與されたといふことゝ、同化され人格化されたといふことは、その過程に非常な差異のあるを認めねばならぬ。その差異は丁度食物が胃の中にあるといふことゝ、食物が消化されたといふのと全く同樣である。食物が消化されるには一つの過程がある如く

智識技能

が生命と結合し、人格化するには、そこに一つの過程がある。その過程を拔斯するのが卽ち實に職業である。かくて職業教育の根本精神こそは半島教育の現勢に鑑し、最も適實にして純正なる理想と方途とを明示するものなることを信じて疑はないものである。

賀正

京城府黃金町一丁目
山岡時計材料店
電話本局一三四八番

京城府南大門通五丁目一八
朝鮮火藥銃砲株式會社

京城府南大門通五丁目一八
德本商事株式會社

京城府長谷川町七四
合名會社 近澤商店
電話本局二二七五・九四三番

京城府本町二丁目一〇
喜久家
電話本局一三八三番

京城醫師會

京城承認運送店組合

京城湯屋組合

京城煉瓦共同販賣所
京城府黃金町二丁目

京畿道金融組合聯合會
京畿道各金融組合

國際通運株式會社
京城支店
支店長 竹井三郎

朝鮮の財政一般

財務局長　林繁藏

こゝに昭和五年の新春を迎へ萬物が一新の瑞氣を感ずるのでありますこの時に當り過去一年を回顧して將來の計に備へるといふ事は誠に意義の淺からざるをば覺ゆるのであります。

顧まするにわれく財務の仕事に携はります者にとつて昨年は相當多事多端の一年でありまして近年における稀な緊縮案であつた昨年の金解禁は、十一月にその前途をはつきりと見定めるに至つたのであります、昨年中における日本の經濟はこの金解禁を中心として動いたと見て敢て不可ないのであります

卽ち上半期は前年から引續く所の解禁氣迷のために一般經濟は不安動搖裡に經過したといふことが出來ると共に、下半期に入つては政府の財政を中心に一般に緊縮節約の氣分が濃厚となつたため財界の活氣は依然として擧らなかつたが、一面金解禁斷行の豫測が愈々明確となり上半期における如き氣迷的な不安は除去せられ、一般に堅實の風が漲るに至つたので、この緊縮氣分の最高潮に達したる機を窺つて遂に內地においては十一月廿一日、朝鮮においては十一月廿二日附を以て本年一月十一日金解禁が斷行せらるゝ旨公布を見たのであります（中略）

以下少しく金解禁準備としての緊縮政策が昨年の朝鮮の財政に如何なる程度において顯現せられたかを顧み、次いで金融稅務および貿易の狀況について一瞥を加へたいと存じます。

財政　いふまでもなく政府は國民經濟中の最大消費者でありますから、緊縮節約を行はんとすれば先づ政府の財政から着手することが最も必要であり、且つ又範を一般に示す意味から申しましてもこれが最も適當であることは申すまでもありませぬから、かうした意味合から昭和四年度實行豫算が編成されたのであります、勿論今日の朝鮮は諸般のことごとくその緒に就かんとする際で謂はば投資の時代でありますからこれに對し大なる緊縮整理を望むことは却つて鮮內の開發進展を頓挫せしむる虞がありますので、此等の事情は充分にこれを考慮致さねばならぬのでありますが、去りとて朝鮮は全然中央政府の緊縮政策から立ち離れた態度に出づることの不可なるはいふまでもない所であります、而已ならず

朝鮮に於ける事業資金の大部分はこれを內地に仰いで居る現況でありまして、これを政府の場合の例に徴しても公債借入金は勿論、經費不足の補塡として一般會計より多額の補充金を得て居ります關係上、內地に於ける財界の一動一靜は直ちに朝鮮の財政上にも波及する事は寔に避け難い結果と申さねばなりませぬ。而て昭和四年度朝鮮總督府特別會計の實行豫算が如何なる程度に緊縮整理を行つたかを簡く大體申し述べれば、卽ち三百三十七萬八千九百七十圓の節減と七百四萬二千三百三十四圓の繰延を致しまして、結局一千四十二萬一千三百四圓の減少を行ふたのであります。これは朝鮮と致しましては相當徹底した緊縮振であります、なほこれに引續いて昭和五年度の豫算編成に當りましても緊縮方針の下に歲出經費に對し二千百三十五萬圓の整理節約を行つたのであります、但し右節約は

所謂天引主義によらず經費の內容性質を檢討して苟も節約の餘地ありと認めたるものにつき節減を行つたのでありますが、その總額二千百三十五萬圓中純粹の節約は四百九十五萬圓で殘りの千六百三十九萬圓は事業の繰延べであります。政府の財政緊縮斷行の理由が前述の通りでありまして、その節減をして眞に意味あらしむるが爲には全國民の消費節約に對する共鳴とその實行を伴はしめねばなりませぬ。內地に於ける一般社會の緊縮振りは頗る徹底せるやうに觀察せらるゝのでありまして、政府の企圖する所大に實の擧がれるを思はしむるのであります、朝鮮に於ても同樣今後一層消費の節約に努力せられんことを切望致す次第であります

金融　昨年の朝鮮金融界は內地金融界が依然緩漫狀態を持續したのと軌を同じうして大體資金の需要に見るべきものがなく不活潑裡に終始したのでありますが、預金超過遊資過剩といふ現象を露骨にしてゐるのとはいへ內地とは幾分その趣を異にしてゐるのはいふ迄もない所であります、卽ち朝鮮に於きましても預金漸增の傾向は明らかにありますが、さりとて預金が貸出を超過するといふ所までは仲々に立ち至らぬのであります。昨年十月末各種銀行預金總額は二億三千百十四萬六千圓でありまして、前年同月末に比すると七百七十六萬六千圓の增加をして居ります、然し一方貸出金は同じく昨年十月末で四億九百七十二萬七千圓でありまして、前年同月末に比し四千五百九十四萬圓の增加を示して居ります（中略）

銀行及び金融組合に關した出來ことを顧まするに、一昨年末公布された改正銀行令は昨年一月一日より施行を見たのであつて、恰も昨年は財界整理の氣運に際會して改正令の效果といふ事が識者の注意を惹いた譯であります、幸にしてその成績は相當なるものがありまして銀行業務を健全ならしむる上に寄與する所尠くなかつたと信ずるのであります。又七月初には貯蓄銀行令の施行と共に朝鮮貯蓄銀行の設立を見たのでありますが、國民貯蓄の進展を見つゝある事は貯蓄思想涵養の上から申しましても寔に結構なことと存ずるのであります。又金融組合方面に於きましては、懸案なる職制に亘つて金融組合令及び同業務監督規程を改正し昨年四月公布、翌五月一日より施行することとなつたのでありますが、これに依つて相當金融組合の

整備改善を期し得るものと信じて居る次第であります。又金融組合は大正十五年以後毎年二十五組合內外の增設計畫を建てこれを實行し來つたのでありますが、組合の增設についてのみでは下層小商工業者の收容に充分でない事を考慮致しまして、更に昨年度以降に於ては組合支所を毎年三十個乃至四十個を增設することゝしたのであります。而して昨年中に於きまして此等の計畫は着々として實行の上に移されたのであります、更に又昨年十月には殖產銀行本店に金融組合中央金庫を特設せしめ金融組合に對する資金の融通を圓滑ならしむると共に、金融組合關係業務に對し指導の任にも當らしむることとして、金融組合に對する中央金庫としての機能を發揮せしむる事と致しました（中略）

稅務　昨年は地稅の制度を整備するために市街地稅令を廢止してこれを地稅令に統一し、同時に市街地（指定面）の土地賃貸價格を修正して負擔の不權衡を矯正することに措置したのでありますが、地價修正の調査を略完了致しましたので近く公示の運びに至るであらうと存じます、次に昨年は北鮮及び南鮮地方に於ける雹害及び旱害のため地稅の免除を要するものが相當多額に達したのでありますが、租稅歲入の全體から見ますると一張一弛は毅然に歲入の缺陷を來すやうなことはあるまいと思つてゐる次第であります。今後更に稅制の整理につき調査を進めて實行を期したいと考へてゐるのであります。稅制の改正は直接民衆に影響するところ多く、官民一致の協力に俟たなければ好結果を納め得ないことは論を須ひぬところでありますから、今後共官民各位の理解と援助とを冀つてやまない次第であります

貿易　昨年下半期（十一月迄）における朝鮮の對外貿易額は輸出一千六百六十四萬餘圓、輸入三千四百五十一萬餘圓であつて、輸入超過一千七百八十六萬餘圓を示し、これを前年同期に對比すると五百七萬餘圓の入超減少を呈してゐるのであります。由來昨年の對外貿易は上半期においても入超減少の狀況を呈してゐるのであつて、上下兩半期の趨勢に特に異つた現象を看取することが出來ない樣でありますが、下半期における對外貿易相場の昂騰を併せ考慮しますと輸入は促進を來さねばならぬのでありますが、前述の通りの輸出促進輸入減退の傾向を辿つてゐるのは解禁による爲替の打算上騰を見越し輸入手控の打算も相當原因してゐませうが

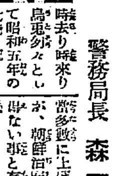
國民の緊縮的氣分が朝鮮の對外貿易の上に片鱗を示してゐるものと信ぜられるのであります、次に內地貿易の情勢を一瞥しますに、七月以降十一月迄四ケ月間の移出五千四百九十九萬餘圓、移入一億一千九百十一萬餘圓でありまして入超三千五百九十一萬餘圓を計上し前年同期と比較しまするに移出は一千九十九萬餘圓の減退、移入は九百十七萬餘圓の增進を告げ昨年は出入の傾向に於て一千五百七十四萬餘圓の出超であつたのが本年は全く反對の現象を呈して居ります。而して移出貿易の減少は上半期以來のことであつて、一昨秋稀有の凶作であつた後を承け出荷不振を呈したこと、及び輸入滿洲粟作豐穰の移出に二十五萬餘圓を減じたることが主因をなして居るやうであり、右二品を除いた他の諸品に於ては六百四十七萬餘圓の增加を示してゐるのであります。（中略）

惟ふに　昨年は金解禁といふ難問題に對する解決の見通しをつけ得た點に於ても意義ある一年でありましたが金解禁の終局的な解決は今年以後にかゝつてゐるのでありますからわれわれ國民は昨年の緊張味を忘るゝことなく今年もまた一層自ら省みつゝしめてこの大問題の解決に當たるの覺悟が必要と存ずるのであります

治安と衞生

官民の協力を切望す

警務局長　森岡二郎



時去り時來りて昭和五年の新春を迎へ、烏兎匆々といふ感に堪へませぬ。生氣みなぎり瑞氣靉靆として半島の氣は宇內に滿ちてゐます。われ等はこゝに所信を披瀝し以て警察の努力の意を通じ致さむとするのであります。

『**蹶つて**』朝鮮治安の狀況を大觀しまするに、さきに朝鮮文化の粹を集めた施政二十年記念の朝鮮博覽會開催に當たつては、不逞の徒の一部策動の跡を見ましたとはいへ、何等表面的の波瀾の片影すら見なかつたのであります、又昭和三年の末から四年二月にかけての元山勞働爭議、十一月光州における學生騷擾から全鮮に波動を與へたいはゆる學生盟休事件、不祥事件の一、二があつたとはいへ、これ等もそれ程根底の深いものではなくて、最近の學生事件の如きもその陰にかくれた社會主義者の躍動によつてやがて完全に解決しうるものと信じてゐます

『**眞摯な**』る輿論の喚起、迅速、正確、公平なる記事の取扱ひに向つて進んでゐるのは國家の爲慶賀に堪へない所であります。たゞ時により、事情により、濫りに人心を惑はし、或は禁止事項の內容に觸れて行政處分を受けた新聞は相當多數に上ぼつたやうでありますが、朝鮮治安の爲には誠に止むを得ない事と存じます。更に新聞紙の使命の完成に努力せられん事を希望して止まないのであります。保健衞生の施設や公衆の衞生思想が、年を追ふて進步向上の道程をたどりつゝあるのは洵に喜ばしいことでありますが、昨年は朝鮮博覽會の開催に當たり仁川に『コレラ』患者の發生を見たことは甚だ遺憾ではありましたが、關係職員の非常なる

『**努力に**』よりその流行を萌芽の裡に制遏し、博覽會に對しても殆ど何等の影響を與へなかつたのは洵に不幸中の幸であつたと思ふのであります。なほ本年度の新規事業としては『モルヒネ』中毒者救療事業並に、癩豫防事業の擴張、沙里院・鐵原兩道立醫院の新設等が計畫されてあります、更に年と共に一層施設の改善向上を策し、民衆福利の增進に努めたいと思ふのであります

要するに朝鮮における警察衞生は年と共に向上進步の跡を示してゐますが、時運の進展につれ益々改善發達を要求するのであります。我警察においては飽迄も警察本來の使命の爲にあくまでも嚴正公平に、しかも

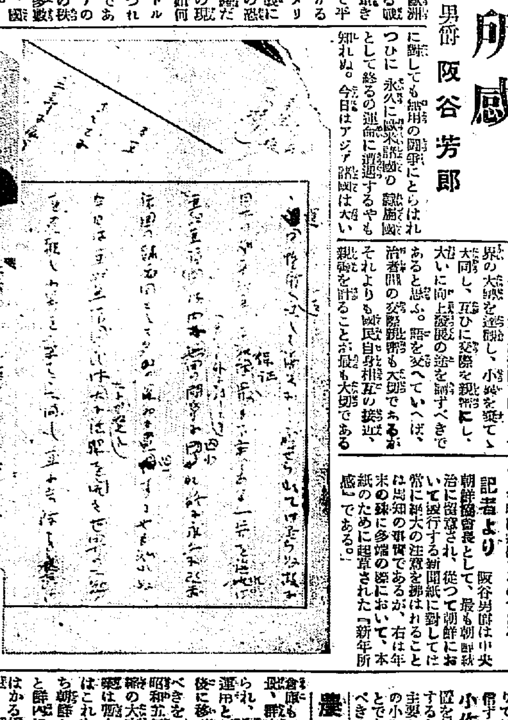
『**實行に**』あたつてはどこまでも親切に懇ろにと考へてゐます。然しながら何れの行政施設も民衆の了解の如何によつて成績が擧がるか否かゞ岐れるのであります

私はこゝに多方諸子の十分なる理解による官民一致の協力を希望して止まないのであります

新年所感

法學博士　男爵　阪谷芳郎

世界を見渡すと、世界大戰後歐洲諸國は五ケ年にわたる悲慘なる戰爭の經驗にこり、國際聯盟に賴り和親を圖き、互ひに相提携向睦して平和を保ち、軍備の縮少をはかることに熱中して居る、南北アメリカは所謂『モンロー』主義により今日においては平和撥亂の恐れはない、たゞアジア諸國は甚だ危險不安の狀態にある。支那の現狀は如何、印度の自治運動は如何、ペルシヤ、アフガニスタン、トルコ等の諸國の狀況は如何。いづれも少しも安心の出來ざる有樣である。今日日本を除く他のアジアの大國と稱すべきものは、國家の秩序組織が充分立たず、國民大多數の教育は頗る不充分であつて、國際聯盟や不戰條約等の如き平和を目的とするものの運用性質を決して滿足に了解せられてはをらぬ。ゆえに目下の處、アジアの平和保證は最も不安である、一步を誤れば、アジア諸國は內においても、外に對しても無用の鬪爭にとらはれつひに永久に歐米諸國の隸屬國として終るの運命に遭遇するやも知れぬ。今日はアジア諸國は大いに目醒し、大いに活眼を開き、世界の大勢を達觀し、小異を棄て大同し、互ひに交際を親密にし、大いに向上發展の途を講ずべきであると思ふ。語を交へていへば、治者間の交際親善も大切であるがそれよりも國民自身相互の接近、親善を計ることが最も大切であることを特に痛感するのである



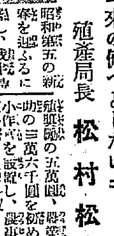
寫眞は阪谷男爵と本紙に寄せられた男爵自筆の原稿である

記者より　阪谷男爵は中央朝鮮協會長として、最も朝鮮統治に留意され、從つて朝鮮において發行する新聞紙に對しては常に絕大の注意を拂はれることは周知の事實であるが、右は年末の殊に多端の際において、本紙のために起草された『新年所感』である。

朝鮮の產業

既往を顧みて將來の備へとしたい

殖產局長　松村松盛



昭和第五の新春を迎ふるに際し、我殖產局の既往を顧みて將來の備へとしたいと思ふ。昨年は伊勢大廟の式年御遷宮の御儀あり、孝宮和子內親王殿下御誕生あらせられ皇室の御隆昌いよく芽出たく、國家の慶賀之に過ぎず、又始政二十年記念朝鮮博覽會には畏くも閑院宮同妃兩殿下の御來臨を辱ふし、千萬民衆は感激措く能はず、官民共に朝鮮の向上進展に一層精進すべきを誓つたのである

我殖產局としては、まづ農業方面において可なり多くの新規施設をなした。いはく田作物の改良增殖獎勵補助の五萬二千圓、畜牛增殖獎勵の五萬圓、農業倉庫設置補助の三萬六千圓を始めとし、道に小作官を設置し、農事試驗場に支場を新設し、干拓出張所（干拓地の除鹽試驗のため）を設け、又棉作試驗場を全北に設け、種々の試驗を行ふため出張所を設置する等、農業方面の急務に備へた

而してその實行を見て居るものは、田作改良增殖、畜牛增殖及び農業倉庫の建設で、田作の如きは粟作模範作圃を設けて實際的の獎勵を圖し、十年後には粟三百萬石大豆百萬石麥百萬石合計五百萬石の增收を圖り、これを以て一面鮮內食糧の充實を期し併せて滿洲粟の輸入を防遏するの計畫である

畜牛の增殖獎勵は未だ一二年を以てその實績を云爲することは出來ぬが、就中畜牛共濟事業の獎勵補助は農家の畜牛飼養による危險を保護する點において朝鮮の如き細農多き地方にありては確に有効適切なる施設と信ずるのである

小作官は先般その任命設置を見たのであるが、その職とするところは今後農村における主要なる社會問題の解決と將來の小作立法の基礎調査を行ふことであつて、今後の活動に俟つべきものが頗る多いのである

農業倉庫　久しく懸案されたものが實現され、倉庫もまづ試驗的の施設として江景、群山、木浦の三ケ所に建設せられ、大藏省預金部の低利資金の運用と相俟つて、國家經濟の向上發展に移出調節上貢獻する所大なるべきを信じて疑はないのである。昭和五年度の新規事業は全然緊縮方針にかゝり、各種新規事業は總て手控へするも、米穀問題はこれを忽諸に附する能はず、卽ち朝鮮より內地への移出米の調節と鮮內における農家經濟の安定を圖る爲に五十二萬圓の經費を計上して農業倉庫の建設補助およびこれが指導獎勵の爲の職員を設置することゝなつてゐる。しかし移出調節はこれを以て十分とする譯には行かぬから米穀調查會の決議に鑑み、中央政府の財政的援助により根本施設をなしたいと

次に朝鮮の水產業が併合以來特に顯著なる發達を遂げたことは何人も認めるところである。これは畢竟するに朝鮮に豐富な漁場があること、先進內地漁民が移住し漁法の傳習をなしたこと、官の施設が宜しきを得たこと、當業者の奮勵等に當つたことに因するのである。大正十二、三年の頃より漸次沿岸漁業の充實を來した、現在においては免許漁業のみを以ても八千件の多きに達してゐる故に今後朝鮮の水產業は沿岸漁場を整理すると共に一面沖合並に遠洋漁場の開拓と干潟淺海の利用を圖らねばならぬ（中略）水產業が如此變遷したので茲に漁業法令の改正をする必要を認め、昭和四年一月新に朝鮮漁業令を發布して當業者の利益を確保しその發展を助長すると共に違反取締を嚴にしたのである。これ等は何れも時代の要求であつて、これにより益々堅實なる成長を遂げることを信ずる

鑛業　方面に就ては朝鮮は甚だ各種鑛物に富んで居るに拘らず由來一盛一衰を辿つて居る、永い間の懸案であつた金解禁問題を解決せられることになり、これに伴ふ產金の增加といふことも正貨維持の上に於て主要の問題であるが、我國產金狀態を見るに、大正元年から昭和二年迄十六年間に於ける內地、朝鮮、臺灣の產金高は實に五萬六千五百七十三貫匁、一ケ年平均三千五百三十五貫匁、昭和三年には四千二百卅五貫匁を產出して累年增加の傾向を示してゐる而してその各地別產金割合は內地五、七、朝鮮三、六、臺灣〇、七であるが、內地金鑛業は已に相當永き歲月を經て居るのに晉が朝鮮の金鑛は未だ開發の初期にありといふも差支ない、最近新に發見せられた咸南北地方における優良金鑛地帶の如く、今後交通機關の發達に伴ひより優良なる金鑛地帶の發見を期待せらるゝのみでなく、金鑛業は逐年發展の趨勢を示して居るから、將來必ず斯界の期待に副ふことが出來るのであらうと思ふ。この外に鐵、黑鉛、石炭等何れも有望な事業で、かゝる不況時には何れも深刻な資金難に陷つて居るけれども、近く內地大資本家が朝鮮への進出の傾向あるは甚だ欣ぶべきで、（中略）本年は益々これに伴ふて各種の方面に好影響を齎すであらうと思ふ

商工業　方面は緊縮政策の影響の下に多くの不振なるを免れないのであるが、結局金解禁の結果必ずや財界の安定を得べく、從つて健全なる道程を辿りて漸次根底の固い進展を致すのであらうと思はれる。いふまでもなく各種工業は大規模水力電氣事業の實現、交通機關の整備等に依り益々勃興する氣運にあるあり商工業は寧ろこれから大に期待される次第である

產業組合　は創設日淺きに拘らずそれぐく好成績を示して居るが、これが健全なる發達に依り地方產業を誘導する事が出來るやう切望する。昨秋の大博覽會は偉大なる實物教育をなし半島產業の進步に寄與した處甚大であるが、更に從來の本府商品陳列館を商工獎勵館と改めて舊臘十二月十一日新に開館した。これが機能は朝鮮產品の展示に在るも、各種商業の調査紹介はもとより講演會、展覽會、試賣會等の催しをして居るから、十分にこれを利用せしむる用意をして居る。なほメートル法普及に關しては充分努力を拂つて居るが、官民協力によつて一層その徹底を圖りたいものである

要するに　朝鮮產業の發達を計して來た全局部の年と共に施設の發達を示して來たとはいへ、時運の進展に伴ふて出來るだけの指導獎勵を致した譯である。然し朝鮮產業は寧ろ今後に期待すべきもの甚だ多いから、斯業の確實なる發展に鑑み、官民の協力により一層施設の充實を期したいものである（下略）

賀正

元山府本町三丁目　舶來雜貨　飯山洋品店　電話長六五番　振替京城四〇七三番

元山商業會議所

元山府本町一丁目　貿易商　木本芳輔商店　電話長三五番

元山府洲洞　木本精米所　電話一一二・一一三番

元山府旭町三丁目十番地　咸鏡南道機船手繰網組合　電話四五一番

元山府本町二丁目　大韓無煙炭礦株式會社　北鮮代理店　營業品目ストーブ石炭　不二忠商會

江原道通川　古寺喜市

江原道通川　赤羽精米所

江原道通川　通川小學校　田中陸

咸南高原公立普通學校　職員一同

咸南安邊郡邑內　安邊公立普通學校　職員一同

國際通運株式會社元山支店　二寸木政藏　元山府海岸通

元山府廳　職員一同

朝鮮外金剛溫井里　溫泉旅館　萬龍閣　電話八番

ラジユーム溫泉內湯　嶺陽館　朝鮮外金剛溫井里

元山府本町　小野文吉

元山府本町二丁目　古屋保貞

咸南永興　株式會社北鮮商業銀行　永興支店

咸南高原郵便所長　足立三郎

咸南安邊邑內　飯島重次郎

江原道庫底郵便所　土尾政芳

江原道庫底港　御料理　一力　電話一三番

江原道庫底港　御旅館　信陽館　電話八番

江原道通川郵便所　安藤清太郎

江原道通川邑內　山口文忠

江原道通川　和洋百貨商　松岡武彥商店　旅館部　通川旅館　各國郵船大阪商船代理店　元山自動車出張所

江原道長箭港　岡田仁藏　電話六番

江原道長箭港　金剛館　電話十番

江原道長箭港　御料理　ちくし樓

高城郡警察署長　矢岡爲十郎

咸南安邊　安邊公立普通學校　職員一同

江原道高城郡廳　職員一同

元山府泉町　御料理　丸よし本店　電話六二一・一五〇番

元山府本町一丁目　丸芳自動車部　電話一三〇・一一〇番

元山府仲町一丁目（電話一二一番）　合資會社　大盛商會

元山府春日町（電話三六六番）　㊂精米所　三隅義三

元山水曜會

元山輪業組合　藤本自轉車商會　中尾自轉車商會　佐子自轉車商會　愛輪自轉車商會　牧自轉車商會　清尻自轉車商會

元山府本町三丁目　合名會社　湯澤綿行元山支店　電話八〇七番　振替口座京城一八三〇八番　本店　廣島市愛宕町　電話長七一四一七八番

元山土曜會

筆頭は濱口首相

政界實業界に多士濟々

午歳名士の展望

本年は丙午にあたりいはゆる午歳である。午年の名士には濱口首相土方日銀總裁等現時我が國に雄飛する人物が多い。しかして名士の多くは明治三年の出生で明治三年生の人は本年丁度還暦にあたつてゐる。

×　×　×

濱口首相は世間周知の如く四國は高知の生まれ故岩崎彌太郎と郷を同じくして同郷の先輩には仙石貢、後藤としては富田幸次郎がある。首相は明治二十八年帝大を出て直に大藏省に入り專賣局長官を最後として官僚生活をやめたがその後大藏次官に任ぜられ、加藤高明内閣に大藏大臣、若槻内閣に内務大臣に就任し昨年七月には民政黨内閣首班として總理大臣の要職に上つた。

容貌がライオンに似て居るといふのでライオン首相の名あるとはいふまでもない。無愛想の愛嬌首相といふ評判もある。かつて專賣局長官をやめて逓信次官の人となるやまんまと失敗し長靴をはいて閑暇を觀過して居た處まことに氣の毒なものであつたが、憲政會の總務となつて加藤高明伯の帷幄に參じた時はその政綱政策の起草から黨議黨略の商議に至るまで執筆し黨政府の指導には有力な一役を努めた。同窓の親友には故下岡忠治、前朝鮮總督伊澤多喜男の諸君があり、幣原外相も濱口首相同窓の親友である。首相にあつく信義を重んじ質實剛健の風はその風采に躍動して居る。

×　×　×

土方日銀總裁も明治三年の出生で二十八年の帝大出身である。卒業後たゞちに月給二十五圓で日銀に入つた。營業局長に累進し[illegible]な羽振であつたが、志立鐵次郎君のあとを襲ふて興銀の總裁となり興銀にあること數年におよんだ。興銀にありては故小野英二郎氏の副總裁と好配合とあつたが、後總裁を小野副總裁に讓つて辭職し、閑雲野鶴といふか日本倶樂部あたりに圍碁を樂しむといふよりむしろ快々として樂まざる風もあつたが再び日銀に入つて市來乙彦氏の下に副總裁となつた。丁度昭和二年の財界大恐慌當時は市來總裁以上に利れ味を見せたものだ。その後井上準之助氏が總裁となるにおよんでも依然副總裁に甘んじ、よく働いた甲斐あつて待てば海路の日和か昨年總裁の要職を得て金解禁については總裁の要職にならんばかりの苦心を重ねたが、今後もなほ總裁の努力にまつべき事件は財界に山積する時である。

夫人は故三野村利助氏の愛嬢でその結婚には一寸したロマンスがある。といふは三野村氏は愛嬢の配偶を求むべく年頭に加留多會を催した。席に列るもの現昭和銀行頭取生田定之氏もその一人であつた。しかして三野村氏令嬢の選擇が土方君にとまつたといふ次第である。君は長身痩軀、六十一歳の今日でもなほ相當人の注意を惹く容貌の持ち主であるから若かりし日の艶福こそ思ひやられる。

×　×　×

前農相山本悌二郎君もまた明治三年の出生である。君は佐渡の生れ若くして海外に遊學し歸朝して第二高等學校の教授となつたが、この間製糖業に關心して砂糖栽培について研究したのであるから決して[illegible]たる學究ではなかつた。遂に臺灣製糖會社を起こし臺灣糖業界の先驅者として[illegible]後、前政友會幹事長に推され[illegible]んだが、政友會の總務とし、政界に雄飛するに至つて大分家産を傾け農林大臣に親任された頃はすでに相當の債務も負ふてゐた。正直一方、實行力の人で[illegible]刀劍を愛し趣味の廣い人である。

×　×　×

三井物產の常務取締役安川雄之助君も明治三年の出生である。君は三井物產生え拔の一人、營業部長を經て常務に進み、現時は日本の貿易界といふよりは日本の經濟界の運命を双肩に負ふて活躍してゐる。京都の生れに似合はず、風貌は[illegible]のライオン式で年收五十萬圓は缺けぬ收入があるのだから實業界に羽振のいゝことは無論である。

×　×　×

[illegible]會々長の[illegible]君も明治三年で日本橋の生れ生家は代々[illegible]の家柄で[illegible]若い頃から區會議員に打つて出たそれが皮切りで三十五年には市會議員となり四十五年までその職にあつたが、[illegible]東京ガスと千代田ガスの合併問題當時、猛烈に合併反對を主張した。當時市會議員に[illegible]されたことは有名な話である。性來、[illegible]、かつクリスチヤンたる君は[illegible]く名譽職等の不正に呆れ斷然市會議員を辭して[illegible]

初午
野口　雨情

二月の初午
狐に御馳走
赤のおまんま
おいしいおまんま
狐が啼きます
スコ　コンコン
もう一つ御馳走
二月の初午
おまんまよいよい
油揚げ頂戴
狐かひます
スコ　コンコン

[illegible]ワイの[illegible]に[illegible]め三年[illegible]移民事[illegible]を[illegible]し、その後これを解し[illegible]日本[illegible]の前身たる日本[illegible]の[illegible]を[illegible]め[illegible]創立に際してこれに加はつた。趣味としてはゴルフ、謡曲、[illegible]を[illegible]たのしむ生粋の江戸ッ子である。

白濟農場社長正田貞一郎君も明治三年の出生である。君は上州館林の產、[illegible]たる地方の一製粉所を經營したが、今日は日本第一の大製粉所とした。この間卅余年の苦心奮鬪まことに目ざましいといふか、涙ぐましいといふか、實に美はしいものである。君は朝早く夕遲く社員と共に勤務し、何等の道樂なく誠實刀行を文字通り實行してゐる。さうかといつて決して頑固な實業家でなく產業の合理化、能率の增進には殊に多くの研究を積んで自ら歐米の[illegible]を觀察するのみならず、多數の社員を海外に派遣して海外の[illegible]にヒケを取らぬ準備を怠らない。

君の所持する銀時計は卅余年の間唯一のもので、その銀時計に精勤の賞と誠實と勤勉とがきざみこまれ秘藏されてゐるとまでいはれてゐる。

×　×　×

大倉喜七郎男は明治十五年出生の午歳で故大倉喜八郎翁の一人息子である。男は競馬がすきで現に三頭の馬を飼育して居るが、故翁に似て美術を愛好し美術の爲に多大の犠牲を拂つて居る一方、和洋の音樂の研究にも心を傾けて居る。

×　×　×

以上は概して[illegible]又は[illegible]に[illegible]の[illegible]き人々に[illegible]たが[illegible]小說文壇も午歳[illegible]、學者博士中村進午、農學博士矢作榮藏、[illegible]大教授村田[illegible]郎、小説家[illegible]には巖谷小波等諸氏には午の諸君がある。何れも明治三年組である。小松文相は[illegible]の神經家、中村博士は[illegible]の[illegible]、法の權威であつて紳士に見る人格者、矢作博士は帝國農會會長として令名、[illegible]教授は英國流ゼントルマン、村田教授は馬に關する日本第一の研究家、小波山人はお伽噺の大家として何人も知つて居る。

齋藤總督は午歳生れ

われらの總督として再び朝鮮に迎へたのは昨年九月の事であつた、三年ぶりに京城で正月を迎へた總督は老いて益々元氣あふるゝばかり安政五年午の歳十月にうまれた總督は本年七十三歳。濱口首相より一廻り年長である。明治十五年海軍少佐に任ぜられてから幾春秋、明治の二大戰役には殉國活躍したが、卅九年十月に英國で建造された富士艦の回航委員長となり當時の大艦を見事スエズ運河を通して世界に名を輝かしたのは中佐になる直前である、大佐で海軍次官となつたのは卅一年の末である、海軍大臣になつたのは卅九年一月、大正元年十二月二十一日には長くも勅語を賜はつてゐる。初めて朝鮮總督の大任を帯びたのが大正八年九月二日、朝鮮統治に[illegible]する廿八年有余、一昨四年春四月ゼネヴァの海軍々縮會議にわが國全權として參列したのはわれ〳〵の記憶に新らしい、午の歳生れの總督は今年は益々健康を維續されるであらう（寫眞は總督）

午歳生れの名士
上は濱口首相（下段右上より）山本、小野、大倉（同中上より）土方、澁谷、中村（同左上より）加藤、安川、正田の各氏

午年の藝妓（本券）

富榮（…小メ…紅屋）本籍姫路市下久長町二六、源二郎養女（二九、一二、五生）

百葉（紅屋）本名中島喜美　昭和四年三月から　廣島市南竹屋町九八本名松村貞子（三九、三、二五生）野球選手松村氏の親戚

島之助（大黒）大阪東成區中道町七九鍛冶屋四女（三九、八、一六生）本名岡本富美子　昭和三年十月から出る

菊次（富久家）福岡市大字住吉一、五六二時三郎養女（三九、七、二〇生）本名石川しづゑ（昭和二年頃[illegible]と改）

多美菊（多三峰）大正十四年から　廣島市水主町四〇八本名佐久間琴江（三九、四、一〇生）大正十二年から

小七三（小村家）熊本市洞手町十一、一一七助五郎長女本名林ノサヨ（二九、六、二五生）

大正十五年から

全羅北道公立師範學校　職員一同

全州公立農業學校　職員一同

全州面職員　全州面協議員一同

全州　守山五百足

全州郡參禮　伊藤農場

賀正

全州郡　參禮昭和會

全州郡助村面[illegible]里　桂木市太郎

益山郡大場村　今村農場

井邑郡禾湖里公立小學校長　粟屋稔甫

金堤郡竹山公立普通學校長　大曲琢

全北裡里　扇米助

金堤郡月村面　緒方金藏

金堤郡月村面　堤寶藏

新泰仁公立普通學校　職員一同

全北井邑郡　泰仁報德會

全北全州　高等女學校　女子高等普通學校　一同

全州大正町　上田藥局　電話一五二番

金堤郡扶梁面　荒木又喜

金堤郡芙蓉　大隅悦藏

井邑郡新泰仁　公立尋常高等小學校　職員一同

全州本町　矢野呉服店　電話三六番

全州本町三丁目　大全商事株式會社　電話一三四番

全州酒造組合

全北裡里　窪田好助

裡里五月會

全北　金堤木曜會

金堤郡月村面　右田農場

扶安郡白山面　松場支店　若山榮治郎

全北　扶安郡廳職員一同

井邑郡　古阜水利組合

金堤郡扶梁面　田上末喜　松本又喜

裡里工友會

裡里木曜會

裡里醫師會

金堤土曜會
石川縣農業株式會社
井上農場
橋本農場
東津農業株式會社
多木農場
中柴產業株式會社
桝富農場
阿部市商店金堤農場
蒲手農場

裡里三十日會

全州遊廓組合

全羅北道　食堂員一同

全州　松本福市

裡里公立農林學校　職員一同

全北井邑金曜會　好見清一　井上亥藏　藤井近之助

全州七曜會

慶尙北道果物同業組合

大邱府東城町一丁目 林辰商店 電話四七二番 振替釜山三九三九

大邱府八雲町 磯貝彦五郎

金泉郡廳 職員一同

大邱府東本町 酒類釀造業 片木屋酒店 電話五五一番 振替京城六八三八番

大邱商業會議所 書記長 吉田由巳 會計 宮內益男 外職員一同

大邱刑務所 職員一同

共榮自動車株式會社 專務取締役 中平隆彬 大邱府南町 電話一一五五番

大邱府下西町 鄭海鵬

慶北義城郵便所 出山治作

慶北義城邑內 義城釀造株式會社

慶北義城麴子組合

慶北善山警察署 職員一同

慶北慶山警察署 日高勇輔

慶北慶山金融組合 竹林規矩夫

慶北榮州 榮警生

安東戊辰會

慶北榮州金融組合 西岡浩

大邱卸商組合

大邱 松本誠一

大邱中央通 弘中商會 電話七七二番

大邱 平櫛九一

大邱府榮町 大邱大氣堂 電話長五七一番 振替京城八九〇九

大邱村上町(秋月跡) カフエー現代

大邱京町 民園料理 群芳閣 電話五四五番

大邱穀物株式會社

小池英勝 東拓大邱支店

大邱料理屋組合

大邱旅館組合

慶北道立大邱醫院 職員一同

大邱府元町二丁目 南鮮運輸株式會社

大邱府大和町 米穀商 芳德商會 電話長一七・九八九・一一 一〇七二・四五三・一一六七

朝鐵自動車會社 大邱出張所

大邱府東雲町 棟居酒造場 電話四七九番・八二四番

慶北蠶種業組合

慶北靑松公立普通學校職員一同

大邱 李章雨

慶尙北道食堂會員

慶北義城公立普通學校 職員一同

金泉警察署 職員一同

慶北靑松 沈相光

金泉金曜會

慶北安東郡 安東面事務所

慶北榮州公立普通學校 平山晉吉

大邱穀物信託株式會社

大邱官公立中等學校長會

大邱府廳 職員一同

大邱府七星町 朝鮮麴子製造合名會社 電話五八〇番

慶北線尙州 書籍文具商 稻垣文華堂 電話三四番 振替京城五〇七八

朝鐵自動車株式會社 金泉出張所

慶北金泉郡內公立初等學校敎員一同

道立金泉醫院 職員一同

安東郡廳 各產業團體 職員一同

慶北醴泉郡 官公吏一同

慶北金泉面長 笹猪之助

金泉郵便局長

慶北金泉 中川太平

慶北尙州 米穀商組合

慶北善山郡廳 職員一同

慶北榮州郡廳 職員一同

大邱府協議會員 大邱府商業會議所評議員 柴田千代吉

大邱府協議會員 韓奎鏞

大邱府元町一ノ二 西田廣太郎 電話一一〇番

南朝鮮自動車株式會社 大邱出張所 電話長六六三番

大邱府內公立初等學校 工業補習校 職員一同

大邱無盡株式會社

慶北靈山金融組合 福永寅四郎

大邱府七星町 濱崎喜三郎

達城郡廳 職員一同

慶尙北道農會 同畜產組合聯合會 同森林組合聯合會

大興電氣株式會社

大邱府東城町 共榮自動車株式會社

大邱專賣支局職員一同

大邱金曜會

大邱穀物商組合

山十製糸株式會社 大邱製糸所

片倉製糸紡績株式會社 大邱製糸所

朝鮮生絲株式會社

京城日報 其四

一九三〇年の文壇

大宅壯一

文壇の再分解

硯友社以來數十年間、漸次資本主義化して行く社會にあつて、取殘された手工業的ギルドとして、ずつと排他的存在をつゞけて來たところの『文壇』は、プロレタリア文藝運動の勃興によつて、まづ第一次的分解作用が起こり、ブルヂョア派とプロレタリア派の明白なる二大對立を生んだ。

だが、一九二七年から二九年にかけて圓本の洪水によつて起つた出版革命、その結果である出版資本の高度の發展とは最近の文壇に第二次的分解作用を招致せんとする傾向を示してゐる。そしてそれは一九三〇年に入つて完全に實行せられるであらうと考へられる。

もちろん、この分解作用は、それぞれ違つた形式においてではあるが、ブルヂョア派とプロレタリア派の兩分野にわたつて行はれる。前者についていへば、これまで一括して『ブルヂョア派』と呼ばれてゐたものが、大體において、古典派と通俗派と近代派の三派に分れて、この間に明白な對立を示すやうになるだらう。

島崎藤村、德田秋聲、谷崎潤一郎、志賀直哉、里見弴、武者小路實篤等、明治大正以來の大家巨匠のほとんどすべては、今やすでに古典の部類にはいつてしまつた。といふ意味は、彼等はそれぞれ一つの完成された型をもつてゐるが、その型も、その型を滿たしてゐる内容も、急激なテンポをもつて動いてゐる『時代』との間に大きな隔離が出來て、一般讀書界の積極的な興味と關心の外に逸脱してしまつたといふことである。

このことは、その代表者である藤村の力作『夜明け前』を讀めば明かにわかる。なるほどそれは形式的に完ぺきの域に達してゐる點からいつて、一代の巨匠の傑作たるに、はぢないものがある。だがかつて彼の『破戒』や『春』や『家』が當時の讀書界に與へた感激の十分の一をも、今日の讀書界に與へることが出來ない。それだけ彼の存在は、もはや時代との積極的な交渉を失つてしまつてゐるのである。

德田秋聲についても同様のことがいへる。以前問題になつた『元の枝へ』は、この自然主義の老大家にとつて、最後のはなやかな思ひ出として殘るであらう。

谷崎潤一郎も、もはや完全に古典の部類に入つてゐる。彼の一世を風靡した耽美主義的作風は、漸次大衆化して、單なる獵奇趣味となり、今ではそれさへも、甚だしくその力を失つてしまつた。今後の彼の作品は、一部の好事家を滿足させるだけであつて、昔の熱情が再び甦つてくるとは考へられない。

志賀直哉の『嚴肅なリアリズム』も、今日では單なる日記文學にすぎない。しかもそれさへ、年に一二回斷片的に發表されるくらゐのものである。

里見弴の『藝のうまさ』も、追々鼻について興味を稍て來たことは事實であるが、それは結局新しい落語であり、小さんや三語樓の『藝』と大した違ひがなさゝうである。時代の積極的な要求にはたらきかける力が全然なくなつてしまつたからだ。

だが、これらの古典的諸大家の中で、最近急激なる凋落によつてものゝあはれを感じさせられるのは武者小路實篤である。近年彼の作品は、往年の面影もユーモアもなくなり、ますます荒唐無稽に墮して、今では誰も眞面目に批評するものがなくなつてしまつた。十年前に彼が異常な感激をもつてつくつた日向の『新しき村』も、肝腎の彼が第二第三の愛人と共に東京生活をつゞけてゐるので、今や思想的にも經濟的にも、完全に破綻に瀕してゐる。

從つて一九三〇年には、これらの諸大家はすつかり過去の作家に編入されてしまふであらう。

通俗文學檢討

通俗文學は、いはゞ植民地文學である。普通教育の普及と、歐洲戰時代の好景氣とによつて、日本の中流以下の階級における購買力が急激に増大した。殊に、これまでほとんど出版物の捌きうる圏外にあつた家庭婦人の間にも、文化熱の流行と共に、書物の購買力が發生した。そしてそれは、婦人雜誌の素晴らしい發展を招致した。

かくて文學は、服飾や裝飾や化粧品や料理などを手引する實用記事と共に、婦人雜誌に編纂されて、この新たに開拓された智的植民地に向つて殺到して行つたのである。だが、植民地向き輸出品のほとんどすべてがさうであるやうに、植民地でもつとも歡迎されるものは、一等品ではなくて、二等品若くは三等品であり、贅澤品ではなくて實用品である。綿布や絹糸ではなくて、綿糸であり、綿織物であり、せいぜい人絹である。同樣のことが文學についてもいへる。これまで文壇の一隅に、といふよりはその圏外に落伍者として批評家から度外視され、自らも卑下してゐた通俗文學に對する需要が急激に増大して來た。

この婦人雜誌の驚異的成功に刺戟されて、目ざましい發展ぶりをみせた出版資本主義は、さらにより大きな市場を求めて、次ぎから次ぎへと智的植民地を開拓して行つた。それにつれて植民地向き通俗文藝に對する需要は、幾何級數的に増して行つた。

それに應じて、新しい通俗作家が續々と輩出すると共に、今まで文壇で高くとまつてゐた『高級』作家の多くが、われもわれもと通俗ものに筆を染め出した。そこで、これまで『高級』と呼ばれてゐたものは、實はたゞ一部の知識階級を顧客にしてつくられたものであつて、その外にそれぞれ違つた讀者層に向けられた各種の文學が必要であるといふことが明かになつて來た。

現に各通俗作家には、大體の顧客層といふものがある。例へば加藤武雄は女學校卒業程度、菊池寛は女學生一般、三上於菟吉はモダン・ボーイ、モダン・ガール、中村武羅夫は有閑階級といつたやうなものが標準になつてゐるやうである。

だが、これらの通俗文壇の諸大家も、最近は一體に行きづまつて來たやうである。少くとも、その大部分が下り坂を下りつつあることは事實である。今彼等はすべて材料の饑饉に陷つてゐる。

一九三〇年において、通俗文學はいかなる展開を見せるであらうかといふに、今後は文壇落伍者や高級文壇からの轉向者ばかりではなくて、あらゆる社會層から、さまざまな經驗を持つた新しい作家が續々現れて來るであらうと考へられる。官吏出の大佛次郎や政治家出の鶴見祐輔などはその先驅者として注目すべきである。

渚の岩　與謝野晶子

休みなく椿の花のちりかかる渚の岩は紫にして
波白く夜明くることを告げに來るところに立てる岩もめでたし
朝より滿潮となりもの の巣の姿ばかりに浮ぶ岩かな
水鳥に似る磯の岩朝の日に翅ひろぐることこそすれ
富士が引くもすその末にそこばくの美くしき岩並ぶ磯かな
東海の磐の岩立つ磯に朝夕馴れてめでたき
潮わたつみの荒磯の岩苔むさず常新しや日輪のごと

近代派の擡頭

最近流行のモダーニズムは、中間階級のもつとも新しい消費哲學である。消費生活における能率主義である。限定された出費をもつて最大の消費的滿足をうるために發明されたものである。收入の點で限定されてゐるもの、主として俸給生活者が、その限定された收入をもつとも有効に使用するために出來たものがモダーニズムである。かくて、カフェーも、ダンス・ホールも、カクテルも、婦人服も、髮型も、ラッパ・ズボンも、文化住宅も、すべてみなこの消費的能率の要求に應じて生れ出たのである。

この傾向は直に文學にも反映せざるを得ない。否、文壇モダーン派が、かうした風潮を創造し、助長し、挑發し、指導してゐるかの如き觀を呈してゐる。横光利一、川端康成、池谷信三郎などの新感覺派からはじまつて、龍膽寺雄などのモダーン派、岡田三郎などのエロチック派、中村正常などのナンセンス派、淺原六朗などのサラリーマン派、久野豐彦などのダダイス派にいたるまで、ニュアンスに多少の相違はあつても、大体において、中間知識階級の生活と思想と感覺と趣味を代表してゐる點において同一である。

かくて近代派は、ブルヂョア文壇の新しい寵兒たらんとする傾向を示しつゝある。最近擡頭して來た新進作家のほとんどすべてはこの派に屬する。

彼等は一體に、生活的にも、思想的にも、文學的にも、何等確固たる指導精神をもつてゐない。最初から組織的な思想的體系を拋棄してかゝることが、彼等の思想なのである。何等の指導精神なくして生活することが、彼等の生活指導精神なのである。

それは、今日の極端な反動期に遭遇した大多數の知識階級に、そのまゝあてはまるのである。何等の昇進の見込みがなく、しかも絶えず失業の不安に脅かされながら、ブルヂョアジーに奉仕することは決して愉快ではない。といつて、少しでも反抗の意志を示せば、直ちにパンを離れ、それ以上のことに手を出せば、治安維持法と監獄とが待つてゐる。

かうした社會情勢が存續し、かうした社會層が存續する限り、この種の文學に對する需要は決してなくならないであらう。それどころか、最近支配階級は露骨なる攻勢に轉じ、ますます甚だしい反動に向ひつゝあるから、中間階級の不安と焦燥と絶望の度に應じて、當分この種の文學はいよいよ榮えるであらう。

それと共に、プロレタリア派の内部にも發生する新しい分解作用について述ぶべきであるが、それはまた別な機會に譲る。

顏——藤田嗣治畫伯筆

トーキーの出現と映畫俳優の變遷

吉岡繁喜

第八藝術から第九藝術へ——『沈默なるがゆえに映畫には美と幽玄さがある。發聲映畫などといふ代物は獵奇狂のヤンキーの一時的嗜好に投ずるだけで、遠からずして映畫國から消えうせるだらう』とダンゼン發聲映畫の撮影を拒み、ひたすら沈默なドス黒いサイレント映畫の孤城に立籠つてゐるチャップリンの意志に反して、發聲映畫は今や發明品や理論の域を通り越し、明朗であり、健康である處の大衆性をバックに、輝かしい將來を約束されて民衆藝術の最先端をゆきつゝある。トーキーに最も力こぶを入れてゐるアメリカで、トーキー是非の論が行はれて僅に二三年に過ぎないが、現在では米國映畫作品の八割はトーキーで占めてゐるといふ好況ぶりである。處でニッポンで一般ファンにこの言葉がやうやく親まれて來たのは昨春以來のことである。それがすでに昨夏東京市内の輸入物專門の一流館で封切られたパラマウントの短篇ものゝサウンド。フイルム『レッド。スキン』以來、每週メリケンものゝサウンド。パート。オールトーキーの映畫廣告が新聞の廣告紙面を賑はし、東京、大阪、京都、神戸、名古屋等の一流館でも上映され、キネマ人等の『トーキーの存在理由』とか何とかインキの河を流して甲論乙駁の論戰を經て、興行價値本位の成績で全國的に商進しやうとしてゐる。この勢で全國の映畫館をトーキー化することは、單に時日の問題となつて來た。かくの如くチャップリンの沈默映畫至上主義は文藝上の浪漫主義至上主義のそれのやうに大衆からおいてけぼりにされ、これに代つてそのたくましい逞さにおいて、美しさにおいて普遍性において人類の考へだした表現形式中最高の藝術形式であるところの『スペクタクル、ミュージック、ドラマ』の立體的綜合を包含した綜合藝術——完全なトーキー映畫——が全世界を征服するに到るであらう。かくて世はテンポの時代であり、まさしくスピーディの時代である。

◇

本國のアメリカでは既述の通りであるが、さてニッポン現在のトーキーに就ては昨年の春最初の試みとして日活の『東京行進曲』が日本ヴイクター社のレコードとマッチさせるため先鞭をつけたが結局實現を見ずにお流れになつたが、マキノの『戾橋』『傚蠶錄』その他東亞、昭和キネマ等が部分的乃至サウンド。フイルムを試作し、長唄、三味線等で大いにミクニ振を發揮してファンの御機嫌を取結ぶ積りであつたが、何しろ不完全なレコード式であつた爲何れもファンの所へ食ひ足らず、習慣ながら發聲映畫の眞面目を發揮せずに終つた。處が昨秋フイルム式による完全なトーキーが發聲映畫社で製作されミナトーキー『大尉の娘』と銘打つて日活の手で封切られ、その開幕のプロローグには萬年令嬢八重ちやんの艶々としたクローズ・アップが金屬音で『わたしは水谷八重子でございますワ』とか何とか御託宣あつてブロマイドやサイレント映畫のみでは『姿は見ゆれど、あこがれの一聲を……』とぢれてゐた八重子ヒイキのファン連に隨喜の涙を流させたものである。この調子に味をしめたのもであるまいが日活、松竹その他モロモロのプロダクションでは腕をかためて本格的發聲映畫の製作計畫をたてて着々その準備を整つてゐるからメリケンものに比較する程なトーキー映畫を鑑賞出來る日も遠からずして訪れるに違ひない。

◇

光と陰と、單色無聲の一次元藝術としてのサイレント映畫の行詰りに乘じて躍進しはじめた怪物トーキーの出現によつて從來の映畫製作方程式は必然的に根底からひつくり返ることになつたが、映寫幕の第一要素となる映畫俳優の技術にも複雑極まる問題を提起することゝなつた。その第一階段として無聲映畫は觀覽專門である關係上その觀客はスクリーンに現れた演技者の性格、感情、氣分等を鑑識又は表態の表情動作に注がれる。從つて觀衆はスクリーンに展開されたラヴシーンにおいて、彼がいかなる仕草によつてかの女に戀をさゝやくか、かの女が眼元、口元に如何に緊張弛緩させて、彼に應じどの程度まで陶醉させうるか、怒り、喜び、悲しみ、驚き等人間の有りとあらゆる心的動揺の表現はなべて動作と表情とのみを唯一の武器としてゐた爲に、發聲映畫の發達が頂點に達するとゝもにいはゆる表情俳優とか、性格俳優とかの出現を見るに至つたのである。これ等俳優の範疇に屬するものには——エミール。ヤニングス、チャアチー。チャップリン、エス。ハート、グレタ。ガルボ、リリアン。ギッシュ、ポーラ。ネグリー、近くはクララ。ボウ等もあり、我がニッポンにおいては井上正夫、故松本泰三郎、大河內傳次郎、五月信子、伏見直江、酒井米子等がその例に入ることになるだらうが、一方トーキー映畫の上ではそれが現在の過渡期にあり、完璧な形の域に到達するまでは映畫發達コースにおける出發點に立ちかへり舞臺藝術に還元するといふ過程にあるため、アクター乃至アクトレスの意圖する所を臺詞や對話等による科白廻しの抑揚如何が、好果如何の價値を問はれる事となり、從つてその俳優の肉聲そのものゝ性質がスターに價するか或はワンサに過ぎないかの品評をなす上にノッピキならぬ關係を持つことゝなつた。それゆえに從來の無聲映畫の造作やその表情の巧拙のみでは必ずしもトーキー映畫俳優としての立場を維持することが出來なくなり、すでに昨春フオックス社が、同社で製作するヒルムは總てトーキーとなす旨發表した際には無聲映畫時代に重要視されてゐた俳優でも、カナシイかな聲がふるひにかけられた爲め、男優四十二名、女優二十六名、舞踊女優十六名その他二百名程のものがクビになり、トーキーは飛んだ憎まれ者になり、その他各社でも聲の惡いものや、英語の出來ない者、不得手なものたとへばヤンケスやネグリー等といふワタリ者はあたら映畫名優たるの聲譽を擲にふらねばならぬ羽目に陷つてゐる。處が因果はめぐり、これまで問題にされなかつた週給何ドルのアブレ者のエキストラや、ワンサ連でも持つて生れた聲一つが監督のお眼鏡にかなひ、時を得顏に一躍主役をふられるなどアチラでは映畫界前代未聞の悲喜劇を演じてゐる。この傾は決して對岸の火災視出來ぬ問題で、やがては日本においてもトーキー映畫の進出發達と共に必然的に實際化される運命にある。

◇

處でトーキーの意圖する處は、表情と聲音との融合一點ち讀識と發聲との同時性であるが、演技者にとつて舞臺藝術の様に科白に熱中すれば表情や動作が疎かになり、表情美が崩れて監督が戲曲的になる。されば、といつて無聲映畫的に表情動作に重きを置くと科白の方が空疎になる結果、出來上つた作品がチグハグなものになるおそれがある。

◇

トーキーの俳優はこの異つた二つのものを同時に表現しなければならぬ。しかしこの至難な二元的の演技を一致させることの出來るいはゆる[illegible]と、聲帶を兼ね有する俳優のみが將來の映畫スターたることを約束されることゝならう。

賀正

釜山大廳町 三重出版社 土屋高一 電話六六四番

釜山富平町 川北電氣株式會社 釜山出張所

草梁土木出張所 杉谷茂

釜山府榮町三丁目 佐藤商會釜山支店

釜山本町二丁目 朝鮮名產 旅行具 雜貨商 山崎本店 電話四五六番 振替釜山四五六番

釜山 櫻正宗山邑支店

釜山榮町 若狹材木店

釜山富平町 加藤商店機械部 加藤商店洋蠟部 電話六八二番

總督府獸疫血清所長 蠣崎千晴

釜山 星野政太郎

釜山本町一 富樫恒

釜山 水野嚴

釜山南濱町 會席御料理 生駒 電一七八五番

釜山 石原源三郎

釜山辨天町 和洋雜貨小間物店 夏川釜山支店

釜山 片倉米穀肥料株式會社 釜山營業所

釜山精米業組合

釜山 戎時計店

菊正宗 釜山本町三 株式會社本嘉納商店 釜山支店

釜山金曜會

釜山鎭 大日本酒類釀造株式會社 ダイヤ燒酎釀造元 釜山工場

釜山鎭 朝鮮紡織株式會社

釜山 朝鮮瓦斯電氣株式會社

世界の舞臺に踊る 日本が生んだ新人

目ざましく躍進をとげた日本ではあるが、個人的にその盛名を世界に馳せた日本人は至つて少い。まして、それが一九三〇年の世界人に、新人として期待さるゝ日本人に至つては、まことに寥々たるものである。われ等は、その寥々たる人物の中から世界的新人として画家藤田嗣治、音楽家関屋敏子、運動家人見絹枝、政治家鶴見祐輔、財務官津島壽一の五君を数へてみたそしてその人物紹介をいさゝかこゝに書いてみやう

畫壇を擔ふ 藤田嗣治君

欧州戦争に火の消えたやうなパリの画壇は、大戦が終ると共に蘇をあげたサロン・ドートンヌにはなばなしく活気づいた。そのサロンにフランス一流の画家と肩をならべて、日本人『藤田嗣治』の作品が、しかも五点とも新入選してゐた。人々との座談会を設けたかるフランス人の美術批評家連も、日本人藤田の作品がその手法といひ、表現といひ水際立つて光つてゐるのには流石に賛嘆を惜まなかつた。オ歐洲の上においても東洋人と欧洲のカツパの藤田、日本人の藤田の名がフランスの画壇に異彩をなして来たのはそれからであつた。そして、藤田の名は絵画の間にも有名となつた。かうして藤田君は異彩の國フランス画壇の花形となり、世界的の画家として躍進した。彼がこの位置をかち得るまでは大正二年の渡仏以来、三年間も外国なしの放浪生活が続いてゐたのであつた。印象派から野獣派へと転じていつた彼は、最後にすべての画派をとり入れその上に日本画の手法をおり込んだ表現を試みた。それがフランスの画壇に認められたのである。彼は岡本一平等と同期の美校出、卒業後渡仏してから、当時日本では認められなかつた。昨年錦を飾つて母国に帰つた彼が、パリの土になるべくまたフランスへかへつて行く日も遠い事ではなからう

樂壇の彗星 關屋敏子孃

宗教音楽の香が漂つてゐるやうな暗い歌謡曲に悩んでゐた日本の楽壇に彼女がけい星の如く現れたのは、大正十四年の六月であつた。彼女の個性的な情熱と、感情とを多分に持つた歌ひぶりはまさに楽壇の驚異であつた。日本楽壇に一地歩を確保した彼女は更に一日本の無名ソプラノの歌手として、世界的の音楽家の列に等しく志ざすところの歌の国イタリーへ、欧洲楽壇に旅立つたのは昭和二年も遅く十二月であつた。日本楽壇の天才児は彼の地の声楽の権威ナルド・ダーヴキンチ氏の指導を受け歌劇的の表現を会得し、コロラチユア・ソプラノのスカラ座の主役歌手であるボロニヤ大学の音楽教師氏の許可を得て、ミラノへ、イタリー歌劇の殿堂スカラ座の主役歌手であり、遂には日本人として、スカラ座の巡業に主役歌手として至るところその名声を謳はれた。彼女は一躍世界の楽壇に進出したのも珍しからう程度の音楽行脚から帰朝したトシコ・セキヤが一九三〇年の放送界を騒がす誉のシーズンも近い

運動の女王 人見絹枝孃

一九二六年、ゴーテンブルグで開かれた万国女子オリムピック大会の或る日。一走市闘競技に無名の一日本女性が五米五を美事に跳んで一等を勝ち得た、場内の一角にスルスルと日章旗が揚げられ、君が代があだかも日本の栄誉をものがたるもののやうに奏せられた。うら若いその日本選手はたゞ一人の同胞日本人と唯の一隅に相擁して感激にむせび泣く劇的シーンが人々の胸を強く打つた。この女性こそ誰あらう日本のスポーツを歌め世界的に躍進せしめた人見絹枝その人であつた。この大会にただ一人日本代表として万里遠征した彼女は、快闘よく十点を獲得して世界に名をはせた。彼女は一九二八年オランダの第九回国際オリムピック大会にも出場して八百で二着となり一躍五点をせしめいよく世界的女流運動家としての地歩を確保した。日本女性にしてかくもはつきりと世界にその名を印象せしめたものも又少い。彼女は岡山の産テニスからフイルドに移りその確班追からトラックの選手として飛躍を遂げるに至つた女性でまだ結婚の話もないからまだまだ好記録を作るであらう

雄辯を賣る 鶴見祐輔君

鶴見祐輔の名は今や世界的である。彼が世界的新人であるゆゑんは、あながち彼が親友であるところのウヰルソンや、ゴンパースやさてはウエルスの名からつし来たらずとも、余りにも有名である。彼は故後藤新平伯の女婿でなかつたにしろ、その鋭利なる才気は、よく世界的新人としての今日の盛名をかち得たに相違ない。それほど彼は一高時代から『才の人』『雄弁の人』として『ウエルスを憶ふ』たり『ウヰルソンの生涯』を感激したりして健筆を振ひかしてゐた。彼はしばしば外国に渡つて新知識を仕入れて踊る。そしてあちこちに招かれては『ウヰルソンは』と演説をする。また小説も書けば論評もものし、流行ものゝ座談会にも一役承はる人気者である。日本の代議士ユウスケ・ツルミの雄弁なら、本場のアメリカでも重に用ゐ難手があるといふ彼。恵まれ、昭和五年の世界的新人に推挙して誰しも異議を唱へぬところであらう

解金を踊る 津島壽一君

浜口内閣の金解禁で一躍世界の財界にその名をうたはれたのは、大蔵省の英米財務官津島壽一君である。彼は三十そこその若さで理財局の国庫課長となつた新大蔵省切つての逸物である。彼は昭和二年、抜擢されて財務官となり英米へ使して為替相場の引上げに英米財界に試た巧妙なデモンストレーションは、彼の銀行家連に舌を巻かしたものだといふ。今度彼が日本の金解禁準備のため、ニユーヨークに着いてから一億円のクレヂット成立までの活躍振は、まさに超人的の早業で、彼の財界は勿論日本の財界にとつて、解禁断行成功の大恩人であつたことは誰しもが認める所であらう。英米財界からその敏腕を認められ、日本にあつては未来の大蔵大臣として秘蔵を嘱望されてゐる津島壽一君も世界的新人の一人である

右上より、關屋敏子、鶴見祐輔、中は、藤田嗣治、左上より、人見絹枝、津島壽一の諸氏

夜の林檎

中塚一碧樓

朝や鶏や門松をたてし家の窓
君が門前箱の白きもゝの内
正月一夜林檎はまろし林檎つめたし
門松日南となり日かげとなりけふの日
正月夜々の人々よ夜々の埋火
地よ明けの春小川の流れ
正月一つの燭一つの壺ありて
羽子をつきをさめ並べ小草の舟
羽子板をかざれ神のなかが夕べの子
たち
宵の湯でもこゝ坂町の家の内

一口噺『緊縮』(本社朝鮮局選)

一等

京城錦町二ノ一八一　石井光德

府介石『オイ参謀長！こんなに軍費がかゝんでは困る。もつと緊縮の方法はないか』参謀長聲を落して『閣下、買収より他に方がないのであります』

二等

忠北清州、清州館内　山田勘三郎

愛國の士路傍演説に叫んで曰く『國家總動員緊縮の秋家は明露を避くるを以て足り粗食に甘んずる者こそ眞の帝國々民であります』
乞食満足氣に『ヒヤく』

三等

朝鮮京城府漢江通十三番地　昭和商事株式會社内　白井玲子

或る賀状に『今年は、緊縮の春につき、年賀の挨拶も飲禮仕候』

選外佳作

○

總督府警察官講習所　田村 雄一

大官の息『緊縮とはお母さんがこつそりお芝居に行くことだよ』
馘首者の倅『違ふよお父さんが首い顔して毎日お家に居ることだい』

○

長谷川町六七丁子屋内　森田唐麿

『緊縮くて八釜しいから俺も煙草をやめたよ』
『あらそうでは妾の帶一本位は買へるでせう』

○

大田春日町川島方　秋芳 三

メンタルテストの時試驗官『緊縮とは何ぞや卑近の例を舉げよ』受驗者しばらく躊躇した後『かくの如き試験をする人を省く事であります』

○

(東京)　草 加

官傳家『國家存亡の秋です、大いに緊縮致しませう』
モガ『だから妾スカートを膝までに短かくしたのだわ』

○

京城府漢江通り十三番地　二木 一政

妻『貴郎今度こそは必ず昇給するとおつしやい ましたが 如何でしたの』
昇給洩れの夫『緊縮で誰れも昇つたものはないよ』

○

忠清南道瑞山郡海美面　奥松古櫻子

動物園に行つた茶目坊側にねてゐるライオンを見て
茶目『ヤアー、こゝに緊縮の親玉がゐらあ』

○

鎮南浦大倉町　元木 倉人

中年の妻『緊縮は先づ第一にあなたの晩酌の盃から始めませう』
夫一寸皮肉に『うんそれから第二にはお前の白粉代かね？……』

○

京城光熙町一丁目十六　松田 武吉

先生『昔々に緊縮があつて桃太郎の吉備團子を削減したとすればどうなりますか』
生徒『猿雉子犬もお供しないし鬼退治も出来ません』

○

大田本町一　西田 郁直

退職間際にストーブを庭赤にたいて居る小使を見た
官吏『緊縮で今日勿體ないな』
小使『緊縮だから家であたる分を役所で暖まつて居るんだよ』

恭賀新年

釜山富平町　阿部本店　阿部彥治

釜山大廳町　手島曹達石鹼工場　電話一八三番

釜山大倉町　肥料雜穀農具　豐田福太郎商店　電話長七番

釜山　長谷部豊三　黑田 馨

釜山南濱町　大島芳輔

釜山辨天町　酒類鑵詰　栗山商店

釜山南濱町　御料理　觀湖閣　電話三三三番

釜山大倉町　朝鮮興業株式會社　釜山支店

釜山本町三　合資會社　萩野商店　電話長參〇番　支店 京城太平通二丁目

釜山鐵道病院

釜山鎭　釜山鎭埋築株式會社

釜山南濱　御料理　美都巴　電話七九六番・一八八〇番

釜山府綠町　貸座敷營業組合

釜山驛前　荒井旅館　東萊溫泉場　荒井旅館支店

釜山　追間保太郎

釜山倉友會　朝鮮興業株式會社倉庫部　釜山共同倉庫株式會社　大池商店倉庫部　朝鮮商業銀行倉庫部

釜山府大倉町三丁目　日本紙業株式會社　釜山出張所

釜山府大倉町一丁目　光本回漕店　電話一五六一番 三六四番

釜山　釜山陶磁器商組合

釜山府辨天町二丁目　株式會社　丁子屋洋服店　電話三六番　振替口座釜山三六番

釜山榮町二ノ三一　材木 セメント商　村井綱藏

釜山　釜山米穀證券信託株式會社

釜山本驛前　教育掛圖 理化器械 樂器運動具 書籍文具　三宅琢造商店　電話一一七〇番

釜山水產株式會社

釜山府大倉町貳丁目　銅鐵商　英友次郎商店　電話長四六一番 六三二番

釜山府辨天町壹丁目參拾番地　釜山信託株式會社

醇良清酒　『釜山酒』　釀造元　釜山酒造組合

釜山海運業組合　朝鮮郵船株式會社釜山支店　朝鮮汽船株式會社　大阪商船株式會社釜山支店　株式會社大池回漕店　內國通運株式會社釜山支店　株式會社釜山商船組　國際運輸株式會社釜山支店　株式會社澤山兄弟商會

賀正　慶尚南道　金融組合聯合會　同金融組合

慶尚南道廳　食堂員一同

釜山商業會議所　會頭　香椎源太郎

一九三〇年の序曲

林房雄

一

『……さうです。――あたしは人を信ずることの出來ない病氣にかゝつてゐるのです。……あなたは、あたしのこの病氣をなほして下さるでせうか？あたし、病氣をなほすために、お仕事のすみ次第、出來るだけ早く東京に歸つて下さるでせうか？……』

さういふ返行をふくんだ鱧子からの手紙を、浩は、滿洲の寒の中でうけとつた。

讀み方によつては、明かな戀文である。そしてたとへ戀文でなかつたとしても、明かな暗示と誘にみちたこの女文字のためには、彼としても、無理にも時間をさいて、熱情をこめた返事を書いて見たかつた。

しかし――彼は、いそがしかつた。私的な手紙に、情緒をもつて答へるだけのひまがなかつた。――驛前未明に、山を越えて、一行は出發しなければならなかつた

二

絹鼠の壁い、硝子の粉のやうにこまかな雪が、落葉松の梢をすべつて、行く手の道の上に、蹄いさゝやきに似た響をたてる。掘の裂け目に、逆さに生えてゐる氷柱の齒並が、ようやく明けはなれた朝の空氣の中で、神話のやうに白くそして青い。……道の上の風は死んでゐたが、右手に見下す深い谷間は、山の烈風に荒されてゐるらしく、黑い雲の群が、杉と落葉松の梢を翳ませ、絶えずに千切れて渦をまいてゐるのが見えた。

『おゝい……』

五人の旅裝は疲れてゐた。際限を出て二週ばかりの間は、まだ眼や頭に欲が絶えなかつたが、鐵と熊岳城の間の平坦な路がつきて猫、くぬぎ、栗、大葉、さわら、落葉松、百日紅などの原始林を縫ひ、つゞら折れの坂にかゝると、黑い綿糖のやうにだまりこんでしまつた。……眞つ白な雪の絨氈に、だらしなく間をおいた五つの黑點の歩みが、のろのろと動いた。

『おゝい……頂上はまだかあア』

『まだだぞオう……』

五つの黑點の尻つぽから二つ目に、彼は危くひつかゝつてゐた。先頭にゐるのは、元の滿鐵の商業内役で、N村農民組合支部から、國の事務に、ネルの事務をはいて、昨夜、町まで一行をむかへに來た少年であつた。しんがりをつとめてゐるのは、たいして疲れてもゐないくせに、のろのろと背中をまげて、しつきりなしに立ちどまつては『またかあ……』と道化た聲をあげる、元紡糸工のひよつきんな同志であつた。

『みなさん、聞いて下さい。……私のゐた工場の女工さんたちの子宮は、みんないひあはせたやうにまがつてゐるのですぞ。……』

――彼はそんな調子の演説をする男であつた。聽衆はどつと笑ふ。笑ひの鎭まるのを待つて、彼はおもむろに切り出すのであつた。

『……みなさんは笑ひました。だが、これは決して笑ひごとではないのです。……長い長い勞働時間、徹夜業、人間のたへるものとは思はれぬひどい食物から來る營養不良、お話にならぬ衛生の惡さ――それが原因なのです。そのために女工さんはみな不姙症になるのであります。女の命であり、家の寶である子供を生む力がなくなるのであります。しかもみなさん、その不姙症になる女工さんはいつたい誰の子か。――小作人の、みなさん自身の娘であり、姉であり、妹ではないか。現にこの村からも二十何人といふ女工さんが町に出てゐる……』

今日も彼は、別につかれてもゐないのに、歌のひようひよう浮細な足どりで、敢て行列の殿をつとめてゐるのであつた。

だが、尻つぽから二番目に危く、ひつかゝつてゐる浩の方は、全くしんからつかれてゐた。一足ごとに心臟が口からとびだすかと思はれる絶え絶えな息遣ひであつた。けれどもなまじひに醫者をはかうものなら。

『やつぱりためだなあ、知識階級は――』

と、どしんとやられる。相手はむろん輕い冗談のつもりで言はないのだが、それが浩にはいばらのむちのやうにぴしりとくる。祖父がお能縣の功臣で、父が有名な銀行家で……その子の彼が大學を中途から飛び出して左翼の運動にはいつてゐる。浩には自身が間諜にされることが、生殺しをはられるやうにつらいのであつた。

だからのんきな紡糸工が、敢て殿をつとめてくれるのを心で感謝しながら鼻先にこほりつく露片を卻けんにはらひのけ、ちようどガソリンのきれかけたやぶれ自動車のやうな、がた／＼なあゆみぶりなのであつた……あたりは、銀と綠の明るい光――雪中登山とでもしやれて形容したい景色なのだが……

坂の頂上から、ネルの着物を着た小學生の一隊が、人形のやうに眺ばかりつぽり、かりだした學校の小學生の一隊がまるでせすべり臺にのつかつてゐるかのやうにはしやぎながら、雪を散らして驅けおりて來た。すれちがふ瞬間に、その一人一人が

『お早う――』

『お早う――』

『おはようッ――』

最後の『お早よう』を追くよびとめて、浩はたづねた。

『頂上はまだ遠いかね。』

『まだ半里はありますにな。』

げつそりした。思はず膝が崩れて雪の中にぺたりと坐る。――その時、助け船が殿から來た。

『おゝい、二十分休憩だ。さあみな休んだ、休んだ――』

――腰が埋まり、足がうまる……雪に坐つて雪の深いのに驚いた浩は父の家の豪奢な應接間にあるルイ十四世風の大椅子を思ひ出した。

あの椅子に――あのソファに、鱧子をうづめて……さうだ。去年のクリスマス前夜には鱧子と一しよに、チャイコフスキーの『モスコーの思ひ出』を、『三頭立てのそり』を、そして『一八一二年の序曲』を聞いた。華麗なフランスの曲調と素朴なスラヴのメロディとの苦痛に滿ちた戰ひが勇敢なコサツクの歌の爆發する勝利で終る、あの古典的な管絃樂を……

ストーブが赤々と燃えて、飾り硝子の窓の外は、まつ白な雪であつた。……さうだ、まつ白な雪の色……そして、眞つ白な鱧子の肌だつた。……

三

鱧子の父は貴族で、そして外交官であつた。鱧子は、父の身分と職能の特徴を正確に繼承した近代娘であつた。ロココ風の貴族的趣味への好みと、外交官式に放埒で怜悧な感覺と……それが彼女の中に貴族的ニヒリズムの透明な毒汁を流しこんだ。二十歳をこえたばかりのこの娘は、もう大人であつた。彼女は『人を信ずることの出來ない病氣』と公言するところまで來てゐる。

浩と鱧子との交渉は、長くそして淺かつた。ルイ十四世風のディヴァンの上で、疾走する自動車の中で、切の暗い酒場の隅で、朝醒の光る踊り場の床の上で、浪を見晴らすホテルのテラスで……戀愛のみがあつて、結婚のない、結果のみがあつて現在のない、現在のみがあつて未來のない、賑やかではあるが退屈な生活の中で、浩も鱧子と同じ病氣に陷くかゝるところであつた。信念のない、意志のない遊戲的な退屈派の鬼！

しかし、浩の中には、闘ひの血、組織家であつた祖父の血が生きてゐた。近代組織の尖端を行く銀行家である父の勢力がうけつがれてゐた。そして、友達がよかつた。彼の大學に知識を高揚にすることを欲しない、古い一切の組織に反抗することを欲しない學生が醱醒してゐた。そのおかげで浩は危くふみとゞまることが出來た。

浩は父の家を捨てた。學校を捨てた。そして鱧子との交渉を捨てた。

鱧子は笑つた。

『良心的な坊つちやん。――あなたはすぐに歸つて來る。ルイ十四世のディヴァンの上に。……戀の外の空氣は、あなたには荒すぎる』

外の空氣は、果して荒かつた。そして冷たかつた。しかし、浩は敢てそれに堪へた。鱧子のもとへは歸らなかつた。

そして一年が過ぎた。――浩は今、つかれて雪の上に坐つてゐる。あたりは寒い。心がこゞえる。浩はなかしの暖かいストーヴのそばに歸るべきであらうか。外套のポケットには、鱧子からの誘ひの手紙がはいつてゐる。それに返事を書くべきであらうか？……

『さあ、行かう。もう二十分で頂上だ？』

紡糸工が、勢ひのいゝ聲を出して立ちあがつた。

『よし行かう』

はた／＼と膝の雪をはらつて、浩も立ちあがつた。

小學生の一隊がまた驅けおりて來た。

『お早よう？』

『お早よう？』

『おはようッ？』

四

峠をこえた。二三丁くだると、谷の底に、雪をかむつて、トタンぶきの製材工場があつた。

コン、コロン、カロン、カロン、コン……平野と村を見下す峠の上で、眞つ黑な機械が、谷間をとりひゞかせてまわつてゐる。川と畑と村々の屋根と、雪と雪の上を遠く越えて、ケーブルカーの架線が空中にのびてゐる。それを動かす機械の朗らかな響だ。

ケーブルとは逆の方向に五里の山奥にまでのびてゐる。木材搬出し用のトロッコの線が、商殿の製材所は、その軌道のはづれにある。時間に間に合ふためには是非この軌道を利用しなければならない。

『ケーブルがまわつてゐる以上は軌道も動くにちがひない。しめた――』

紡糸工は、さうひとりごとをいひながら、工場の隅を硝子戸で仕切つた事務室の中に『ごめんなさい』とは云つて行つた。

事務所の中には、炭火が山のやうにもえてゐた。どこか北の民家にでもありさうな暖かい爐の氷柱の見える小部屋であつた。土間の炭火が嬉しくて、一行はどやどやとに歸いた。

『今日は――』

『やあ、おはいりなさい。』たつた一人、炭火のそばにぽつんとしてゐた、ひげの赤い、ずんぐりした男が、人なつこくふりかへつた。

『演說ですか。ご苦勞ですな。』

紡糸工がいつた。『軌道は動くでせうね。』

『さあ、それが……』と、男は氣の毒さうに眉をよせて『線路の上を二寸越せば、もう動きませんね。日くれまでには、三寸を越しますよ。この勞ひでは――』

峠を下るときから氣に勞ひを增した雪が、窓の外を斜に舞つてゐる。

『あるくか、五里を……雪の遠距水をふんで……』

事務の少年が元氣のいゝ聲を出した。

『なに、あるかなくても、みなで交る／＼押すつもりなら、行けないことはないでせうがね。』

と、事務所の男がいつた。

『だが、へまをやつて、崖ん上からおつこちたら、それきりだぜ。昨日の新聞を見たかい。山の向ふで、二人も凍死してゐるぜ。』

と、一人が弱い音をはいた。

『どうだい、君あるけるかい。』

紡糸工が浩をふりかへつた。

『あるける――』斷乎とした聲で浩は答へた。

『それにあるけなくとも今夜の會にはおくれてはならぬ。五百人の聽衆が諸君が雪の中で演說を待つてゐるのだ。行かう！』

嘘、ない氣持でゐつた。――あるける。あるけなくともあるいて見せる。』

『よし、行かう、君が歩けて、われ／＼が歩けぬはずはない。……じや、相すみませんが、トロを借して下さい。行くところまで行つて見ますから』

事務所の男は、うなづいて扉の外に出ていつた。浩もあとに續いた。

はげしい雪の勢ひであつた。眞白だ。土も空も雪の色も……。これはチャイコフスキーの音樂の色だ。『一八一二年の序曲』に出て來るモスコー郊外の大平原の色だ。

コン、コロン、カロン、カロン、コン……機械の音。これはあの序曲に出て來る鐘の音だ。敗走するフランス軍を追ふスラブ人の鐘の音だ。

小屋の中から、確實のトロッコが一臺ひきだされて來た。

『よし、僕がこいつを後押しに押てやる』

手袋をさぐつて、ふと入れたポケット。浩の手に桃いろの封筒がさわつた。――鱧子の手紙だ。……小さく破つて地に捨てた。眞白な雪の上の、ほのかな紅。見る見る雪に埋つてうすれてゆく……

浩は耳の底に響發する鐘の音を聞いた。

『一九三〇年の序曲』の鐘鳴るコサツクの歌を。（をはり）

ゆびたりな

河東碧梧桐

溫泉びたりな居酒は雜煮は湯の神の削り花と
城下まで荷馬鈴ずれ溫泉の香にいばゆ
流れにと瞰く臥龍枝が松にもたれての旅
國栖むや柑子は松にもたれてかゝる
異猫寺へ通ふのしだり枝の雪晴れ松が
濃椀をとる手のこぼるゝ酒の味ヲが出るで
梅酒を盛けるが神の二タ蝋
もぎ盛る蜜柑島の乙女は凪ぎの日を迴る
一月卅おろしの旗を一ト雪ぎ南うけ
貝殼捨てに出る瞬でも苫間の流れ

新春――小林萬吾畫伯筆

新年曙色

太田水穗

ほがらほがら明け放れゆく大空のいづくより來る年にあるらむ
年はいま立ちかへるらむわだつみの波の穗ちかく日はいでにけり
大君をあやにかしこみ天地の年のはじめにことほぎまつる
谷ぐくのさわたるきはみ大君のしらすさかひに年はきに鳬
みはるかす四方の國原けなりたち 大君の み代の年ゆたかなり
松焚くとつどへる里の子どもらのうたへる唄はおかしかりけり
いたいけの片手かざして笑める子のいくつになりし年にかあるらむ

釜山大廳町 倉橋定藏

釜山大倉町 朝鮮勸農商會

釜山大倉町 合名會社 和田商店 和田周太郎 電話長五四二番

釜山刑務所 不動藤太郎

賀正

釜山府大廳町三 小佐助一郎

釜山本町一 寫眞機材料商 岩瀨寫眞機店

釜山 清酒販賣 田熊商店 釜山支店

釜山 日活映畫 寶來館 マキノキネマ朝鮮配給所

幸館

松竹共營 相生館 松竹キネマ朝鮮配給所

釜山幸町二 各國鐵材 土木建築材料 工業用品各種 角野商店 電話二三三番 振替釜山二三三番

釜山大倉町三丁目 山口蒲鉾店 山口荒十郎 電話三五四番

釜山大倉町三 朝鮮土産 津村兄弟商會

釜山大倉町 棧橋食堂 岡村商店 電話一五五六番

釜山榮町 トバタ發動機發賣元 合資會社 弘中商會 電話長九三九番 一九〇二番

釜山牧之島 西條鐵工所

西條利八

忠清南道公州 面會議員（イロハ順）
外山喜右衛門
李範珪
岡田豐次郎
中畑彌一
野崎朝吉
草田市三郎
藤澤英夫
權益采
金甲淳
水谷辰利
宮本善吉
徐範淳

朝鮮忠南公州本町 才木齒科醫院

忠清南道公州本町 銃砲火藥、自轉車商 瀧川商會公州支店

忠南公州市場前 食料雜貨商 藤澤榮支店 電話一一番

忠清南道公州本町 會席料理 角屋 電話六五番

忠南公州旭町道廳前 洋紙和紙印刷文房具商 藤澤本店 電話五二番

忠清南道公立師範學校 職員一同

忠清南道公州京町 小林增太郎

道評議員 金相弼 長城驛前 電話二八番

公州刑務所 職員一同

忠南公州公立高等女學校 土屋善市

忠南公州錦町 公州電氣株式會社

忠南公州旭町 平田印刷所 電話三六番

公州公立尋常高等小學校 職員一同

忠南公州本町 草田吳服店 電話一〇七番

忠清南道公州橋角 吉田藥局 電話二三三番

忠南公州郵便局前 清酒富乃泉 高橋酒店 電話六三番

帝國在鄉軍人會公州分會
分會長 富久尾湊
副會長 雨宮忠正
理事 杉野治吉
理事 鈴々木虎太郎
理事 三谷實克
監事 平田正亮
監事 藤澤榮

長城郡學校長一同

長城郡廳 各產業團體

長城驛前 秋山醫院 公醫岡山醫學士 秋山實 電話三五番

ニューヨークスタンダード石油會社 公州代理店 杉岡延輔 杉岡武七

公州公立普通學校 職員一同

忠清南道公州 公州公立高等普通學校 職員一同

忠清南道道立公州醫院 職員一同

忠清南道公州郡 郡守 高山聰郎 職員一同

忠清南道警察 職員一同

忠清南道廳內 食堂員

長城驛前 金山醫院 貧患救濟部 電話六五番

忠南公州本町 河野旅館 電話五〇番

忠南公州旭町 會席御料理 喜久屋 電話一二四番

長城驛前 徳川農場 長城出張所

賀正

黄州金融組合 理事 加藤勝藏

黄州面長 尹景赫

黄州邑 志賀農園 志賀恒彦 電話三番

黄州 西田果樹園 西田源吉 電話九五番

黄州 福見亭 美家古旅館 電話四七番

黄州驛前 山本果樹園 電話五四番

黄州 猪野果樹園 電話一七番

黄州公立尋常高等小學校長 福田基一

黒橋驛長 松田傳一

黄州 村上活版所 電話六五番

黄州 中井作太郎商店 電話七番

黄州 雜貨商 梶本商店 梶本果樹園 電話一九番

兼二浦 堺屋金物店 中野三郎 電話一〇番

兼二浦明治町 和洋雜貨 山田商店 電話二八番

朝鮮黄海道兼二浦 土岐商店 自動車營業部 兼二浦、黄州、五花浦、新幕 電話一六〇番 振替京城一六〇〇番

黄海黄州驛前 山口運送店 電話九番

兼二浦本町 松屋酒店 電話五一番

兼二浦本町 兼二浦印刷所 電話一一八番

兼二浦 松林面長 方益燦

兼二浦 金大精米所 金斗獻 電話一〇九番

兼二浦 井原菓子店 電話二十三番

兼二浦 市川商店 電話二五番

朝鮮兼二浦本町 雜穀 肥料 諸雜貨 小上馬商店 電話長五八番 振替口座京城八〇八七番

兼二浦 萬穀物 食料品 尾上商店 電話十一番 振替京城一五五四五番

兼二浦明治町 越智呉服店 電話一〇二番

兼二浦公立普通學校 職員一同

兼二浦 天眞醫院 電話四六番

兼二浦 千葉寫眞館 千葉美兵

朝鮮總督府登錄 賣藥 化學工業藥品 黒野活仁堂藥房 兼二浦本町角 電話三六番 振替口座京城七二三五番

兼二浦明治町 新聞雜誌 山口支店

兼二浦面長 渡邊國治

兼二浦警察署長 谷村李治郎

花瓶 火鉢 灰皿 植木鉢 名所風俗 陶器製造販賣 兼二浦本町 樂浪製陶所 村田喜三郎

兼二浦金融組合 組合長 石橋正光 理事 藤井實

兼二浦郵便局 局員一同

兼二浦本町 材木 米穀 石炭 水落商店 電話四一番

兼二浦公立尋常高等小學校長 横山徳一 外職員一同

兼二浦 森醫院 電話九番

兼二浦明治町 和洋酒類 食料品 諸雜貨 大和屋商店 電話五二番 振替京城一〇二〇四番

朝鮮兼二浦本町 醬油醸造 宮野醸造場 電話一〇四番 振替京城一一九〇八番 誠鶴特約店

兼二浦明治町 兼二浦屠獸場 場主 姜貞淳 電話六八番 振替京城九一八四番

兼二浦明治町 三星商會 田部健次 電話六八番

西鮮電氣株式會社 黄州營業所

京義線黒橋 森農場 森農場果樹部

朝鮮黄海道黄州 合資會社 黄州果樹園 代表者 穗坂秀一 振替口座京城一四九〇一番 事業部所在地 京義線黄州 京義線沙里院 京義線瑞興 京義線南川

朝鮮興業株式會社 黄州支店 電話十六番

黄州果實合資會社 振替京城一一三一九番 電話四八番

黄州郡廳職員一同

朝鮮兼二浦 土木建築請負 岡組出張所 電話四二番

黄州 公醫 李東熙 電話三七番

黄州 黄海自動車部 趙鼎鐸 電話二五番

黄海黄州面長 野中勝三郎

兼二浦貸座敷組合

平安南道立平壤慈惠醫院 鎭南浦分院

鎭南浦 福井瀞

鎭南浦 河村國助

鎭南浦遞友會

鎭南浦三和町 合資會社 青木組

鎭南浦三和町 鎭南浦無盡株式會社

鎭南浦 内地人貸座敷組合

鎭南浦 大和組 丸五運送店 國際通運出張所 朝日組 (合)運送店

鎭南浦警察署長 冲徳五郎

鎭南浦倉庫株式會社

鎭南浦土木建築協會

鎭南浦産業組合

鎭南浦 藤本醸造所 柳原醸造所

日本鑛業株式會社 鎭南浦製錬所

滿洲製粉株式會社 鎭南浦工場長 鈴木孝太郎

鎭南浦 平和商會 劉泰豹

鎭南浦 三成精米所 李鍾燮

鎭南浦公立學校 職員一同

鎭南浦 鎭南浦電氣株式會社

鎭南浦果實株式會社

鎭南浦 土曜會

鎭南浦府廳員一同

鎭南浦 西崎鶴太郎

鎭南浦 朝鮮商工株式會社

資本金五百萬圓
日本共立火災保險株式會社
取締役會長 原錦吾
本社 東京市京橋區南鍋町二ノ六
京城出張所 京城府本町三丁目三九番地 (電本局二五六八)
出張所長 三鍋才次郎
鮮内代理店所在地 京城、仁川、水原、清州、忠州、公州、大田、江景、全州、裡里、群山、光州、木浦、麗水、大邱、慶州、浦項、金泉、馬山、晋州、釜山、海州、鎭南浦、新義州、平壤、元山、咸興、清津、會寧

電氣工事請負、電燈照明裝飾器具
電話工事請負、電氣器材料販賣
越田電氣商會
京城府本町一丁目四八 電話本局二四三〇番 振替京城六五六七番

京城日報
其五

御慶事も間近かに
春、お迎への喜久子姫様

吉村千鶴子【謹記】

國民ひとしく御待ち申上げてゐる高松宮殿下と徳川喜久子姫の晴れの御婚儀はいよ／＼梅花かほる二月中の佳き日を選ばれ、宮中賢所でいとおごそかに行はせられる　この晴れの日を前に、喜久子姫が御幼少の時から家庭教師として親く御教育申上げた元女子學習院教授吉村千鶴子女史に御心に映じた姫の御近況や、そのうるはしい御性格をお傳へすることは本社の最も光榮とする所であります。

ほがらかな聖代の恩光を浴びて世の中のものすべてが生氣に輝き治まる御代の惠みと皇室の御榮光とを頌ぐかとも申はれます。やがて海の宮高松宮の妃殿下として仰ぎまつるべき御慶事も、あと二ケ月にせまりました。徳川喜久子姫の御近況こそは、何人もがおききしたい事でございませう。その希望に滿ちた年のはじめに當り、その輝かしい御前途を祝福し、姫が最近の御日常のことゞもを御話して、御高徳の一端をしのびまつるも、又意義ある事と考へられます。

御日常と御學習

御婚約後の喜久子姫は、常盤木の色も深き小石川區第六天町の徳川公爵家に、御名殘り惜しき朝夕を御母君實枝子の方および御弟妹と御睦しく御過しになり、寸暇もあらせられぬ御多忙の中にも、澄んだ御心境は益々研く光つてひたすら妃殿下としての御修養にいそしんで居られます。即ち御學問には、その道々の博士達をお招きになり、國史特に「國民性」と奥義は三上参次博士に「漢文學」特に「有職故實」は關根正直博士に、「和歌及書方面」は鹽谷温博士に、「國歌」は御歌所寄人千葉胤明氏に「英文學」と「語學」は英人ボサンケット氏に指導を御受けになつてをられます。また御家庭としての御準備のために「倫理教育學」特に「母性」について下田次郎博士に、更に「兒童心理學」は高島平三郎博士について御熱心に御習得遊ばされてをられます。姫にはまた家庭の平和人生の幸福の根本をなすものは、何よりもまづ身體の健康であることゝつとに御承知なされ、衞生には別して深い御注意を拂はれ、もとより醫師の進言は一々心よく御採用になり常に心身を爽快に保つことに御心がけ遊ばされ、をられます。御母堂實枝子の方の御指圖により御邸内にテニスコート、弓術をお造りになり、熱心な御練習を缺かさずつゞけてをられます。弓技は既に一段位殊に腕前の大家が感服して御師範申上げてをります。御幼年時代には薙刀を勝部女史に學ばれた事なども今から思ひ合せますと、如何に徳川家が姫の御健育に厚い御注意を以てせられたかゞ分ります。さういふことの爲もあり、なほまた御年頃でもあるからでせうか、近頃めきめきと目に見えて御壯健に成らせられ、御釣合のよい御風采から御血色、御肉附まで、誠に申分なき御立派な體格の持ち主となられました、それで姫は常にいきいきとお無邪氣で、お元氣が旺盛であられます。この御様子を拜しますとたゞたゞ嬉し淚がこぼれるのでございます。しかしこれはあながち私情からばかりではございません。この昭和盛世の日本國民として萬人同樣の大慶と思ひます。

前に述べた外に、お茶の湯は千家宗匠に、ピアノはちつゞき福富女史につかれ、箏曲は山田流をお稽古、近くは能の謡曲もおはじめの御様子、時々お好みでミシン裁縫も遊ばし折々には子供服、下着類、ハッシヨンなど種々のものをお作りになります。誠に行くところとして可ならざるなき御器用のほとも察せられますがこれは御器用と申上げて濟ます所ではない、深く根ざしたところのあるのが伺はれます。また外國の家庭の實際、生活の狀態などについても、人をお招きになつてお聽きになられますが、なほ當時代に殊ついて、御見學、御旅行なども遊ばされます。昨年四月には關西御旅行、續いて奈良正倉院その他趣味ある所に御母君に伴はれて御出ましになられ、社會事業のことに御見聞を廣められることに努めてをられます。

特に昨夏御津君姉の御匿山の白虎隊の塚に詣でられ、イタリーから寄贈の記念碑を御覽になりました。これは、高松宮殿下お日伊御親善の宮の御意味で寄贈式に臨御遊ばされたもので、歐米御巡遊の砌イタリーに首相ムッソリーニ氏御訪問の時は、妃殿下として背の君とよき御想ひ出とならせられませう。

これ等は姫が特に我國體を瞭んじられる一方、我皇祖皇宗の大御心をわきまへ、御列聖の御徳に深く御感激遊ばされ、他方には我國民道徳の淳朴美風を愛せられ、博愛仁慈の御徳の御かん養など姫としての智をみがき、徳を養はれる國母で、實に國民と共に仰ぐも勿體ない次第でございます。

今は學生時代ほどの御自由は持たせられませんが、それでも絶えず世の進歩に遅れないやう御自身で御注意になりますので、お國のものどもは御指導申上げますのにも常に心強いかたぢけない感じに打たれております。實に有難い御心底で入らせられると申さねばなりませぬ。これを思へば世の少女達は姫にお學びする所があつて然るべきことゝ存じます。

御勅許後は從來にまして御謙格な御起居で、御母君は寸暇も姫のお傍を離れられず御監督の上、宮城、東御所、表町御殿から各宮様方は申すにおよばず、御親戚、御知己の方々との御交渉など、實に水も洩さぬ御有様はさすがとうなづかれます。誠に尊い事でございます。かく遊ばされてこそ雲上の御生活も御懸念なく御出來遊ばすわけと申しますもの、それまでにされますための御母堂實枝子の方の御心遣は並大抵ではございますまい。時々御用掛、宮家の人々も見えまして、何くれと御慶事の御準備の御様子、誠に晴がましく輝かしい御事で、徳川家に奉仕する誰も彼も喜合のあるかたじけない事と、喜び勇んでをります。御調度品、御衣裳、和洋服共に、さすがは御母堂の御選びとて御質素の中にも高尚優雅御心の備つたもの許かりと拜承いたします。萬歲御調ひの節は拜見も叶へませうかと樂みにしてをります。

もう僅の日數で、雲の上へとお出でましになられるのを御祭り申上げる事かと存じますと、下々のものゝ常の心として、嬉しいやら、さびしいやら、萬感こもごもと申したい私の心の中、しかしお嬉しい姫様がお雲の上で今後よろづにおいそしみ遊ばします御様子を拜しますのはたゞ無上の喜びでなければなりません。ひそかに祈りまするは、その松の緑いよ／＼濃く、菊のかほりの更に高きを加へさせて御行末のいや榮に榮ませんことと、たゞこれだけでございます。

奥床しい姫の御趣味

姫は至つて御純眞、御直截の御性格におはし、しかも御快活で一面實に明るい快活な御氣象を持たせられ、何事にも御熱心で、書に歌に、繪に、行くとして可ならざるなきゆたかな御天分と相まつて萬事御會得がお早く、その御上達の速かなのには、御指導申上げて居る人々がしば／＼驚かされる程であります。御趣味としては、多く御直截な御氣質にふさはしい、日本的な方面を好ませられ、日本繪、茶の湯、琴などを愛しておのみなされ御召物に、御持物に、高雅な御心のひらめきがすべてに伺はれて奥床しい限りに存じられます。さりとて御洋裝がおきらひでもございません、調和とした上品なハイカラも時に遊ばしますが、これにも御趣味と御情操さが現れて、すぐれた御風采を拜し上げます。和歌の道はもとより母君が御熱心でゐらせられます上、故有栖川宮家には、書と和歌の御家柄に渡らせられ、徳川家またその道に勝れた方の多くゐられますことゝて、御幼少時から御講義遊ばされました姫がたゞ今は御母君ともども千葉胤明先生に師事してをられます。こゝにも御天分と御時習の彫かさを伺はれまして、御心境そのまゝの高雅な御品性の御詠歌を拜します。この點は御幾度の御遺傳もあることに相違なく、凡俗の私などの窺ひ得ない所かと存じます。

姫が折にふれ、時に當たつて御思ひを和歌によせられて御心をやられ、或は樂に、或は悲に、御感想を自由に御發表になりましたのはことごとく御佳作揃ひばかりでございます。昨夏紙島では百首をお詠みになりましたとか。數十首位は立どころにおよみになりますので今様紫式部などとおからかひ申上げることがございます。最近のお歌には一層御立派なものが數多おはしますでせうが、こゝに發表する自由を持ちませんのを遺憾に存じます。それで御勅許前のお歌で私の記憶して居る歌を一つ二つ掲げませう

東御所に參りける折いと美しう花のさけるを見て大宮様の歌よめと仰せられければ

おもひきや君の御前のみうたげに御園の花のさかり見んとは

大宮人を思ひ出でゝ

咲き匂ふ花のうたげに古の大和歌の道ならひて

しきしまの道ひろめんとのたまひし大御心ぞたふとかりける

白菊の花にも似た姫の潔くやさしい御心情は、臨處に玉となつてほとばしり、露となつてきらめいてゐるのが、これ等からも拜されませう。

姫もまた母君の御指導のもとに主として故有栖川宮威仁親王殿下御直筆の御手本で、お家流を學ばれてをられますが、近來ますます御上達遊ばされその御氣品に富んだ優雅にして剛健な見事な御筆致にはいつもながら感嘆のこゑをあげて拜します。

繪畫は學校でお學びになつたゞけですがこれとても眞に御天稟にわたらせられ殊に日本繪がお好みでなかんづく浮世繪大和繪等に深くお心を寄せられ現代人では上村松園女史の畫風を御賞讃になります。いたつてお手輕に畫布に向つて畫筆を揮はれますが原畫そのまゝが出來上りますのみか或時は御入格がお手傳ひして全く專門家とも見えるばかりのものを拜します。彼の有名な光明皇后や『謡曲に現れたる神話と傳說』の表紙、能畫などその一例でございまして昨年の發表で普く世に知られてをります。

> **年の春**　　塩谷鵜平
>
> 明くる年ほのと電燈の微音
>
> ことしも日の始め朗らかな日のはじめなりにけり
>
> こぞ、ことし詔書さまの船住ゐの灯
>
> 年の暮も正月もない製圖を猫背に背負てゐる
>
> たらちねの代をふる暦讀の一と包あつた
>
> はつ暗これを頂いてみないが昔の水
>
> 正月旅行の四五反、淡海がみえて城の茴
>
> 地べたの雪の日が透る軒下正月鶏
>
> 元日も朮車のひかる近所に住ゐ
>
> 正月ト日に雪除人夫が詰めこまれてたつ

吉村女史

御高徳の一端

姫が御仁慈御聰明に渡らせられるとは今更申すまでもありませんが、御勅許後の私の立場にもいたく御同情遊ばされ常に御情の籠つたおしほらしい、おやさしい思召を承ります。昨夏も紙島に上りましたが、これぞ限りの夏の御供と存じ、出來るだけお盡くししたき私の心願、姫も御諒とはお立場も忘りましたにも拘らず、殊にお情深く遊ばしてそれは／＼おしほらしい御様子が拜せられて、たゞもう嬉し淚にむせび、人様は何と申さうとも、眞にこの姫君の御爲には命も惜からじと、忠誠の念が湧いて參りました。これは私ばかりでなく、お仕へ申し上げて居る誰もの心持ちでございます。今も姫のお側に侍しました時は憂きも辛きも打忘れて、丁度春風に浴するやうな心地がいたします。最近の一例として御幼少の折からお仕へした老看護婦が病氣のために職を辭します時、姫は『忠實に働いてくれた人であるのに、病のため、この度の光榮に浴し得ないのは可哀相である、せめて自分の心持ちを十分に表してやつてほしい』と有難い思召に當人はもとより、一同はことごとく御仁慈に溢れさせた御人格に、御仁徳に感泣せぬものはありませんでした。都に發表されたことですが今度の朝鮮しい人を思ひやられた御歌や御日記の一節と思ひ合せてこゝにもその御高徳がしのばれます。

今御家庭では、専ら御母君に御孝養をつくされ、何時もあい／＼たる和氣のうちに御滿足して、その御心盡くしを感謝しておられます。御弟妹とも御むつまじく、御多忙の中から、よく御遊びの上何くれと御導き遊ばしたはりますので、姉い姫君達は、『お姉様からお茶を教へて頂きました』『お姉様とこんなお約束をいたしました。』などゝお喜びなされ、お姉様がと申上げますれば御從順でいらせられます。小公爵の時々の御遊戯の時も、心ゆくまで御快活に、御友愛の情が互ひに溢れております。

なほ姫が慎誼にお厚く、誠遜で平民的で入らせられます一例として御自分で御選定になつた玩具などをたまはり、子供を抱きはるさへあるに、御心入れの品、殊に子供を連て御機嫌に參趣の時は上げられて、おあやしくださる御やさしさに、母として親子の光榮を深く感謝し、うるはしい姫の御水室の跡は永く家寶とすると有がたがつてをります。

御臨地先生などでも身分高からぬ八の子供でもおそばに上がるものは心よくなで可愛がられ、お相手などして頂くことがございます。その子供の親達は『お前は仕合せものよ、光榮のものよ』と感泣いたしますのも尤もなことゝ存じます。

私が參邸してお居間に召されます時など、御自身椅子を進められ、お茶、お菓子とお手づからくださいまして、何くれと打解けたお物語りがございます。各方面の先生に對する御態度も御感心、御敬愛振りも、いづれ御立派なことゝ拜察されます。これらによつても姫が如何に御謙遜にゐらせらるゝかゞ分ります。

御卒業の時の御歌の中で

大いなるつとめをいかにはたすべきゆく末とほき人の世の中

花園

色きそふ草木の花をよそにしてつゝましく咲く花すみれかな

この二首の御歌には、直截の中に涙々しい御氣象も含まれて潔く、實に姫の御心懐は奥深くゐらせられさぐれども限りなく、汲めども盡きないものがございます。たゞ御天賦が然らしめたところで、かゝる高貴の御位に照ませられる自然に備はる御徳と仰ぐ外にございません。

宮への御心情

姫が海軍に御興味を持たれますのはもう前に述べました。かつて戰艦八雲が遠洋航海の航海日誌、等士官のものした八雲艦長出光大佐の盡力により、まとめて姫の御手許に思召されて、興に見る所高覽に供しましたところ、殊の外御嘉納あらせられ、殿下の御活躍、御勤務振など興味を持たせられ、以前にも増して、海軍に對する御理解を深められました。特に、有名な殿下の御作業、その他の殿下の御仁愛、御高徳の一端に深く御感銘遊ばされたとうけたまはります。……き日本の女性で、よし海軍々人の妃たらずとも、わが國は海國である事をわきまへ、遠くは忠勇義烈なる古の女性に學び、近くはこの姫の御あとにあやかりたてまつるべきであります。

昨夏八月十六日　殿下が日本郵船箱根丸で鎌倉海濱病院に御入院の御報があつた時の、鎌倉御別邸内における上下の驚愕は非常なもので、御母君實枝子の方は申上げるまでもなく、姫にも御心痛のほど、さこそと拜しながら、さすが御沈着に振舞はれて、靜かに御心持を神明に托せられなほ『かゝる時には狼狽してはならぬ。先生もそのお積りで。』などおやさしいお言葉に、御母君と共に御案じ申し上げました時はお心根のおしほらしさに泣かじとすれど、あひにくに落つる淚を禁じ得ませんでした。しかし私は、『決して狼狽つかまつりません。神のお末の殿下、必ず御快癒と信じあげます。姫にも御心痛遊ばされますな。』と御勵め申あげ夜おそくまでお相手をして、翌十七日早朝はいたしましたが、御心配の餘り、還際の別でも御様子も分らねば、御母君御同伴にて取敢ず御歸京遊ばされ、直に、東御所、高輪御殿などに御見舞遊ばされました。然るに、幸にも殿下には御心配申上げる迄にもなき御容態とのことで、翁島に御返すことの有難き御沙汰さへ御受け遊ばされた御様子、またお側の方も、再び御歸地のことを申上げましたが、『宮が御病氣で御入院中なるに、かばかりの避暑何ぞのことがあらう。』と仰せられて雄々しくもそのまゝ東京に止まられ、堪へがたい炎暑のうちに、平素の通りの御日常をお過ごしなされましたのには、皆々有難いことゝ感泣し、その御徳を稱へずにはをられませんでした。

その後、殿下には日ならず御全快、御手術しこれも御經過御良好で御退院、その後いよ／＼御健康に渡らせられます由承はりまして、御同慶の事に存じられます。この御入院中の御見舞にも御心をつくされ、御退院後は直に高輪御殿に御母君と親く御見舞あらせられましたこともすでに報ぜられてをります。

姫はまだ殿下が故有栖川宮家を御繼承遊ばされ、御至誠をもつて祭祀を司らせ給ひ、近くは『威仁親王行實』を御完成遊ばされるなど、その御心事を深く思召され御母君の御感激もあられます事として、御勅許後は宮の御心を心として隱道を守られ、殿下に御盡くし遊ばされたいとは、姫が日夜御熱望遊ばされてゐるところと拜察されます。

今や昭和の聖世に遭遇し、百事進展にあるし、この御慶事を拜しますことは畏れながら上は皇太后陛下の御滿悦、下は國民の歡喜、喜悦これにまさるものがございませうか。御同慶の至に存じられます。

以上は御勅許後ほんの姫の御日常と御高徳の一端を洩らしたに過ぎませんが、これによつて、現代の若き女性に際し、すべてを新たにする年の始めに當たり、少しでもお役に立つならば幸甚に存じます。

シーソー　麻生豐畫伯筆

賀正

慶北浦項本町　金物鐵工商　猪田英一　電話二〇一番

慶北浦項寺町　御料理仕出し　荒尾徳一郎　電話一四五番

慶北浦項大正町　醬油味噌　大内治郎　電話一〇五番

朝鮮慶北浦項港　海陸物産委託販賣　合資會社　金東商店　電話一七三番　振替下關九一五〇番

朝鮮慶北浦項　株式會社　大福回漕店　㊣陸送部　電話二五八番

浦項合同運輸株式會社　電話　本社一一六番　二六四番　二七〇番

慶北浦項南濱町　丸ホ運送株式會社　電話一三番

大興電氣株式會社　浦項支店　電話二六六番

慶北浦項仲町　食料品雜貨商　山崎永七　電話二六六番

浦項公立尋常高等小學校　職員一同

浦項公立普通學校　職員一同

慶尚北道水産會

浦項料理屋組合

慶尚北道水産試驗場　場員一同

慶北浦項　迎日水利組合　電話四四番

慶北浦項　迎日漁業組合　電話一〇二番

浦項面長　下村重英

殖産銀行松汀里派出所　倉品鐵夫　全南松汀里

全南殖産株式會社　宮脇丈八　金澤保之助　全南松汀里

松井芳之助　全南松汀里

全南松汀面新村里　吉田清三

金鳳金融組合　組合長　大塚與平　理事　有川八十治　全南松汀里

瀬戸醫院　全南松汀里

旭俱樂部　村上巖　全南松汀里

大嶽庄松　全南松汀里

海産物商　秋永明　全南松汀里

楠見組松汀里出張所　全南松汀里

全南松汀里　徳川農場　淺野保之

澄宮さまの御雄姿

御愛馬「吟月」にて障害物飛越え

朝鮮馬政の變遷

吉田雄次郎

吉田雄次郎氏

古代における朝鮮産馬の狀況は史の徴すべきものがないからこれを知る事は出來ないが、我紀元前四百六十二年殷の箕子が朝鮮に來た時、國民五千人を率ひ詩書禮樂醫巫陰陽卜筮その他百工技藝に至るまでことごとく伴ひ來つて、土民に禮儀田蠶、織作を教へたといはれて居るから

其時家畜も倶に移入

されたことは想像が出來る。然し支那の文化は頗る古く、いはゆる三皇五帝の創業的治平の後を承けたる三代はこれに反して武を用ひて國を成し馬匹の如きは最も重要な位置であつた。即ち殷の湯王が騎を乗り牧の野に紂を討つ時白馬に乗じたとか、周の武王が馬を崋山の野に放つて天下に兵を用ゐざる事を誓つたとか、何れも馬匹の價値を示したもので、支那上代における産馬の發達は推測する事が出來る、從つて箕子渡鮮に伴ふ馬匹の移入は疑ふ余地がないと思ふ、然れども朝鮮の産馬に關する資料は新羅以來であつてその以前は史によるの事の出來ないのを遺憾とする。朝鮮在來種馬はその來歴からこれを南鮮産と北鮮産とに總別せねばならぬ、即ち南鮮種は濟州島産を主とした南鮮地方の馬匹を指し、北鮮種は蒙古および滿洲より來たもの、血統をうけた、咸北咸南産を主とした北鮮地方の産馬である

前者は馬格として誠に

劣等種であるが後者は比較的優良な資質を備へて居る南鮮種はいはゆる果下馬といはれた極矮小なる馬で三國史にも『扶餘地産果下馬其高三尺乗之可於果樹下行之故日果下馬』とある、又『高麗馬小便登山』で頸歩にして耐久力に富み能く險路を登り小徑をたどるに都合がよい、同地方は古くから牧馬事業が行はれ、元の世祖は耽羅國（濟州島）に牧場を設置して胡馬を放ちその繁殖を計つたといふ事蹟があるにも拘らず、産馬の向上しなかつたのは不思議なものであるが、元は四方攻略の計畫があつたが、世祖は最も近い朝鮮を略しめ、あらゆる物資の徴發に努めしめ、特に高麗忠烈王を臣事せしめた程であつたから、朝鮮牧場の經營などは少しも困難でなかつたのであらう、しかしてその産馬はよいものを悉く本國に送つて殘さなかつたのであるから、南鮮馬は良馬

南鮮馬は良馬と全く

沒交渉で依然として振はなかつたのであらう北鮮産馬は昔から南鮮産馬に比して優良であつた事は今を距る約二千年前『新羅本紀』居世五十三年東沃沮使者獻良馬二百匹曰寡君聞南韓有聖人出故遣臣來獻』との記錄ある如く、北鮮から新羅の首都慶州に馬を率いて北鮮産馬の優良を誇稱した事でも想像が出來る、東沃沮は咸鏡南道咸興附近一帶の地で、當時獻號と稱せられた三水甲山地方と撥擬し畜産業の發達も旺盛であつた地なのである、かくの如く

北鮮の龍馬は古來から

優良なる事を認められ、今から五百四十年前の國初であつたのであらう、ち李朝太祖成桂の乗つた駿馬八頭の内橫雲、遊麟、追風、龍騰、[illegible]の六頭はことごとくこの地方の産馬であつた、然らばなぜ北鮮に

秋冬五句

高濱虛子

よくころぶ髪置の子をほめにけり
風の日に蠹虫のゐる書齋かな
顔見世の奈落の道の道具かな
物音を冬かみなりと聞きかすめ
借出でゝ石蕗そひに時雨行く

限り良馬の産出があつたかを究めねばならぬ、元來アジアにおける原始時代の民族發展は多く太陽の出づる方向に進んだといはれて居る、察以前に行はれたいはゆる東漸說もこの習慣によつて生れたものであらう、中部および南部支那の遊牧民からは朝鮮の西部若くは南部、最も觸接が多く、又滿洲および蒙古は朝鮮北部と交渉がある、即ち地理的關係と民族發展の情勢とを考察して蒙古馬匹の滿洲を經過して北鮮に移入されたことは疑ふの余地がない。蒙古および滿洲における馬匹の位置をみると、その農業の全部は殆ど馬によつて行はれ日常の生活上馬匹の必要なことは朝鮮における牛と同一である、茫々たる涯もない滿洲の大平原は馬背によらねば

跋渉する事は出來ない

彼の有名なる成吉斯汗の西域を略したのも、同じく彼徒の大戰が北支那に入込んだのも馬賊の跋扈するのも、みなこれ健馬の然らしむる所であらねばならない、かくの如く馬の性が偉大な蒙古および滿洲種であるから[illegible]の飼育に管理に又繁殖に適する智識に進歩して居る事は勿論であるが優良なるものゝ存在を否認する事は出來ぬ、現代世界に誇稱せらるゝアラビアの原産地は此の地方なりといはれて居る

思ふに中央アジアの馬族は四方に繁殖し一は積極的改良の結果世界的駿馬となるし、一は自由の繁殖に任して漸く原始形を維持するもの、若くは劣變して居るものといはねばならぬ、これによつてこれを見れば滿洲馬が人を乗せ人に牽かれて北鮮に入りこゝに繁殖か繁殖を繰返して時に或は血統の優良なるものゝ先の美點をうけ混血中に比較的優良なる性質のものが産出せられたものであらう、咸鏡南北道の馬の[illegible]事は北鮮産馬の旺盛を語るものであるが、その施設事項に關しては

記載なきを遺憾とする

越えて新羅文武王三年に百濟を滅し同八年高句麗に捷つて朝鮮半島を統一したけれど、内政に汲々たるばかりでなく外は唐の侵寇が半島に野心があるので專ら武備の擴張をはかり、馬匹繁殖の如きは戰後の經營としてこれを行つたのではあるだらうが、多數の牧場はどこにあつたのか判らない、然るに高麗になつてから、はや見るべき記錄がある、高麗初めの牧場を舉ぐれば龍驥（黃州）、瀧西（瑞興）

繪馬——櫻井忠温氏筆

銀川（白川）羊欄（開城）左牧（海州）[illegible]等の十牧場で馬政の制度も完備し、獸醫の獎勵は克く行はれた國である、高麗文宗の朝二十五年判兵馬畜不能監養致死若勾當官典鄉吏科罪又州縣[illegible]同高宗四十五年以[illegible]

增殖に努められたが

惜哉高麗の運命に陷り元の壓迫を甚だしく受くるに至り歷代施設の産馬事業を放棄するに至つたこれ實に悲惨の朝で元に臣事した[illegible]の牧場を提供し毎年元に對しては馬匹を貢獻せねばならなかつたかくて高麗の馬政は廢壞し牧場は荒廢して遂に惨憺の極に達するに至つたのである、李氏が高麗にかはつて李朝に君臨するや直に舊制に則り牧馬事業を奬勵した、殊に李氏の牧馬上に關する施設はまづ良血の繁殖を以て急務となし、彼が駿馬二頭を北鮮牧場の種馬に供した程であつた、牧馬上特に北鮮を重視したのは其地方の産馬が發達して居るのみならず自己の經驗からそれることを認めたからでもあらう後六十五年世祖の朝に至つて牧馬の事業は隆盛を極めた、即ち[illegible]等を牧馬[illegible]に命じた物帳ともいふべきものゝ中に左記の如きものがある

國之强弱在馬故明國君之治數馬以府昔元世祖欲以江南爲牧場予亦欲以江原黃海之地北合爲一大牧場然不可以人馬今且合諸[illegible]各占一山水草俱足分爲十四以至千匹則何憂不成乎

これ實に李朝における劃期的な施設である

而して之が實施の成績

は史上に顯かでないがその翌年一萬四、同五年一萬四、同九年および三十一年各五千四の馬匹を明朝に貢獻した事蹟があるからこの大計畫は兎も角實行せられ、豫定の進捗を遂げたものである、思ふに朝鮮の馬政は李朝の太宗、世宗、文宗、端宗、世祖に至る五代約五十年間がその全盛時代であつたのである、世祖より約四十年後燕山君に至り惡政行はれしかのみならず倭寇のこの隙に乘ずるありて半島の擾亂を助け、牧馬の事業の如きも年々衰微するに至つた、中宗の朝において『國之大政也近來馬政頹廢濟州及各馬[illegible]』と憂心を嘆じ、ついで英宗の朝になつてからは少しく馬政の行はれざる結果、[illegible]牧場の設備が一般に行はるゝ程になつた、[illegible]の朝に至つて牧場馬匹の數を見ると世宗の三年十二月に濟州島に八千三百三十七四であつたのが正祖十五年十二月時代には[illegible]七千二百五十六四となつて居るかくの如く産馬は漸次減少し遂に李朝の終りをつぐる頃になつたのであるが、かへつて朝鮮馬政に關する[illegible]を見ると

新羅の初めには乘府を

設け、景德王の朝に至つて司馭府と改め、[illegible]高麗に至つてこれを[illegible]とし職し李朝の初めになつて乘馬を飯管したが文宗は更に典牧司を加へたのである、しかし李朝になつてから大體高麗に傚つたもの多く司僕寺、内司僕寺、監牧官などを置いた、[illegible]の如きも約二十ケ所に設置してあるが最も[illegible]ものは濟州島の種馬の定牌および牧場の草を調べたもので[illegible]馬政は最も古くから行はれ[illegible]

朝鮮の乘馬を不必要と

認めて度外視したものではない、むしろ重要視したと同時に朝鮮の實情にかんがみてその必要に應ずる方法を講じたのでもある、けだし朝鮮として當時は道路の改善および國防上から馬を必要とすることは明白ではあるが、在來鮮馬の如き矮小劣力なるものでは到底その用途をみたす事はできないのである、殊に朝鮮の農家は牛をもつて用役とする習慣があるので産馬に適する素質が少いこの間に處して産馬をはからむとするには要領とすべき種類とこれが方法とに就き慎重なる研究を要する事となるのであるよつて蒙古牝馬を基礎として、すでに改良を加へて理想的の實用馬をつくる方針が定められ、大正五年から蘭谷牧場でこれが試驗を行ひ生産した雜種馬は新朝鮮馬と稱せられ、その成績は最もよいやうで、數年前から毎年數頭づゝ戰馬として採用せられて居るが、本試驗は昭和四年から李王職にそのまゝ引繼がれる事となつた。又咸鏡北道に種馬所を設け内地種洋種種馬をもつて民間牧馬に種付して同地方の馬格の向上をはかり、かたはら馬匹の輸入税を撤廢すると同時に

鐵道運賃の低減を計り

以て輸移入馬を奬勵してゐるが、大正元年から昭和三年まで十七年間に内地馬および洋種馬が五千八百十七頭、支那馬および蒙古馬が九千八百卅九頭輸移入されてゐる、しかして現在朝鮮の馬匹は在來馬が五萬三千五百八十五頭、内地馬および洋種馬が二千四百十七頭、支那馬および蒙古馬が千百四十六頭新朝鮮馬が四百卅八頭で總計五萬七千五百八十頭に過ぎないのであるが、[illegible]朝鮮産馬の改良上競馬ことが高唱され、すでに[illegible]への競馬倶樂部が設けられ、官民共擧して朝鮮産馬の向上が期待されるやうに機運が廻りつゝあるのであるから[illegible]なる發達をへたる朝鮮の馬政も將來の[illegible]に處し、伴ひ必ずや將來を期待することが出來るであらうと思ふ、又畜産的施設からみても是非とも本事業の向上發展を期待してやまない次第である（完）

賀正

慶北浦項本町 書籍 森内文平

浦項本町 諸印刷、圖書雜誌、文房具 村田太陽堂書店 電話二一三番 振替釜山三七三九番

慶北浦項仲町 各種印刷 啓文社印刷所 電話一〇六番 振替京城二二二〇番

慶北浦項仲町 株式會社 拓産社 電話一二一番

慶北浦項南濱町 米雜穀移出商 田中忠三郎商店 電話一三四番

朝鮮慶北浦項 山本勇太郎 電話五一番

浦項幸町 米穀精米商 下郡商店 電話二三九番

迎日麴子製造株式會社 電話一七七番

浦項釀造株式會社 電話一三三番

米穀貿易商 金十河 電話二七九番

共榮自動車株式會社 浦項營業所 電話一〇九番

慶北浦項仲町 和洋菓子 宇治銘茶 糀谷商店 電話一六八番

浦項旅館組合

朝鮮慶北浦項川口 漁業 海産物仲買商 岡部與一 電略(〇ヨ)又ハ(ヨ) 電話二一八番

朝鮮慶北浦項南濱町 貿易商 田中貢 電話三二番

慶北浦項川口 田中鐵工所

慶北浦項東濱町 漁業 丸三組 電話五二番

朝鮮慶北浦項港 漁網製造、各種船具卸商 慶北製網工場 電話二五一番 支店 江原道臨院津港 出張所 浦項川口

慶北浦項驛前 農業 北垣又次郎 電話一六四番

慶北浦項本町 磯部材木店 電話百十番

慶北浦項川口 水産業 川端孫太郎 電話一五六番

清酒・醬油・味噌 古川醸造場 浦項大正町 電話六番

大邱地方法院浦項出張所 原田健吾

浦項警察署 職員一同

株式會社 角輪組迎日漁場 東海面浄川洞 電話大甫四番

慶北浦項本町 雜貨卸商 合名會社 大上商店 電話二〇番

朝鮮慶北浦項東濱町 株式會社 福島商店 電話一五番 振替京城三八六番

東海中部線浦項驛 驛長 福原德吉 助役 森茂樹

浦項稅關出張所

浦項水産製品檢査所

浦項土木課派出所 妹尾英太郎

浦項米油組合 電話二五五番

浦項郵便局長 澤村義盛

浦項無盡株式會社 電話百十八番

慶尚北道浦項港 迎日興業株式會社 電話五十九番 振替口座京城七〇八二番

朝鮮慶北迎日郡浦項川口 水産業 松村常市 電話二三八番 電略(マツムラ)又は(マツ)

朝鮮慶北浦項港 米穀雜貨 船具漁具 原田商店 電話五六番 電略(ハラ)又は(ハ)

慶北浦項仲町 内科 小兒科 外科 婦人科 レントゲン 入院隨意 爲仁堂病院 院主 水上秀夫 電話四十八番

慶北浦項 慶北漁業株式會社 電話四十三番

慶北浦項金曜會

慶北浦項港東濱 水産 回漕 製氷 濱田出張所 電話一一三番

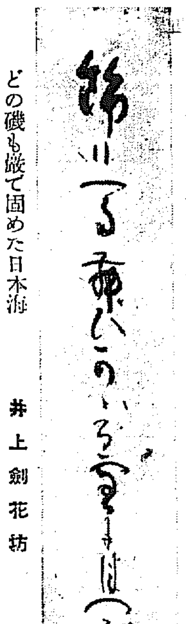
朝鮮慶尚北道浦項本町 貿易商 米豆、雜穀、肥料、糖粉、水飴、曹達、燐寸、燒酎、洋灰、亞鉛板、石炭、鹽 中谷竹三郎本店 電話長十四番 長二十二番

朝鮮慶尚北道迎日郡東海面 葡萄栽培 葡萄酒 ブランデー 釀造 ミツワ浦項農場 電話都邱五番 振替京城五三七四番

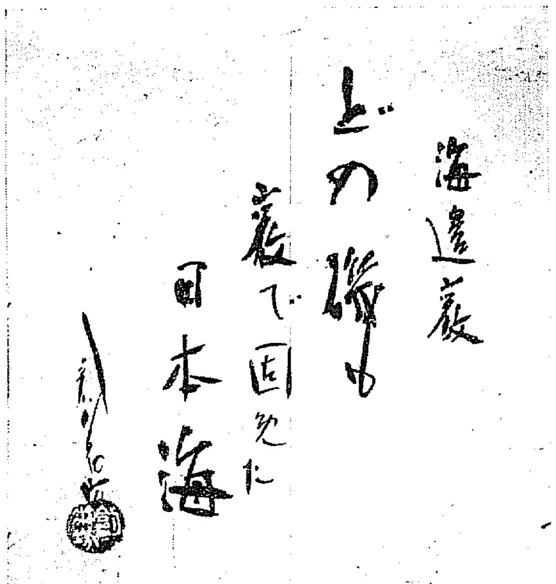
迎日郡廳 各産業團體 職員一同

組合解散の爲め迎日郡慶州郡蔚山郡に亘る不動産約百貳拾町步建物四拾參棟安價賣却するにつき御希望の方は御書面又は御來談を乞ふ
朝鮮慶北迎日郡浦項 松兼農營事務所

飾り馬鉾ひかかる雪に目つぶりぬ　亞浪



どの磯も巖で固めた日本海　井上剣花坊



新年文藝　短歌

題『初春』　尾上柴舟先生選

一等（賞）
春の來て澄む青空のかなしさを朝鮮に居て知りにけるかも　咸興　高橋しげを

二等（賞）
持ち添へて羽根突かすれば幼子に幾たびかわがつまづきにけり　京城柳井町　葉山道夫

三等（賞）
熱おちてこころよければ目かげして初春の空を仰ぎわが見る　下關　山本康夫

秀逸

○京城　今野政吉
しのびよる寒のはけはひを感じつつ納屋に藁打つ灯を消しにけり

○名古屋　安藤銀一
木々の枝の影ありなしの寒の陽のをふみて歩む鶏はも

○咸興　高橋しげを
朝寒ののぼしきひかりならびほす土かの上にとどきて居るも

○龍山　鹿羽正休
元朝をとき衣つけていそいそと出でゆく妻はいまだ若しも

○新義州　平田白葉
降り出でし宵の雪にうちぬれて風呂のかへりをいそぎ來にけり

○京城　内藤兵木
二十三ああ我かくもなりしかなそ年々の黒川もなく

○新義州　市山ウメ
梅ヶ枝の影もてるが障子の窓に影せり靜らしきかも

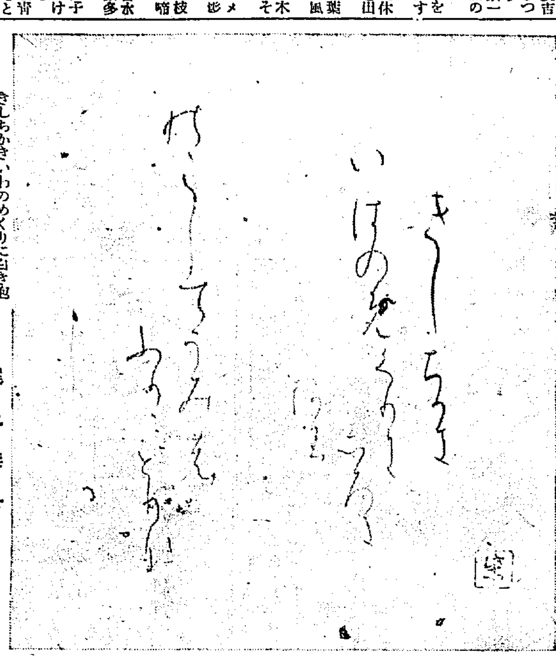
○龍山　小松十木枝
寒さえし林の木々にとびかひて啼いる小鳥の聲の乾さ

○仁川　關西合水
冬の空深うしてビルデングの數多並べる街のさびしさ

○京城　海谷秀子
たちてさすまさりたる日をうけてはだかとなれる樹根の雪かも

○京城　岡　松青
をろがむと初日をまてるあしもとに凹けまされる焚火さびしも

○龍山　松永紫秋



きしちかきいわのめくりに白き泡のこして潮のふかみとりなる　尾上柴舟

初桜の花の　をゆく人のおよそほのけき匂ひを持てるも

○鎮南浦　横山岑風
初春のつららの雫をどる障子をぽんとたたく妻はも

○仁川　高橋政登
春の立つあしたの風にはためける國旗の下の土のあかるき

○京城　水野笠葉子
電車道よぎり往き交ふ禮者らに巡査笑まし手を上げ下す

○京城　有賀旌東
霜晴れし朝を漲る陽の光凝にして靜けき初春

○京城　今い千代口
軒端にたるるつららの日毎日毎細れるれば春來るらし

○釜山　寺田案介
寒さひき頸の卒にうすくと糸みせてをり蘭乃秀は

○京城
行きずりにわがかへりみるウインドーにつつましきかも初春の花

○照南　佛付
若水に口そそぎつゝ磯山酋の初空を見る

○清州　山田勘二郎
うち抜れ若松しづまる緋涌閣に飾花の影の動かざるかも

選後に　尾上柴舟

初春と新年とは違ふ。春はまだ年の初には立たない。初春と新年とは厳重に區別すべきであるが世間一般に、これを混じて用ゐてゐる。この故に、その選の歌にも、初春といつて新年の意を述べてゐるのを採つた。このことは、讀者は先づ諒せられたい。

一等の歌はさすがにいゝ。しつかりとしてゐる。しかし二等三等も多くそれに負けてゐない。たゞ等級をつけなければならぬので強ひてつけたのである。秀逸のはすこしドろゝとりぐ〲に面白い。

新年文藝　俳句

題『新年雜詠』　臼田亞浪先生選

一等（賞）
初日まつ子が山彦をうれしがり　京城　岸本以桜

二等（賞）
初日照る雪もりあげて松の葉は　釜山　荒木多摩子

三等（賞）
初風呂の窓に枯枝のほのしらみ　遂安　中込騒水

佳作

似つかねど齢のまゝなる三ケ日　咸南　横原寧子
賀春き満突に羽子ついてゐる　新幕　金子細亭
門松に月の出要ら歩きけり　瑞興　酒井映波
初姿にみづくしさの妻を見し　龍山　花本靜香
初空や風もとれたる四溜晴れ　釜山　君塚草舵
門松のふぐり〱もめでたさよ　京城　赤松鳴潮
山國のゆらぎ元朝の瀧響す　釜山　美濃部尚
山に來て鴎を見にけり松の内　新幕　篠原孤芳
どんど跡踏みしが神のいまさずや　京城　赤松秋女
絵馬字凧年立つ空に狂ひけり　釜山　邑上南也
元日の夜や嵐に霜冷ゆる　清津　巴多城
國玉や妻のよそほひ朝となりし　同　巴はる恵
なりはひの海女が潮汲むお元日　昌城　江面江揚
初日の出窓のせせらぎ目にまぶし　釜山　荒木田津夫
旗たてて居て開きぬ門松の風　京城　岸本以桜
箸噛いて〱雪たたかなお元日
初日いつぱいの酒の木に霰降つてゐる
となりの子甕戸も來るよお元日　京城　庄司信子
初笛の吹かかるよ潮かすむまゝ　同　小川サダ女
初日の川岩根流るる潮の泡　咸興　阿部晩成
元日の舗あたゝかき夜の歩み　京城　庄司鶴仙
　仁川　川添一仙

選後に　臼田亞浪

新年の感慨をこめた特別募集であるとはいへ、集句數は可成りに多いことであつた、そして思ひの外句揃ひの揃つてゐたことを欣ばしく思ふ、殊に三十に近い佳作を得たことは、投稿者の努力の程もしのばれて、一しほ欣ばしく思ふところである。

けれども、今なほ陳腐な感想の囚はれとなつて、他に尚ほ他山の石として學ぶべき多くの作家の存することを知らない人々のあることを俳句の爲にも、また俳壇の爲めにも遺憾とする。

苟も佳句を遠く踏み出した人々として、もつと進取的でありたい、もつと協力的でありたい、もつと虚心坦懐でありあい、もつともつと詩人的情熱がありたい。

一等の『初日まつ子』は單純なあるがまゝの童心を捉へて、よく具象化を遂げてゐる。二等の『初日照る』も、ありふれた自然材を摑んで、そこにゆたかな情熱を漲らしめて居り、三等の『初風呂』もまた、その純粹經驗を失ふことなく對象意識を統制してゐる。

佳作はそれぞれ佳いものを持つてゐるのではあるが、中にも公風氏の『お飾り』や梅子氏の『元日』などは、なかなかにすぐれてゐる。最後に年と共に、一段の努力を望んで置く。

初日の出闇だん〱にふくれ來て　平壌　栗原晴洋
初風やたま〱木の鳥うちてし　京城　西村梅子
元日の枯原に出し靜かかな　同
馬嘶いてお濠わたりの初霞　西村公風
お飾りの竹もや〱と夜の雪
門松の暮れておぼめく飛雪かな

新年文藝　川柳

題『馬』　井上剣花坊先生選

一等（賞）
馬子唄へ馬も靜かな足拍子　龍山築町三〇　樋村左禿郎

二等（賞）
決勝の馬へむざんな騎手の鞭　京城府外孔德里官舎十號　鷲尾幸堂

三等（賞）
唇待の答へ馬は血を感じ　元山臥牛里番外地　井上柳下

秀逸

長煙管のせて小馬の鈍い足　京城　寺田蟹面子
馬の鈴一つ〱に霧が晴れ　同
横濱田にあれば只の馬　春川　木内露樓
はちきれる力奔馬の如くなり　同
跛馬消つたまゝで息を吹き　京城　宮崎癡扇十
鞭振ればあざける馬の動く鼻　長崎市　松尾卯七
育つた馬山を越すまで妻も見る　元山　杉本水鳥
馬小屋に近く秋の芽すこし伸び　鎮南浦　中島五枝
馬の値を囲んでみんな腕を組み　鎮南浦　辰川弘溫
草の香に馬も嘶く初日の出　京城　古川照波
馬子唄へ馬嘶いて灯が揺る　京城　妙法寺
曲乗の馬胴體を動かさず　京城　石井赤短冊
緊縮の多を見越して馬を買ひ　太田　山口雄心坊
争議中馬のんびりと背を伸し　京城　柴田眠猿
初晴り神馬の鼻を撫でてをる　仁川　牛島牛頭子
馬の尻輕く叩いてほめてゐる　京城　田中渓世
　光州　非華班散夫
尻馬に乗り暢然と椅子に凭る　仁川　信國柳草子
スタートですねてる馬へ皆なの眼　京城　東郷文九
小作農天高けれど馬は痩せ

選者吟

愚鈍とも温和とも見る馬の顔
この囲を見よと凡愚に示す馬

一口囃（佳作）（第十四頁續）

○鎮南浦濱町里　山映夢人
『緊縮につき一切御引不仕候』與太の店先にこんな看板が出て居る

○京城府漢江通十一の一四四　松本謹二
二學期の成績表を見た母親が早速その子を呼んで……
『お前この成績は何です。……今迄あんなに出來たお前が急にこんな悪い成績を取るなんて、一體どうしたと云ふのです』
『お母様それは緊縮したせいですよ、つまり一時間勉強する處を二十分に縮めたからですよ』
『まあ……』と寸呼して母親はほつと溜息をもらし『ほんとに緊縮も、よしあしだね』

○京城元町三の六二　森山孫二郎
乞食の子『父ちゃん、緊縮つて何のことだい』
乞食の親『ごみ箱に御のアブラが減つたことさ』

馬の屁　古川柳十句

村中の嫁入りに屁す無串な馬

交通の不便な田舎では花嫁が乘馬で嫁入りする習慣があるので、その轡根なところがよく現れてゐます。

馬の屁で四五人困る渡し舟

こみ合つてゐる渡し船の中で四五人が馬の屁に悩まされてゐる光景がありありと目の前に浮かび出はず吹き出したくなります。

後足を團扇につかふ夏の馬

夏は山の虻や蠅、蚊などの害虫で擯ぱりに追つ拂ふところをよく見うけます。

馬の屁に額んで篩は通り抜け

渡しかしぶるお爺さんお婆さん山の人集りの間を馬の屁にかくれながらスッと通り抜ける様がいぢらしいさても粋な馬たこと。

馬の尻座頭小氣で通り抜け

猿侭巳一光虫ではないがこの場合目の見えない座頭がよい標に思はれます。

芝居の馬首と尻とが生き別れ

馬の足の苦心も知らないで余りひやかしつこなしにしましよう。

ひだるかる馬頭観音みを泣き

馬子が馬のひだるいのもかまはず、その傍で丁半をやつてゐるのはまことに情らしいではありませんか。

馬でなし駱駝なし佐野の馬

鉢の木の主人公佐野常世の馬を主題としたもので昔の武士氣質と佐野の窮乏とがしのばれます。

めくら馬斑がさはればいを開き

これは馬の動物虐待に値します。

馬を買ふ迄でうけ出す梶井

帯の翁斑勘平の實説が馬なみに扱はれたものと見えます。

謹賀新年

佐藤作郎

松岡清也

近藤銑太郎

岡村正雄

林萱吉

京城府漢江通三　鹿住榮八　電話龍山九一番

ニシヤマシン
寫眞師　ニシヤマ　龍市
京城府
漢江通13,57

京城印刷組合（イロハ順）
大蓑印刷所
井上商店
初田活版製造所
早坂製本所
株式會社日本紙業京城支店
西尾印刷所
西村印刷所
朝鮮印刷株式會社
合資會社近澤商店印刷部
越智印刷所
大谷印刷所
大塚商會印刷所
門田タイプ印刷所
片岡印刷所
大平堂印刷所
大海堂印刷株式會社
谷岡印刷所
田村日進堂印刷所
大和商會印刷所
山口印刷所
山田印刷所
松本印刷所
京城日報社
合資會社京城荷札製造所
船津製本所
江里口印刷所
帝國地方行政學會印刷部
共盛堂印刷所
北内印刷所
篠崎商店

京城府黄金町二丁目
東京建物株式會社
京城支店

京城府黄金町四丁目一六九
片岡商會印刷部
電話本局三七二三番

京城府旭町二丁目
岸の寮
電話本局九四九七番

京城府旭町一丁目
川長
電話本局二七八五
二七八六番

社團法人　朝鮮土木建築協會
電話　本局長一〇八三（二階理事室）
本局長七三五（階下事務室）
本局二四六七（娛樂部）

謹賀新年

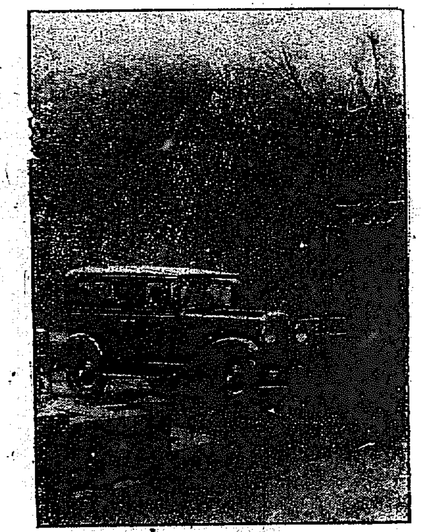
日本ゼネラル・モータース株式會社は創立以來僅に三年に過ぎざるに、業界無比の發達を遂げて業務愈々繁激を加へ、現在日本の自動車總數中、弊社製自動車は其の過半數を占むるの盛況を示して居ります。

弊社製自動車が日本の各階級を通じて最も廣く愛顧せられてゐること、及び其の品質的價値が優秀拔群であるとは、生産販賣高が示す迄もなく、社會一般の絶對的定評であり、同時に弊社の牢固たる信用を立證します。

是れ偏に平素の一方ならぬ御引立と一般社會の御眷顧に負ふ所に外なりませぬ。弊社は衷心より篤く御禮申上げます。

茲に新しく此の一年を迎ふるに際し、更に一層の努力を加へて一般の御信任と業界の進展とに寄與いたしたいと存じます。何卒此上ながら倍舊の御愛顧を伏して御願ひ申上げます。

昭和五年一月



自動車界の寵兒――シボレー號

日本ゼネラル・モータース株式會社

賀正

内外麻苧、綿糸、麻糸、帆布、蚊帳、マニラロープ、綿、刷毛ブラシ、繩、結束荷造用品、荒物雜貨貿易品 卸小賣 ㋟田端商店 京城太平通二丁目 電話本局一八〇二番 振替京城六四一五番 電信略號(〇タ)

京城府本町一丁目 北内紙店 電話本局一一五二番

京城府南大門通三丁目 南大門食堂 寺澤藤三郎 電話本局四〇六四番

京城府黄金町一丁目 泰明商會 京城出張所 電話本局長三三〇一番

京城府明治町二丁目 月本政次郎商店 電話本局一三二八番

京城府明治町二丁目 銃砲火藥 自轉車 瀧川本店 電話本局三〇二番

京城府南大門通三丁目 食料品、海產物 吉川太市郎商店 電話本局二四一七番

京城府南大門通二丁目 大倉洋紙店 大阪支店出張所 電話本局四九〇番

京城府南大門通二丁目 增田食料品店 電話本局二五三番

京城府漢江通一五 盛文堂龍山支店 電話龍山四一四番

朝鮮製絲協會

東京火災保險株式會社 京城支店

京城酒類卸商組合 (イロハ順)
京城府公平洞 河野本店 電話光化門三四五番
京城府明治町二丁目 山邑酒造會社支店 電話本局一八四九番 一四五四番
京城府本町二丁目 山本酒店 電話本局五七五番
京城府本町二丁目 株式會社 前田商店 電話本局一三七 七六四番
京城府長谷川町 株式會社 增田屋支店 電話本局三五四 七九六番

朝鮮運輸計算株式會社 京城府古市町 電話本局一八八二番

日本紙業株式會社 京城支店 京城南大門通二丁目 電話本局二四〇五 [illegible]〇五番

花園町公設市場

京城府本町一丁目 旅行用具 高木靴店 電話本局一三四 二五四番

中央廉賣所

京城府明治町 吉谷山陽堂 電話本局二四三五番

京城府大和町二丁目一〇二番地 伊藤商行 京城出張所 電話本局七一七番

京城府明治町二丁目 京城美粧院 屋敷コト 電話本局三六五二番
京城府本町一丁目五一ノ二〇(三越新館横) 京城美粧院支部 電話本局貳貳七四番

京城齒科醫師會

京城驛前 二見旅館 電話本局六八八 七二四番

京城府太平通二丁目 日清生命保險株式會社 滿鮮支社 電話本局一四九六番

京城府本町三丁目 近藤安吉 電話本局一五六二番

京城府本町四丁目 京城ラヂオ商會 電話本局四二四六番

京城府本町二丁目 木島時計店 電話本局一三九番

京城府永樂町 各種パン和洋菓子製造元 ㋙神戸屋 電話本局二一〇五番

京城本町二丁目 日韓書房 電話本局一四五五番

京城府旭町一丁目 澤井舖 電話本局二六六九番

京城府本町一丁目一八 黑川精肉店 電話本局九六四番

京城羅紗商組合

京城府本町二丁目 森政吉 電話本局八三〇番

板硝子商 三田政治郎商店 京城府本町二丁目一九

京城府南大門通一丁目 中山洋紙店 電話光化門一三一四番

京城府本町二丁目 石川物產商會 電話本局一八八四番

京城府明治町二丁目 滿鮮 松繁 電話本局一〇四四番

京城府本町二丁目 村上天眞寫眞館 電話本局四二一番

時計 寫眞機 貴金屬 大澤商會京城支店 京城府本町一丁目 電話本局二六二番 三三九番 四八〇番

煖房裝置 京城府竹添町二丁目 杉山製作所 電話光化門一八一・五四五番 自宅 光化門五四九番

角田被服株式會社 京城鍾路一丁目一九

京城穀物信託株式會社

京城府黄金町一丁目 清水組京城支店 電話本局三四九 二三二番

京城府旭町一丁目 鹿島組京城出張所 電話本局三九六番

京城府南大門通三丁目百六番地 野球用具 庭球用具 蹴球用具 籠球用具 柔劍用具 卓球用具 運動服裝 京城運動具商會 藤野敏夫 電話本局一〇一四・二五一九 振替京城一〇六八一番

京城府水產市場内 京城水產株式會社 京城府營水產市場 京城驛構内 電話本局長一四七八番 一〇八番

三井合名會社 朝鮮農林事務所

町田新聞郁文堂本店 電話本局一七五番
同東部支店 電話本局五五二番
同龍山支店 電話龍山五二一番
同水標町支店 電話光一四一六番
同仁川支店 電話四五番
同清凉里支店

京城府黄金町二丁目 花園工務所 花園佐吉 電話本局一九三六番

京城府長谷川町九一 盛文堂新聞舖 電話本局四二六番

京城府太平通二丁目 萩野紙店 京城支店 電話本局一七八七番 一〇六一番